

報告書

平成 28 年度

犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する動物行動学的調査業務

目次

1. 業務名.....	1
2. 業務の実施機関.....	1
3. 業務の目的.....	1
4. 業務の内容.....	2
(1) アンケート調査の実施.....	2
ア) イヌの行動特性調査.....	2
(i) C-barq 概要.....	2
(ii)パンフレット、手順解説資料等の作成.....	6
(iii) アンケート調査.....	6
イ) ネコの行動特性調査.....	7
(i) アンケート設問概要.....	7
(ii)パンフレット、手順解説資料等の作成.....	8
(iii) アンケート調査.....	8
ウ) 郵送について.....	9
エ) 回収率(平成28年度).....	9
(iii) 宛先不明戻り数.....	11
(iv) 督促はがきの送付.....	11
(v) はがきの回答内容.....	12
本年度データ化した平成27年度調査分について.....	15
(2) データの分析_引き離し時期と行動特性との相関に関する分析.....	17
ア) “行動特性の数値の高低”と“引き離し時期”の相関関係の解析について.....	18
(i) イヌ.....	18
(ii) ネコ.....	18
(iii) “引き離し時期”との相関について.....	18
イ) イヌ.....	19
■全頭 [1,089 頭] (罹患個体除外) ■.....	19
(i) 見知らぬ人への攻撃(イヌ全種).....	20
(ii) 飼主への攻撃(イヌ全種).....	21
(iii) 見知らぬ犬への攻撃(イヌ全種).....	22
(iv) 同居犬への攻撃(イヌ全種).....	23
(v) 見知らぬ人への恐怖(イヌ全種).....	24

(vi) 物音や影などに対する恐怖（イヌ全種）	25
(vii) 分離不安（イヌ全種）	26
(viii) 接触過敏性（イヌ全種）	27
(ix) 訓練性（イヌ全種）	28
(x) 追跡能力（イヌ全種）	28
(xi) 興奮性（イヌ全種）	29
(xii) 愛着行動（イヌ全種）	29
(xi v) 運動活性（イヌ全種）	30
■ プードル（トイ） [227頭] ■	31
(i) 見知らぬ人への攻撃（プードル [トイ]）	32
(ii) 飼主への攻撃（プードル [トイ]）	33
(iii) 見知らぬ犬への攻撃（プードル [トイ]）	34
(iv) 同居犬への攻撃（プードル [トイ]）	35
(v) 見知らぬ人への恐怖（プードル [トイ]）	36
(vi) 物音や影などに対する恐怖（プードル [トイ]）	37
(vii) 分離不安（プードル [トイ]）	38
(viii) 接触過敏性（プードル [トイ]）	39
(ix) 訓練性（プードル [トイ]）	40
(viii) 追跡能力（プードル [トイ]）	40
(xi) 興奮性（プードル [トイ]）	41
(xii) 愛着行動（プードル [トイ]）	41
(xi v) 運動活性（プードル [トイ]）	42
ウ) ネコ	43
(i) 攻撃性（ネコ全種）	44
(ii) 恐怖と不安（ネコ全種）	45
(iii) 興奮性（ネコ全種）	46
(iv) 接触や注意を求める行動（ネコ全種）	47
(3) 飼主の満足度調査	48
ア) イヌ	48
イ) ネコ	54
(4) 調査協力者への行動特性分析結果の送付_性格タイプ（行動特性）の分析	59
参考資料（平成 28 年度アンケート配布資料一式）	60

1. 業務名

「平成 28 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する動物行動学的調査業務」

2. 業務の実施機関

麻布大学獣医学部伴侶動物学研究室

教授 菊水健史

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71 麻布大学伴侶動物学研究室

Tel: 042-754-7111 (代表)

E-mail: info@carazabu.com

作業場所：麻布大学 コンパニオンドッグラボラトリ

3. 業務の目的

犬や猫において、出生後一定の日齢に達していない幼齢個体を親兄弟（以下「親等」という。）から引き離すと、適切な社会化がなされず、後々、吠え癖や噛み癖等の問題行動を引き起こす可能性が高まると考えられていることから、動物の愛護及び管理に関する法律の一部を改正する法律（平成 24 年法律第 79 号。以下「改正法」という。）において、生後 56 日を経過しない犬猫の販売が禁止された。ただし、その経過措置として、改正法施行後 3 年間は 45 日、その後は別に法律で定める日までは 49 日に読み替えるものとされた。

別に法律で定める日については、改正法施行後 5 年以内に、犬猫等販売業者の実態、マイクロチップを活用した調査研究の実施等による科学的知見の充実を踏まえた幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期についての社会一般への定着の度合い及び犬猫等販売業者へのその科学的知見の浸透の状況、犬や猫の生年月日を証明させるための担保措置の充実の状況等を勘案して検討することとされている。

そのため、環境省では「平成 25 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査検討業務」、「平成 26 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査手法等検討業務」、「平成 27 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査手法等検討業務」を実施し、犬や猫と人間が密接な社会的関係を構築するために、幼齢個体を親等から引き離す理想的な時期についての調査手法等を検討するために、専門家等による検討会を開催したほか、一般飼い主への調査

協力を依頼するための広報資料の作成、及び約 6,600 頭分の飼い主から調査協力の承諾を得た。また、「平成 26 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関するアンケート調査等業務」及び「平成 27 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する動物行動学的調査業務」（以下平成 25 年度から 27 年度に実施した業務をあわせて「過年度業務」という。）を実施し、一般飼い主からの協力が得られたサンプルについて、アンケート調査及びデータ分析等を行った。

本業務については、過年度業務の報告書及び「平成 28 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査手法等検討業務」を踏まえ、「平成 27 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査手法等検討業務」において調査協力の承諾を得た飼い主に対する調査関係書類の送付回収、データ分析等を実施することを目的とする。

4. 業務の内容

（1）アンケート調査の実施

ア) イヌの行動特性調査

ペンシルバニア大学のサーペル教授が開発した犬の行動解析システムである C-barq (Canine Behavioral Assessment and Research Questionnaire) を用いて、平成 27 年度業務において飼い主からの調査協力の承諾が得られた犬 2,533 頭について、事前周知葉書により“宛先不明”となった 10 頭分を除き、残りの 2523 頭を調査対象として、各個体の行動特性（下記①～⑬）を把握するためのアンケート調査（紙媒体）を実施した。

（i）C-barq 概要

様々な犬種と日米等の調査研究によって、現在までに、統計学的に信頼度が高いとされている行動特性（気質）が 13 個抽出されており、C-barq はその各々を数値で評価することができる。この C-barq を利用して、上記犬 2,523 頭のそれぞれについて、13 個の行動特性を数値評価すべく、次項以降の手順に従って、アンケート調査（紙媒体）を実施した。この数値評価は、多くの犬種から集めた行動データをもとに、統計解析と再現性試験を行い、その信頼性・有効性について一定の評価を得ている。臨床診断に使用できることも実証されており、国際雑誌においても高い評価を受けている。

13 の気質は、次表の通りである。

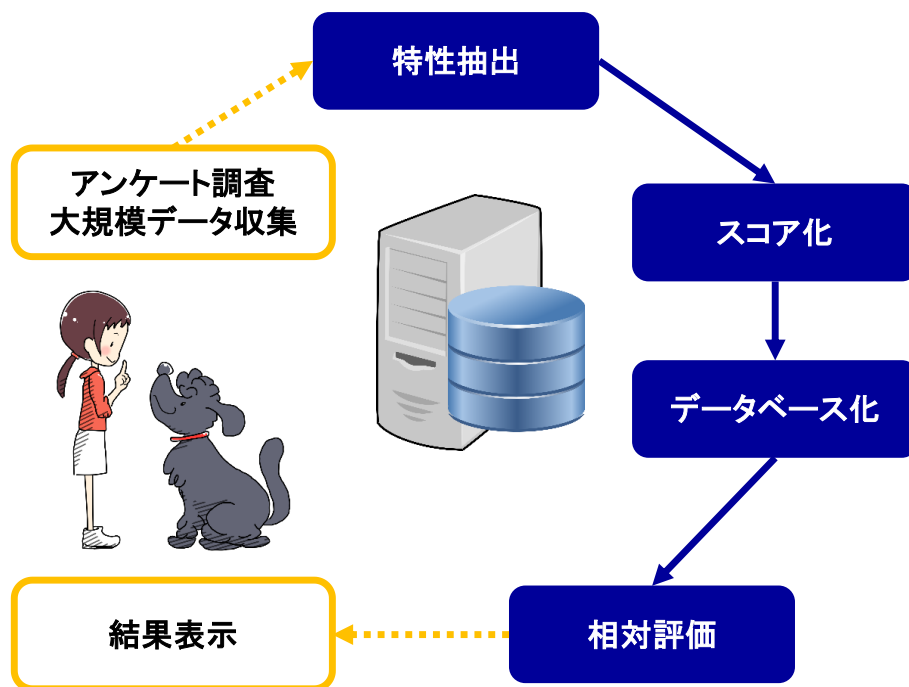
【社会性に関する行動特性（気質）】

<p>攻撃性 (①-④)</p>	<p>攻撃行動は犬がもっている「正常な行動」である。しかし、伴侶動物の場合、①攻撃の程度や頻度、②攻撃を発現する刺激や対象、によっては問題行動とみなされている。</p> <p>攻撃性は、この攻撃行動の有無及び程度を判定するための行動特性である。攻撃対象により、(ア)見知らぬ人に対する攻撃、(イ)飼主への攻撃、(ウ)見知らぬ犬に対する攻撃、(エ)同居犬への攻撃、に分けられる。</p>
<p>恐怖性 (⑤-⑥)</p>	<p>恐怖に基づいて生じる行動（攻撃、逃走、パニック、または不動化）は、動物にとって有害な状況または出来事に対して生じる正常な反応である。</p> <p>生得的な恐怖性に加え、経験に基づくものもある。いずれも脅威となる対象が決まっている。恐怖性は、これらの有無及び程度を判定するための行動特性である。(ア)見知らぬ人に対する恐怖、(イ)物音や影などに対する恐怖、に分けられる。</p>
<p>分離不安 (⑦)</p>	<p>分離不安は、不安の表現型の一つである。不安とは、嫌悪感を抱くような出来事や有害な状況が生じることの予測に起因した、一般的な漠然とした不快感、それに伴う発作やパニックを言う。</p> <p>分離不安に基づく行動とは、留守番などの飼い主からの分離の状況を動物が予測し、それに伴って生じる不安に関連する行動のことである。</p>
<p>接触過敏性 (⑧)</p>	<p>人に触られることに対して過度に不安を感じるものがある。場合によっては、人との共同生活に支障を来す場合もある。この人の接触に対する過敏性の有無及び程度を判定するための行動特性が接触過敏性である。</p>

【個体の特徴づける気質】

<p>訓練性 (⑨)</p>	<p>確立された訓練方法の実施に対して良好な成果を出しているか否か及びその程度を判定するための行動特性である。</p>
<p>追跡能力 (⑩)</p>	<p>犬は、その犬種や系統を創る目的に沿うように、本来的に有する捕食行動を残しているものがある。捕食行動の全てを残すのではなく、必要に応じた一連の捕食性の行動の中の一部が残るのが通常である。例えば、ボーダー・コリーは「忍び寄る」「目で追い詰める」「走って追いかける」行動はより強化され、他方で、啜る、咬み殺す行動は抑制されている。追跡（行動）は、この捕食行動の一部である。</p>
<p>興奮性 (⑪)</p>	<p>犬は、外部からの何らかの刺激に対して興奮する、具体的には、①すばやい行動（敏捷な行動）の増加、②目新しいものへすばやく近づく、③短くほえる、④ヒステリックにほえる又は甲高くほえ叫ぶ、⑤穏やかな状態に戻すのが困難、となることがある。その有無や程度は、犬種や個体によって異なる。興奮性は、これらを判定するための</p>

	行動特性である。
愛着行動 (12)	犬は人とコミュニケーションをとることが可能であり、飼主と情緒的な結びつきを有するものと考えられている。犬種や個体によっては、飼主に対して愛着を示す行為や注意を向ける行為を要求するものがある。愛着行動は、その有無や程度を判定するための行動特性である。
運動活性 (13)	犬種や個体ごとに要求される運動の質や量は異なる。この運動の質や量に対する要求の有無や程度を「運動活性」という行動特性で判定している。



上記の13の気質について、C-barqは次の5つの要素で構成されるシステムで測定評価する。すなわち、

1. 質問紙による大規模データ収集
2. 因子分析による特性抽出
3. 各特性の点数化
4. 点数化されたものによるデータベース化
5. データベース内における相対評価

--- [1] 行動特性の点数化 ---

行動特性の点数化は、上記1. 2. 3. によって構成される。James Serpell博士の開発した

質問項目によって、対象となる行動特性を飼い主に記載してもらい、その質問から因子分析を経て、個々の犬の特性の点数化を行う。質問項目は、臨床的知見などから特徴的な行動についての100以上に上る質問を設け、それら一つ一つの行動について、飼主に頻度や強度のスコアを入力してもらう。これらの入力した数値をもとに因子分析を行うことで独立した行動特性の抽出を行う。これにより、具体的な生活場面での犬の行動から、より抽象的な行動特性を抽出し、さらにその気質に関する各犬におけるスコアが計算されることとなる。また、各行動パラメーターの相関関係と抽出された気質に対する寄与率が計算され、より重要性の高い質問項目がわかる。これら統計学的処理に関して、因子数については **Scree Test** による検証と選抜、また **Varimax Rotation** による軸の独立性保持を行い、その信頼性をすでに複数の論文*1で報告している。

これらの変数を用いた因子分析の妥当性については、外的および内的な基準連関妥当性を用いて検証した。外的基準の妥当性を評価する方法として、行動カウンセリングの診断結果を利用しており、7つの行動カウンセリングの診断結果と、因子分析により抽出された気質のうち、それに相当する7つの因子での高得点が確認され、一般的診断基準と **C-barq** の結果の妥当性がみられた*2また内的な妥当性の評価のために、内部一貫法で検証している。手法としては、クロンバック α の算出により検証し、有意に高い内的一貫性があることが示されている*1,2。以上より、大半の質問事項について、その妥当性が証明されている。以上を前提に、**C-barq** は従来の経験依存的な犬の行動特性を数値化することが可能な、非常に強力なツールである。



*1 Nagasawa, M., Tsujimura, A., Tateishi, K., Mogi, K., Ohta, M., Serpell, J.A., Kikusui, T. Assessment of the Factorial Structures of the C-BARQ in Japan. *Journal of Veterinary Medical Science* 73, 869-875 (2011).

Nagasawa, M., Mogi, K., Kikusui, T. Continued Distress among Abandoned Dogs in Fukushima. *Scientific Reports* 2, 724 (2012).

Kutsumi, A., Nagasawa, M., Ohta, M., Ohtani, N. Importance of Puppy Training for Future Behavior of the Dog. *Journal of Veterinary Medical Science* 75, 141-149 (2013).

Tonoike, A., Nagasawa, M., Mogi, K., Serpell, J.A., Ohtsuki, H., Kikusui, T. Comparison of owner-reported behavioral characteristics among genetically clustered breeds of dog (*Canis familiaris*). *Scientific Reports* 5, 17710 (2015).

Nagasawa, M., Mogi, K., Serpell, J.A., Kikusui, T. Comparison of behavioral characteristics of dogs in the United States and Japan. *Journal of Veterinary Medical Science* 78, 231-238 (2016).

*2 Hsu, Y., Serpell, J.A. Development and validation of a questionnaire for measuring behavior and temperament traits in pet dogs. *Journal of the American Veterinary Medical Association* 223, 1293-1300 (2003).

--- [2] 評価システムとしての妥当性---

上記の個々の犬の行動特性の数値化により、登録された犬のスコアがデータベース化される。データベース化することで、1) 犬全頭の標準的分布、2) 犬種特異的な分布、3) 各個体のスコアをデータベースと照合することによる相対評価（全犬種や同一犬種と比較してどの位置にいるのかの評価）、が可能となる。

(ii) パンフレット、手順解説資料等の作成

当アンケート調査への協力を得るべく、アンケートの調査目的、回答手順、性格診断について記載した資料を作成した。



(iii) アンケート調査

第一に、設問及び回答用紙（マークシート及び自由記述回答用紙）の作成を行った。マークシートはイヌ・ネコ共通で作成した。現行の C-barq を基本とするが、昨年度の調査において含まれなかった項目については削除した。また、昨年同様、飼い主の満足度調査も組み込んだ。

第二に、設問冊子及び回答用紙の印刷を行い、全ての印刷物を封筒に封入し、宛名作成後、郵送した。

第三に、返送されたマークシートを、専用機械で読み取り、電子データへ変換した。作成した資料は次表の通りである。電子媒体のファイル名を記す。

・書類送付のご案内
・イヌ ご協力をお願い
・イヌ 送付物・返送物リスト
・イヌ 設問集
・マークシート回答用紙
・イヌ 自由記述回答用紙
・犬種・猫種一覧表
・愛犬性格診断サンプル
・イヌ 性格診断書類送付のご案内
・イヌ 性格診断結果資料

イ) ネコの行動特性調査

平成 27 年度業務において飼い主から調査協力の承諾が得られたネコ 778 頭について、事前周知葉書により“宛先不明”となった 2 頭分を除き、残りの 776 頭を調査対象として、アンケート調査（紙媒体）を実施した。

(i) アンケート設問概要

次表の行動特性（気質）についてアンケート調査を行った。

恐怖関連攻撃	<ul style="list-style-type: none"> i) 恐怖は、動物にとって有害な状況または出来事に対して生じる正常な反応（攻撃、逃走、パニック、不動化等）であり、経験に基づくものであるため、脅威となる対象（人間・動物・非生物・状況）が決まっている。恐怖関連攻撃は、この恐怖に基づいて生じる反応の一つである。 ii) 初回は受動的な攻撃であるが、当該刺激を攻撃によって回避できた経験により負の強化が働き、攻撃は重篤化、かつ、能動化する。 iii) はじめのうちは、攻撃後に動物が落ちつきをとり戻すまでに数分間の時間を要する。 iv) 社会化不足は恐怖刺激を増やすので、この攻撃を起こしやすいと言われている。 v) 猫では恐怖関連攻撃が後述の転嫁攻撃に伴って発生することがあるので注意が必要である。
捕食行動の一環としての攻撃	<ul style="list-style-type: none"> i) 攻撃は制御されず激しいと言われている。情動に基づかない。 ii) 動きや匂いが刺激となる。
遊び関連攻撃	<ul style="list-style-type: none"> i) 猫では捕食行動関連の遊び行動による攻撃が主である。 ii) 対象はほとんどが飼い主と同居動物である。 iii) 幼齢動物で多い傾向にある。 iv) 成猫になっても多く見られる。 v) 猫では早期離乳とこの攻撃行動発現との関連が指摘されている。
テリトリー関連攻撃	<ul style="list-style-type: none"> i) 自分のテリトリーと認識している場所に入ってくる人間・動物に向けられる能動的な攻撃である。 ii) 猫は犬よりテリトリー意識が高いと言われている。
転嫁関連攻撃	<ul style="list-style-type: none"> i) 実際の攻撃対象に何らかの理由（物理的な障害）があつて近づけない時に、そばにいる無関係の人間・動物・物に対して行われる攻撃である。 ii) 行動は制御されない場合が多いと言われている。 iii) 猫で多い傾向にある。 iv) この攻撃を受けたヒトが、その猫に恐怖を与える反応をした場合（例；叩く、怒鳴る）、それによって恐怖関連攻撃が発症する可能性がある。

恐怖・不安	<p>恐怖は、動物にとって有害な状況または出来事に対して生じる正常な反応（攻撃、逃走、パニック、不動化等）であり、経験に基づくものであるため、脅威となる対象（人間・動物・非生物・状況）が決まっている。反応としては、弱い反応類型として、不動化（固まる）、震える、過剰に鳴く、強い反応類型として、隠れる、破壊するかなのような行動（逃げ道であるドアや窓等に対して）、が挙げられる。</p> <p>類似した行動特性に不安があげられる。不安とは、嫌悪感を抱くような出来事や有害な状況が生じることへの予測に起因した、全般的な漠然とした恐怖感覚、繰り返される発作やパニックを言う。不安は恐怖と異なり、経験に基づかないが、明瞭な区分は難しい。</p>
友好・愛着	<p>猫種や個体によっては、飼主に対して愛着を示す行為や注意を向ける行為を要求するものがある。友好・愛着は、その有無や程度を判定するための行動特性である。</p>
興奮性	<p>外部からの何らかの刺激に対して興奮する、具体的には、①鳴き声が増える、②すばやい行動（敏捷な行動）の増加、③部屋の中を走り回る、④穏やかな状態に戻すのが困難、となることがある。その有無や程度は、猫種や個体によって異なる。興奮性は、これらを判定するための行動特性である。</p>
接触過敏	<p>猫種や個体により、人に触られることに対して過度に不安を感じるものがある。ケースによっては、人との共同生活に支障を来す場合もある。そこで、この人の接触に対する過敏性の有無及び程度を判定するための行動特性が接触過敏性である。</p>

（ii）パンフレット、手順解説資料等の作成

当アンケート調査への協力を得るべく、アンケートの調査目的、回答手順について記載した資料を作成した。

（iii）アンケート調査

第一に、設問及び回答用紙（マークシート及び自由記述回答用紙）の作成を行った。マークシートはイヌ・ネコ共通で作成した。昨年度同様、飼い主の満足度調査も組み込んだ。

第二に、設問冊子及び回答用紙の印刷を行い、全ての印刷物を封筒に封入し、宛名作成後、郵送した。

第三に、返送されたマークシートを、専用機械で読み取り、電子データへ変換した。

作成した資料は次表の通りである。

・書類送付のご案内
・ネコ ご協力をお願い
・ネコ 送付物・返送物リスト
・ネコ 設問集
・犬種・猫種一覧表
・マークシート回答用紙
・ネコ 自由記述回答用紙

ウ) 郵送について

アンケートの被送付者が①調査主体を信頼しうるように、また②調査内容に興味を持ちうるように、a) 環境省のロゴ、及び、行動特性診断の提供を明示した送付用の封筒、b) 料金受取人払の返送用封筒を作成した。さらに、送付時すでに愛犬あるいは愛猫と別離している可能性があるため、その場合に備えて、簡易に投函できる、非同居者用の返信はがきを作成した。別離にも関わらず調査協力してくださる方々の労力を軽減する必要があるからである。

作成した封筒及びはがきは次表の通りである。

・資料送付用封筒
・イヌ 結果送付用封筒
・返送用封筒
・現在愛犬・愛猫を飼育していない方の返送用はがき

エ) 回収率（平成 28 年度）

(i) 発送数

発送数は次表のとおりである。

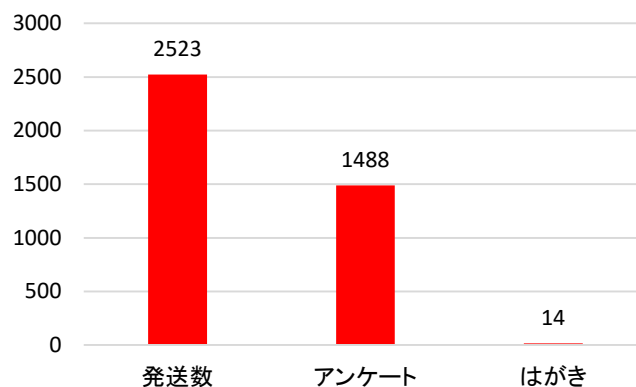
発送数	封筒	
	犬	猫
2016/12/28	2523	776

(ii) イヌとネコそれぞれの回収率（平成 28 年度）

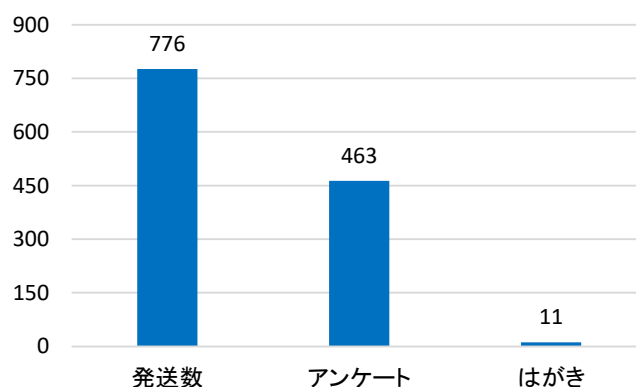
発送に対する回答数は下のグラフの通りである。なお、解析に組み込んだ回答はイヌネコともに 2017 年 3 月 17 日到着分までとした。また、性格診断の返送については、2017 年 2 月 23 日（本来の期限）到着分までとした。

回収数	封筒	はがき
2017/01/10	671	7
2017/01/11	45	
2017/01/12	53	
2017/01/13	42	2
2017/01/16	124	4
2017/01/17	23	
2017/01/18	23	
2017/01/19	30	1
2017/01/20	22	
2017/01/23	58	
2017/01/24	23	
2017/01/25	20	
2017/01/26	20	
2017/01/27	17	
2017/01/30	45	1
2017/01/31	11	
2017/02/01	10	1
2017/02/02	20	
2017/02/03	18	
2017/02/06	37	
2017/02/07	14	
2017/02/08	19	
2017/02/09	22	
2017/02/10	7	
2017/02/13	37	1
2017/02/14	11	
2017/02/15	5	
2017/02/16	13	
2017/02/17	16	
2017/02/20	35	
2017/02/21	21	
2017/02/22	19	
2017/02/23	14	
2017/02/24	1	
2017/02/27	9	
2017/03/01	1	
2017/03/02	2	
2017/03/03	24	1
2017/03/06	119	1
2017/03/07	37	
2017/03/08	24	1
2017/03/09	45	1
2017/03/10	17	
2017/03/13	54	3
2017/03/14	18	1
2017/03/15	18	
2017/03/16	18	
2017/03/17	19	
合計	1951	25
総合計	1976	
回収率(犬猫合算)	59.9%	

発送数及び回収数(～170317) イヌ



発送数及び回収数(～170317) ネコ



(iii) 宛先不明戻り数

発送したアンケート 3299 通のうち、宛先不明により返送されたものは 112 通であった。データベースに登録されていた電話番号への問い合わせにより、住所変更の確認がとれたものについては再送付を行った。

宛先不明郵送物対応内容	
宛先不明戻り数	112
電話住所確認数	58
電話不通	12
対象個体死亡	1
譲渡済み	3
回答拒否	1
不明	37

(iv) 督促はがきの送付

2 月末日までに返送のなかった対象者について、3 月 3 日付で督促はがきの送付を行った。督促はがきには購入日及び購入店舗を記載し、アンケートへの回答を促した。アンケート冊子の再送付を希望する場合は、電話もしくはメールにてその旨の連絡をいただき、随時対応した。3 月 17 日までの状況については次表の通りである。

督促はがき(3/3発送)			
内訳	犬	猫	合計
発送数	1329	392	1721
宛先不明戻り数	14	4	18
電話・メール再送願い数	95	27	122
事前説明がなかったため辞退	0	1	1
高齢により回答不可能	1	0	1
譲渡済み	2	3	5
死亡	2	2	4
事前説明なかったため回答せず。電話により承諾。	2	0	2

(v) はがきの回答内容

はがきの回答内容については下表の通りである。

※複数回答可としたため、回収数と回答数が異なる

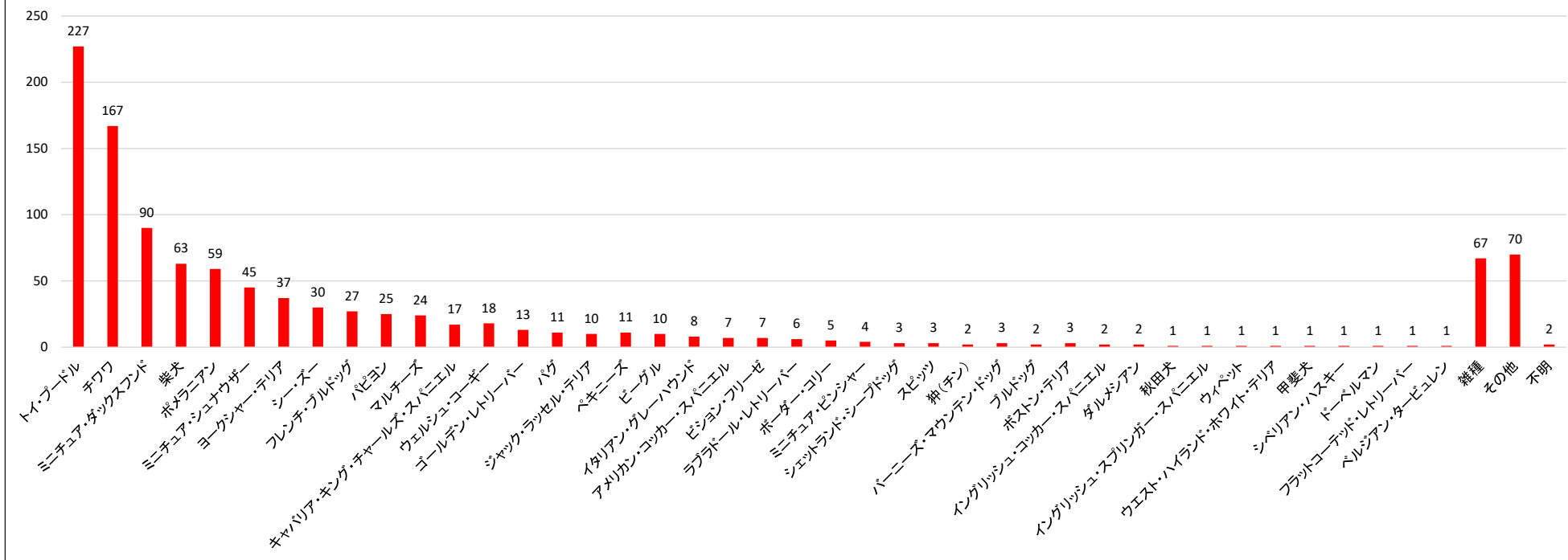
なお、「その他」については、電話で内容を確認したところ、問題行動があることを理由に手放した人はいなかった。

はがき回答内容 犬		
回収数		14
回答数		16
死別	病気	4
	怪我	1
譲渡	経済的事情	1
	転居	2
	飼い主と相性が良くない	0
	同居人と相性が良くない	0
	想像していた犬種のイメージと違う	0
	その他	8

はがき回答内容 猫		
回収数		11
回答数		12
死別	病気	3
	怪我	1
譲渡	経済的事情	0
	転居	2
	飼い主と相性が良くない	1
	同居人と相性が良くない	1
	想像していた猫種のイメージと違う	0
	その他	4

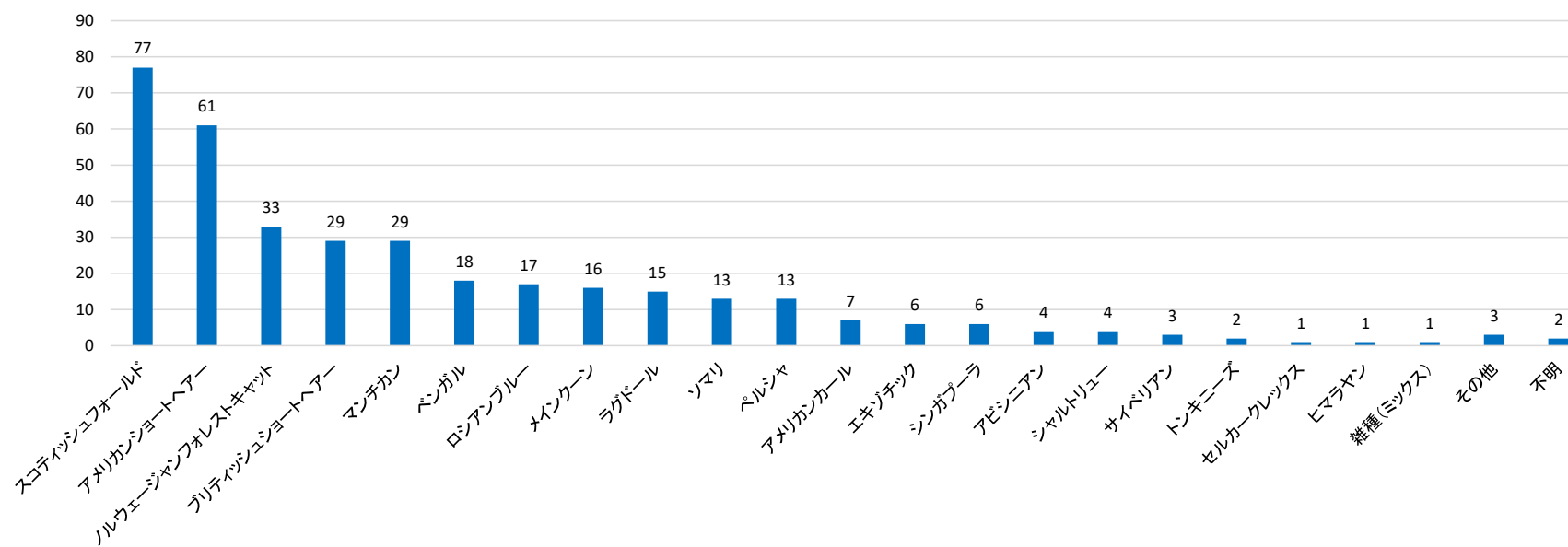
回収犬種及びサンプル数(罹患個体は含まず)

合計: 1089頭



回収猫及びサンプル数(罹患個体は含まず)

合計:361頭



本年度データ化した平成 27 年度調査分について

本年度データ化した平成 27 年度調査分について

平成 27 年度アンケート対象者の返送分合計 3 2 7 件のデータ内訳は次表の通りである。

平成27年度調査	
イヌ	268
ネコ	54
はがき	5

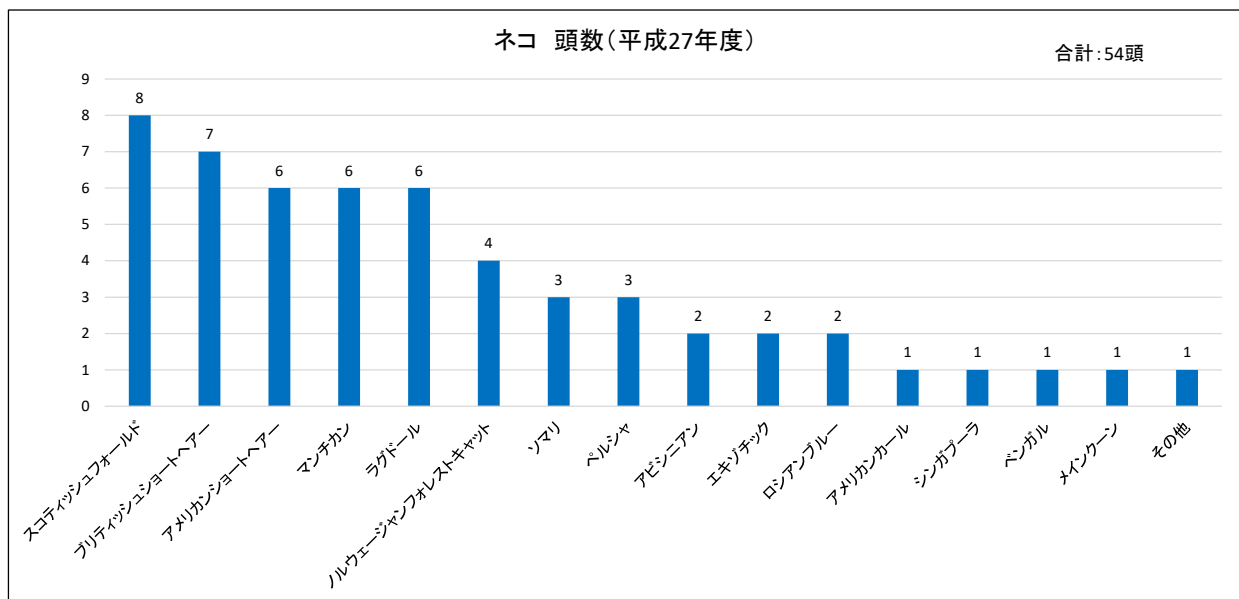
はがきの回答は下の表の通りである。

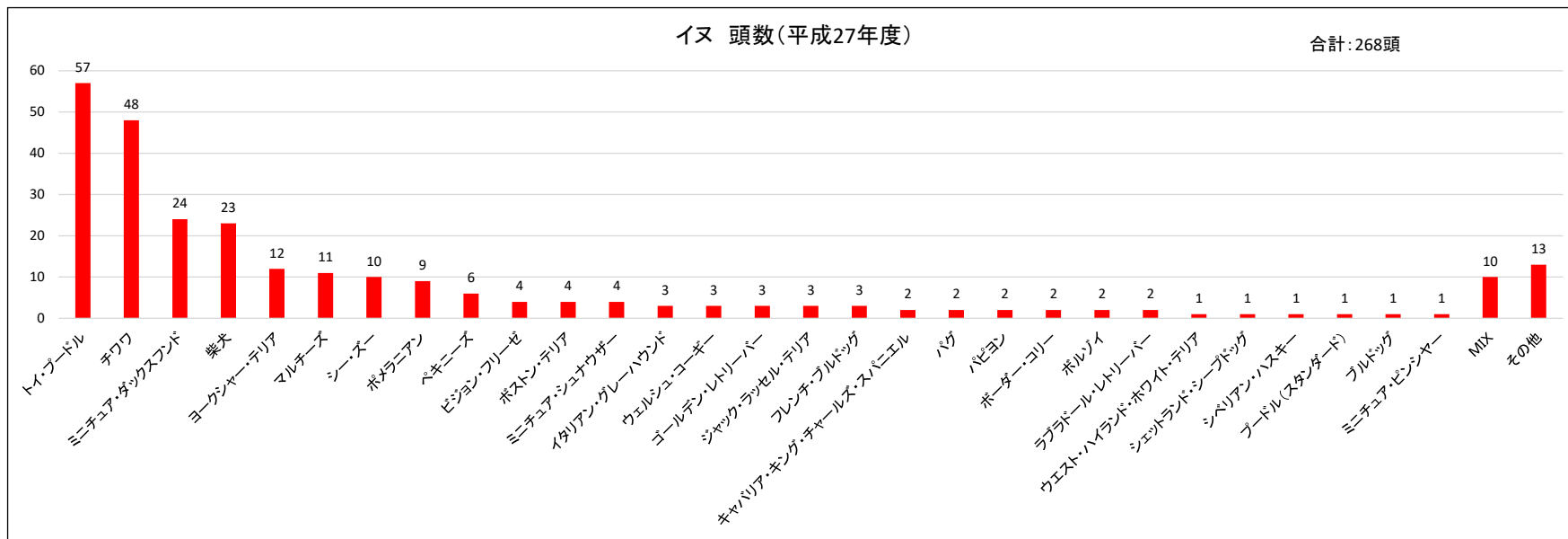
はがき回答内容 犬		
		回収数
死別	病気	1
	怪我	1
譲渡	経済的事情	0
	転居	0
	飼い主と相性が良くない	0
	同居人と相性が良くない	0
	想像していた犬種のイメージと違う	0
	その他	2

はがき回答内容 猫		
		回収数
死別	病気	0
	怪我	0
譲渡	経済的事情	0
	転居	0
	飼い主と相性が良くない	0
	同居人と相性が良くない	0
	想像していた猫種のイメージと違う	0
	その他	1

性格診断を希望していた 2 1 3 名に対して、行動特性の分析結果を送付した。

回収犬種・猫種及びサンプル数は次表の通りである。





(2) データの分析_引き離し時期と行動特性との相関に関する分析

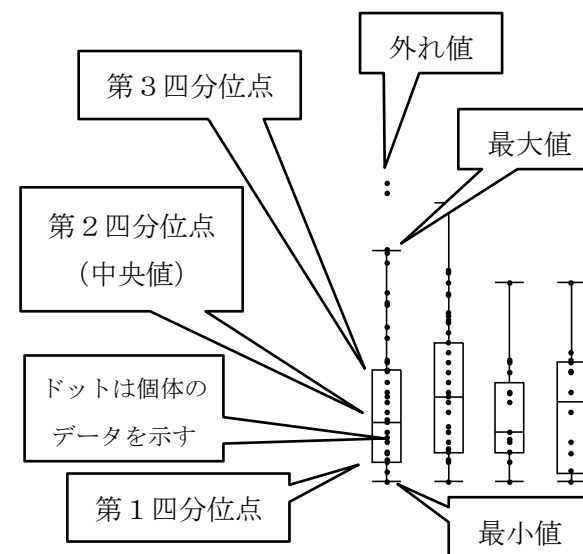
当調査を含む一連の調査（犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査）は、“行動特性の数値の高低”と“引き離し時期”の相関関係の解析に主眼がある。その解析に必要なサンプル数は別業務（平成26年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査検討業務等）において検討されており、最終的な解析はそのサンプル数に達したのち実施される予定である。当アンケート調査及びデータ分析は、上記一連の調査のうち、平成27年度中に承諾を得た飼主より収集したデータにより、中間解析を行うものである。

前述のように、イヌについては1,000頭を超えるデータが回収されている。ただ、①引き離し時期（以下、日齢）ごとの収集データ数に大きなばらつきがあり、また、②50日齢以降のサンプル数が、46日齢から49日齢までのサンプル数に比較して極端に少なく、日齢ごとに比較検討するのに十分なサンプル数とは言えない現状にある。これを犬種に分けると、さらに50日齢以降のサンプル数が減ってしまう。

そこで、当分析においては、上記①②を踏まえつつ、まずデータを可視化し、現状で可能な限りの中間解析を行った。具体的には、ア) 全頭及び回収数が最大のプードル（トイ）について、昨年度と同様の方法で行動データの可視化を行い、イ) 全頭（全犬種）について各行動特性のスコアと日齢・性別・体重・去勢避妊の有無に関連が見いだせるかを解析した。

なお、解析の枠組み（数理モデルの選択等）については、「平成27年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査手法等検討業務」において座長を務める菊水健史氏（麻布大学教授）の指示に従った。

可視化の方法には箱ひげ図を用いた。箱ひげ図は、対象となるデータセットを数値の小さい方から並べていき、最小値（下のひげ）、1/4番目にある数値（箱の下底 [第1四分位点]）、1/2番目にある数値（箱の中央 [第2四分位点（中央値）]）、3/4番目（箱の上底 [第3四分位点]）、最大値（上のひげ）を、箱とひげで表現する。外れ値は、第1四分位点から第3四分位点の範囲を1.5倍した数値を上側四分位点に足した値、あるいは下側四分位点から引いた値を超えたデータと定義した。個体データを示すドットは重なる箇所もあるため、実際の頭数よりも少ないことがある。この箱ひげ図はデータの分布（ばらつき）を、異なる分類（ここでは日齢）で同時に比較して見ることができるため、これを採用した。



ア) “行動特性の数値の高低”と“引き離し時期”の相関関係の解析について

(i) イヌ

攻撃性、恐怖性、分離不安、接触過敏性、興奮性といった行動特性（内容については前述）については、そのスコアが低い方が飼育者の伴侶としての適性が高いと考えられる。これらの行動特性に分類される行動が頻繁に発生する場合、飼育者の生活にマイナス方向の影響がでる可能性があるからである。他方、訓練性、追跡能力、愛着行動、運動活性については、そのスコアの高低と伴侶としての適性の相関は必ずしも明らかではない。飼育者が何を求めるかによる部分が大きいと考えられるからである。

(ii) ネコ

恐怖関連攻撃、捕食行動の一環としての攻撃、遊び関連攻撃、テリトリー関連攻撃、転嫁関連攻撃、恐怖、不安、興奮性、接触過敏性といった行動特性（内容については前述）については、そのスコアが低い方が飼育者の伴侶としての適性が高いと考えられる。これらの行動特性に分類される行動が頻繁に発生する場合、飼育者の生活にマイナス方向の影響がでる可能性があるからである。他方、友好・愛着については、そのスコアの高低と伴侶としての適性の相関は必ずしも明らかではない。飼育者が何を求めるかによる部分が大きいと考えられるからである。

(iii) “引き離し時期”との相関について

以下、イヌ及びネコのそれぞれについて、行動特性ごとに、現時点の収集データの可視化及び気質と日齢の相関について検討を行う。

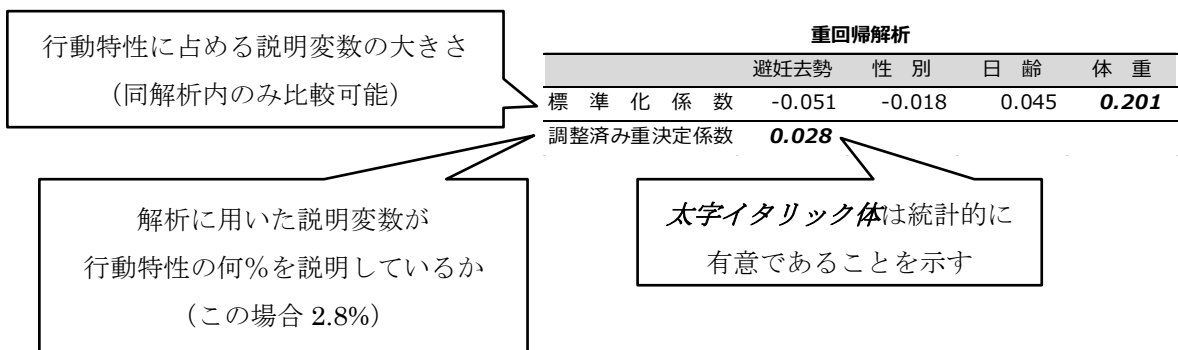
イ) イヌ

1, 089頭分のデータ（罹患個体等は含まず）を解析に供した。なお、「この場面に出会ったことがない」という回答の場合、データとしてカウントされないため、行動特性の種類によっては、1, 089頭分未満のデータしかないものもある。

解析には重回帰分析を用いており、応答変数として行動特性スコア（連続値）、説明変数として日齢（離散値）・性別（ダミー変数）・体重（連続値）・去勢避妊の有無（ダミー変数）を採用している。

去勢避妊 (Neutered status)		性別 (Sex)	
なし	あり	male	female
0	1	0	1

体重 (Body weight)	日齢 (Age)
連続値	整数

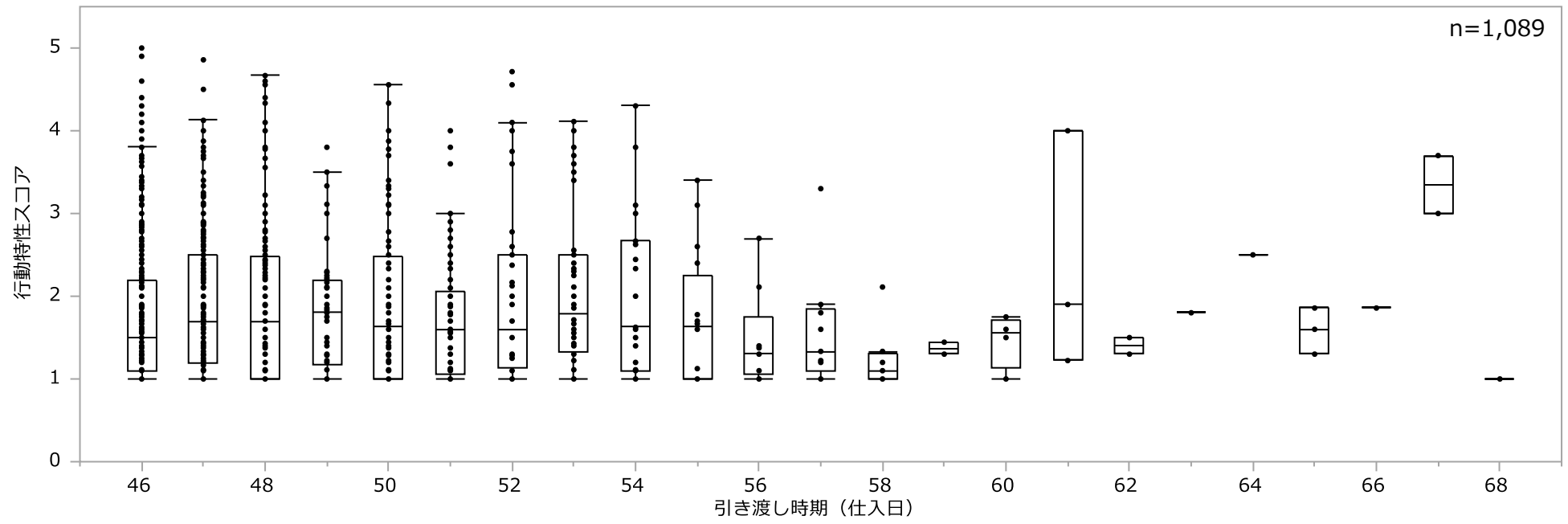


■全頭 [1,089 頭] (罹患個体除外) ■

日齢によるデータ数のばらつきが大きいものの（下記表参照）、現状において一定の傾向を見出すべく、データの可視化及び重回帰解析を行った。56日齢以降の各頭数が10頭に満たないため慎重に判断する必要があるが、箱ひげ図及び重回帰解析の結果からも、日齢による行動特性スコアの明瞭な差を直接みとめることはできない。ただし、①全頭（全犬種）を含めた解析である点、②いまだ56日齢以降の頭数がそれぞれ10頭に満たない点、③データ可視化しても視認できない差について、適合度の高い数理モデルによって判定が可能な場合もありうる点、④本解析はあくまでも中間解析である点、等から、これら諸課題をクリアした本解析において厳密な判断を下すべきと考える。

引き離し時期 (仕入日)	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69~
頭数	369	239	117	54	88	57	36	36	23	16	9	9	8	2	4	3	2	1	1	3	1	2	1	8

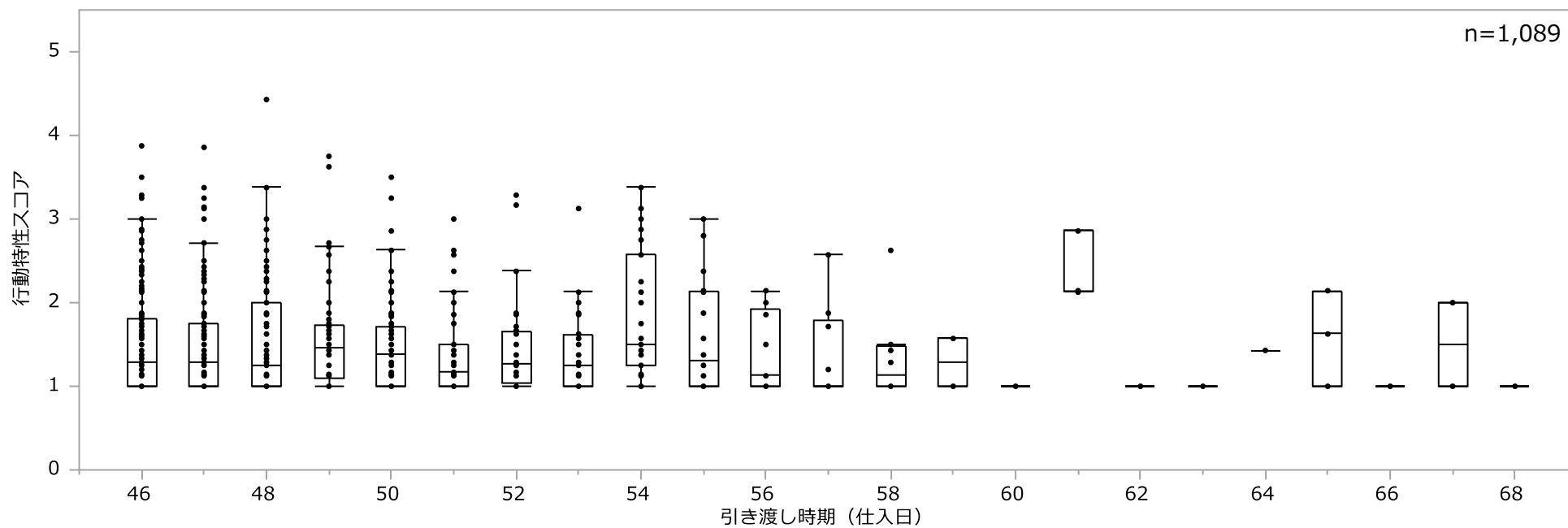
(i) 見知らぬ人への攻撃 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標 準 化 係 数	0.012	-0.070	-0.006	-0.047
調整済み重決定係数	0.003			

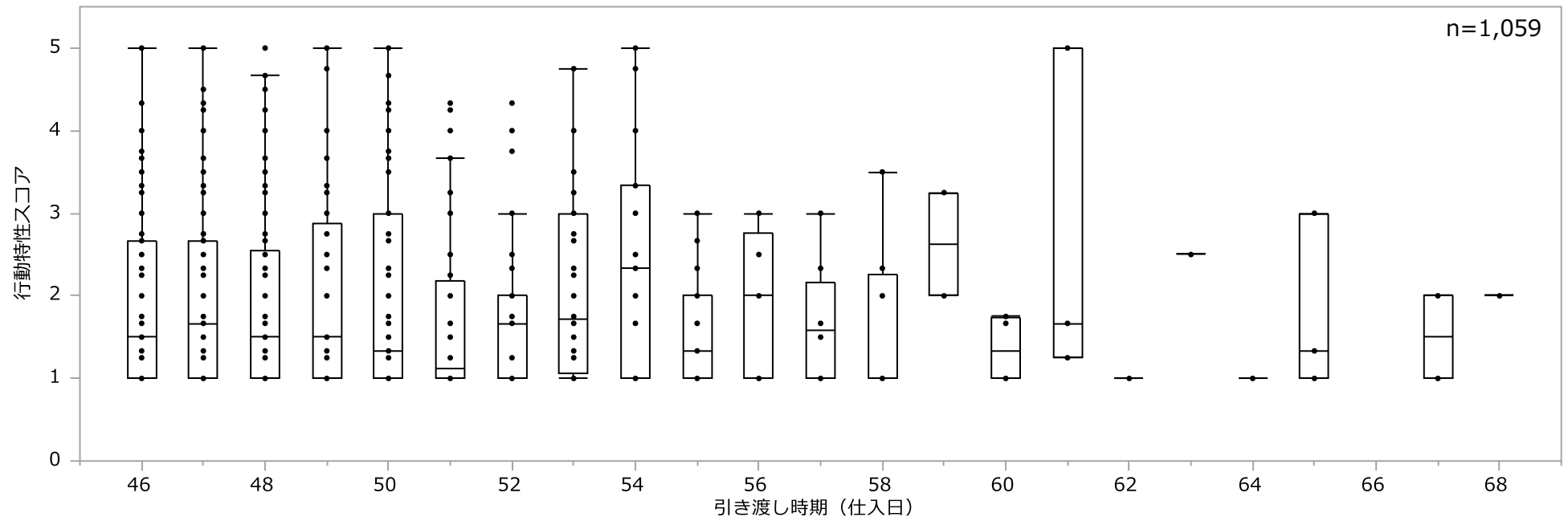
(ii) 飼い主への攻撃 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	0.063	-0.011	0.008	-0.039
調整済み重決定係数	0.002			

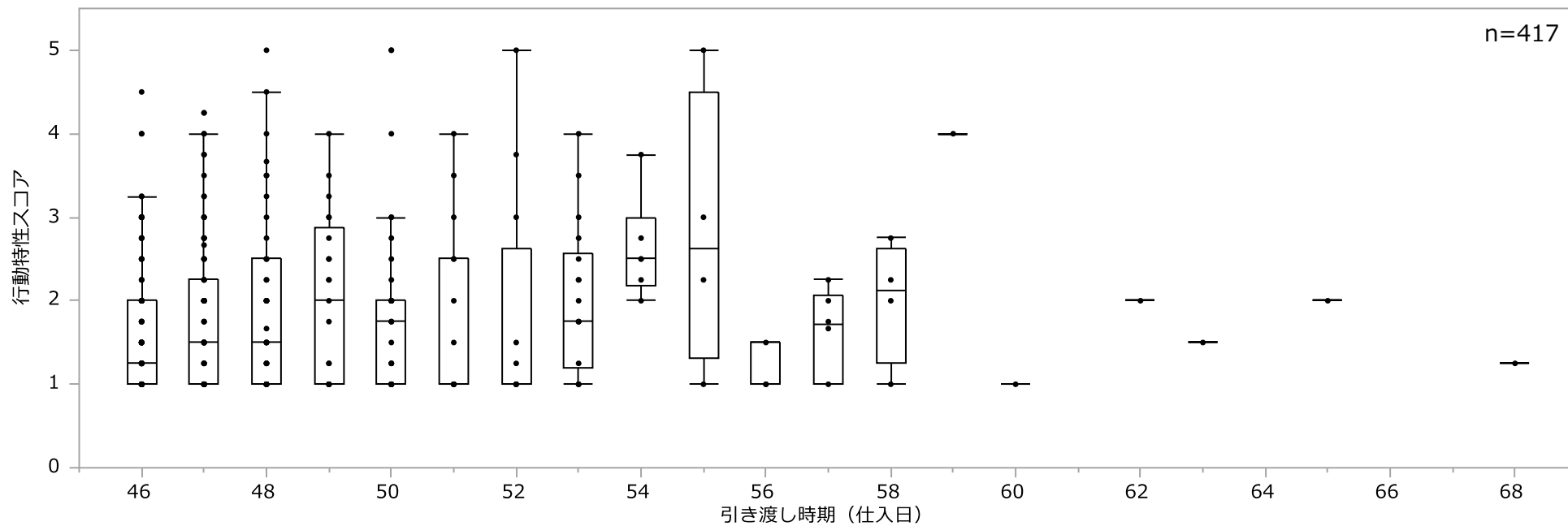
(iii) 見知らぬ犬への攻撃 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	-0.009	-0.075	0.006	0.024
調整済み重決定係数	0.003			

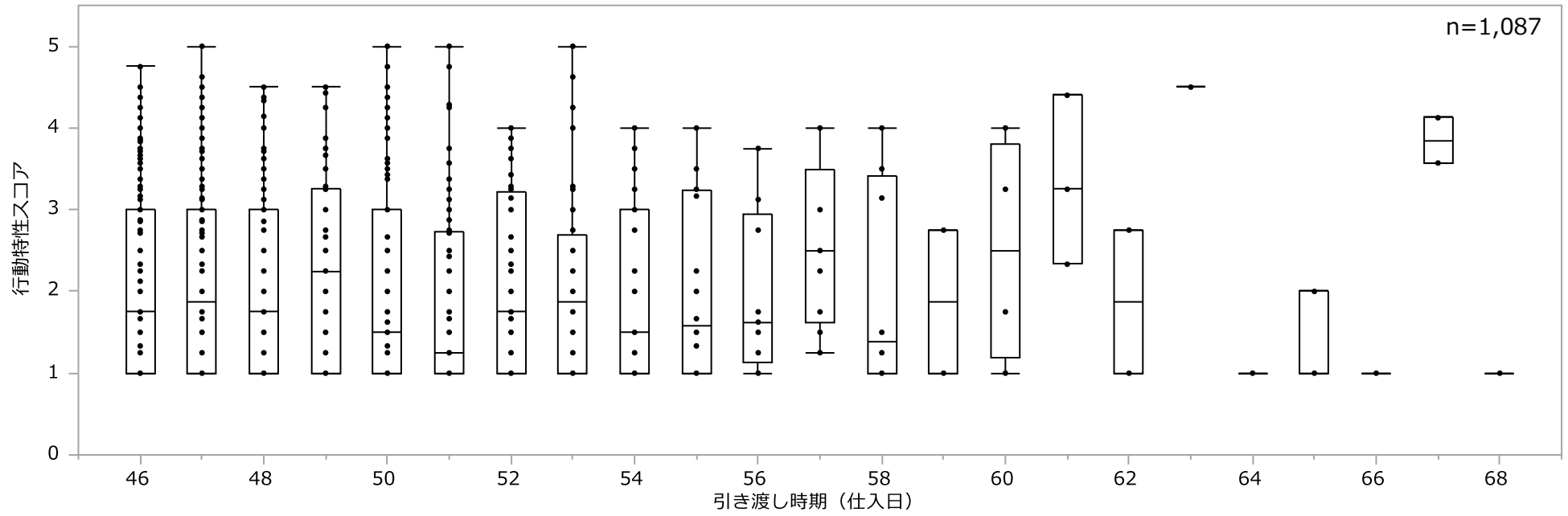
(iv) 同居犬への攻撃 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	0.005	-0.007	0.086	-0.022
調整済み重決定係数	0.002			

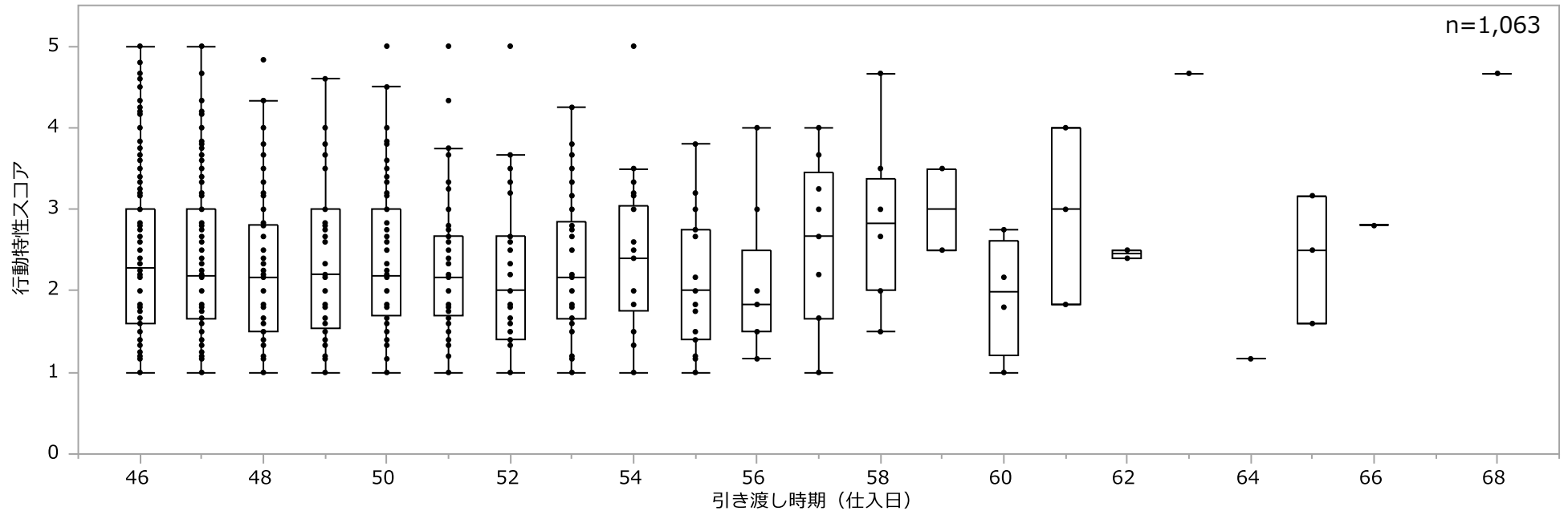
(v) 見知らぬ人への恐怖 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	-0.039	0.042	0.028	-0.052
調整済み重決定係数	0.003			

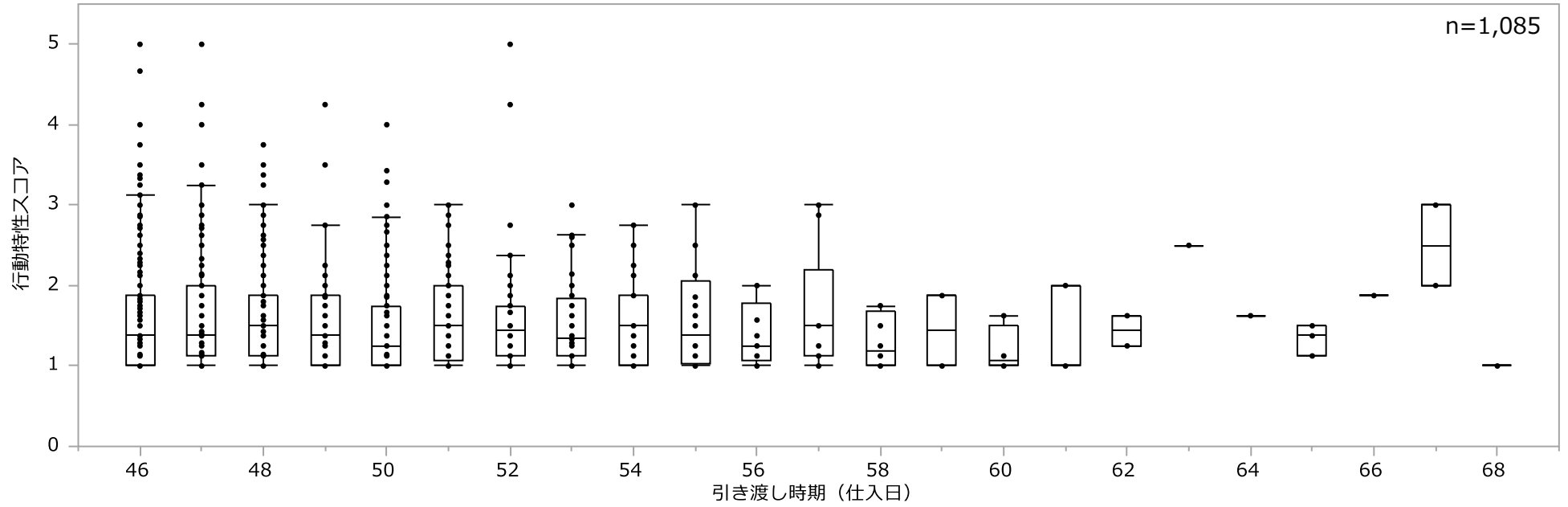
(vi) 物音や影などに対する恐怖 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	-0.041	0.068	0.023	-0.023
調整済み重決定係数	0.004			

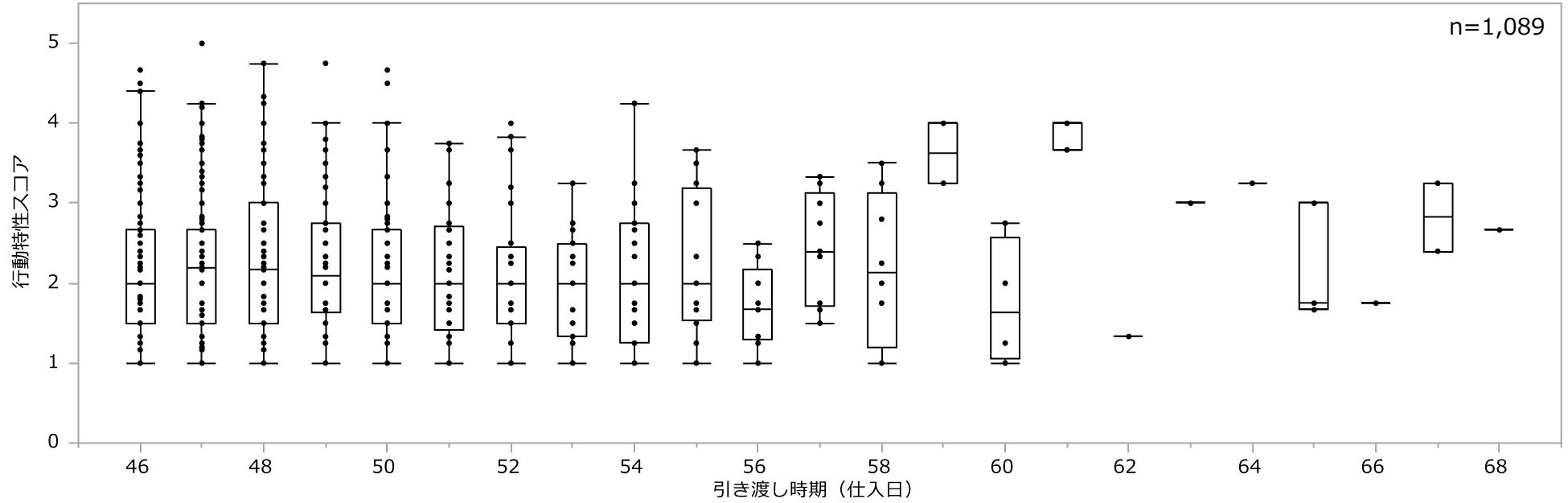
(vii) 分離不安 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標 準 化 係 数	0.011	-0.009	0.006	-0.023
調整済み重決定係数	0.003			

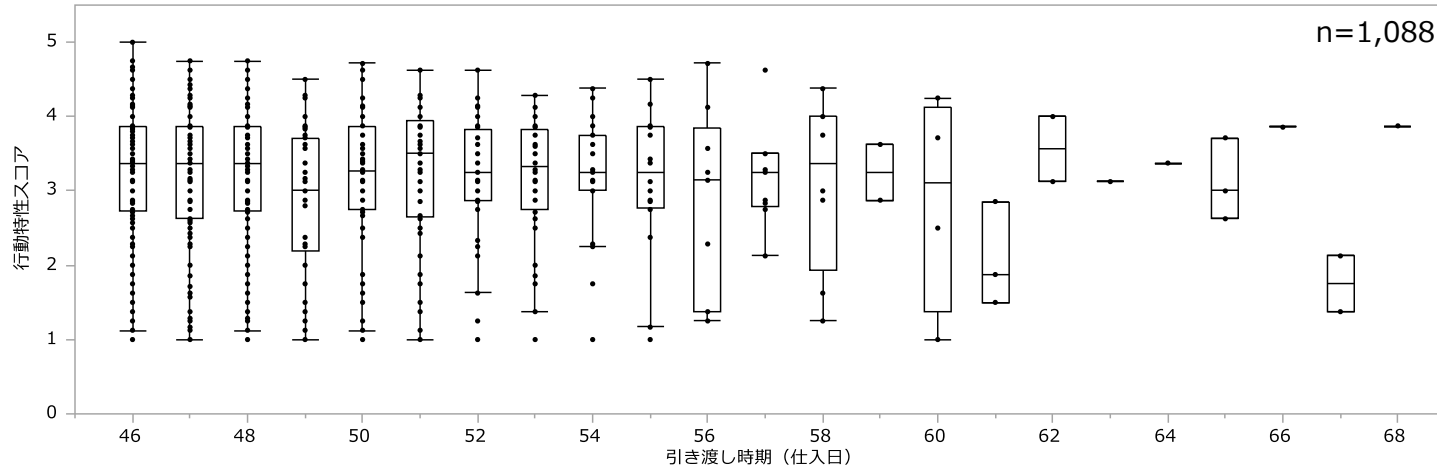
(vii) 接触過敏性 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標 準 化 係 数	0.013	0.048	-0.015	-0.099
調整済み重決定係数	0.010			

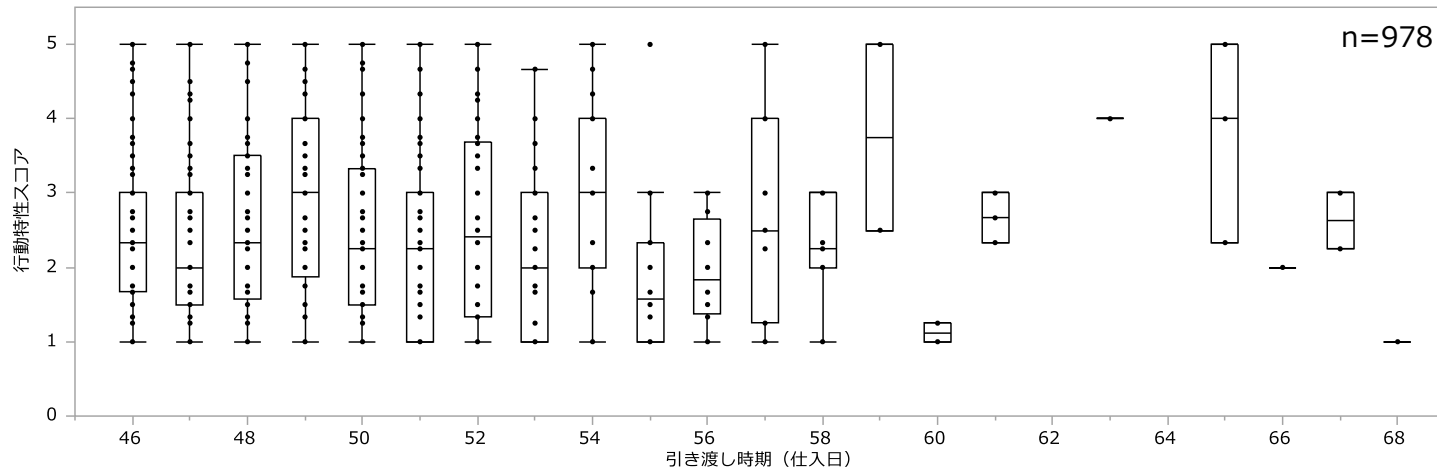
(ix) 訓練性 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化	0.030	-0.007	-0.022	-0.051
係数				
調整済み重決定係数	0.000			

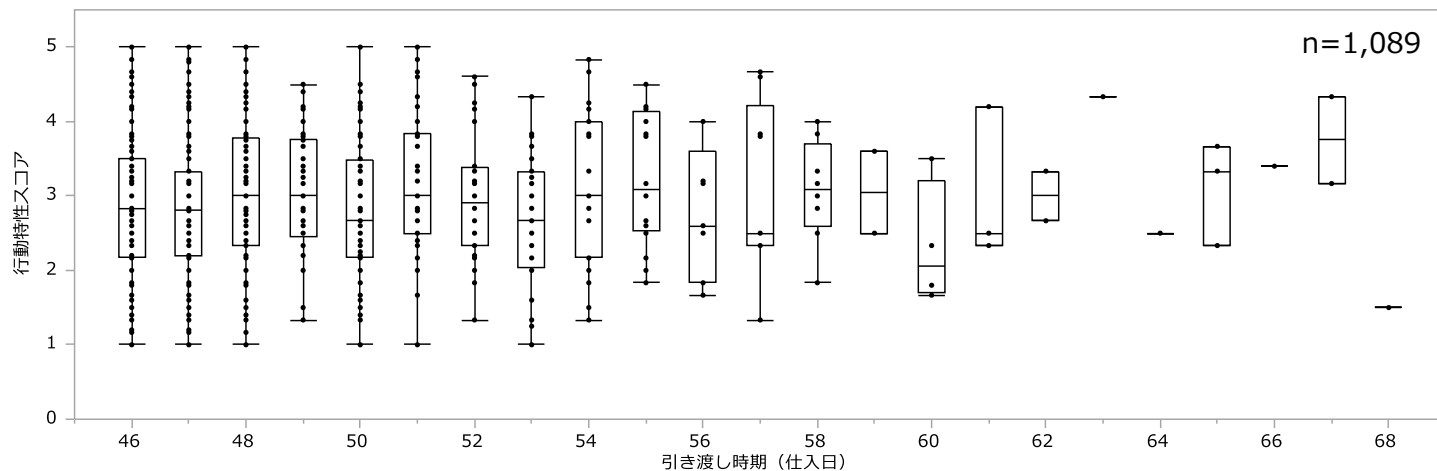
(x) 追跡能力 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化	0.017	0.040	0.042	0.131
係数				
調整済み重決定係数	0.014			

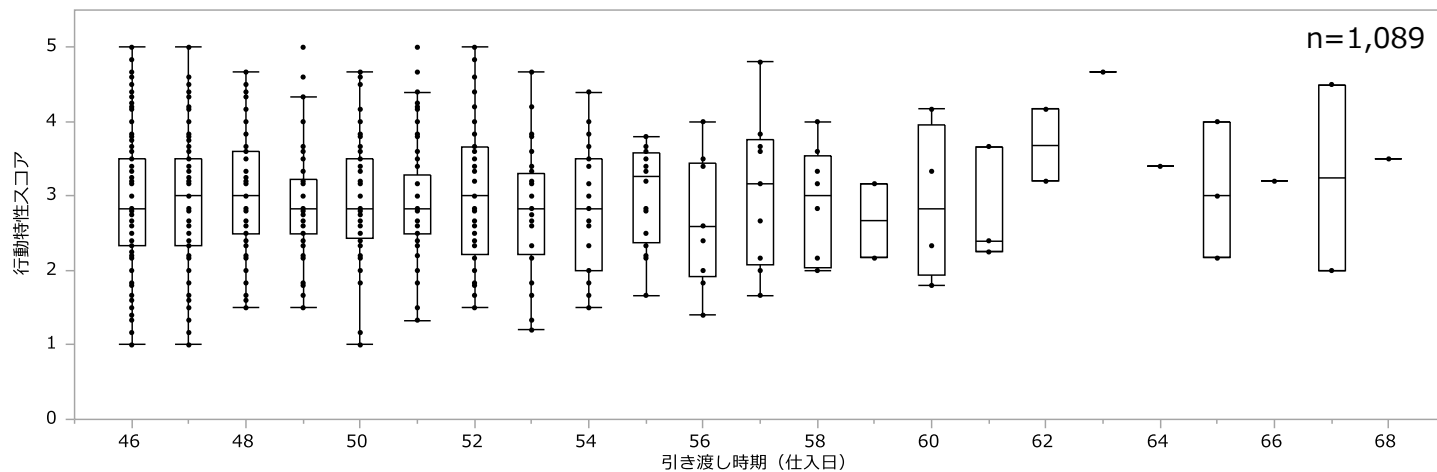
(xi) 興奮性 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化 係数	-0.065	0.023	0.015	-0.029
調整済み重決定係数	0.002			

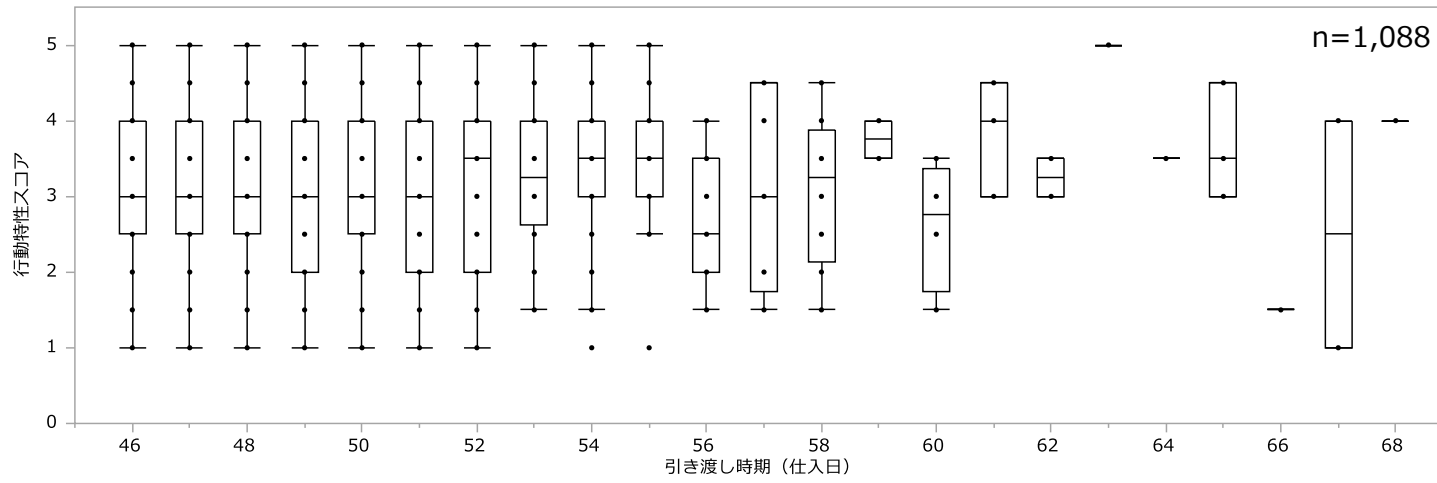
(xii) 愛着行動 (イヌ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化 係数	-0.038	0.003	0.020	-0.024
調整済み重決定係数	0.001			

(xiv) 運動活性 (イヌ全種)



重回帰解析

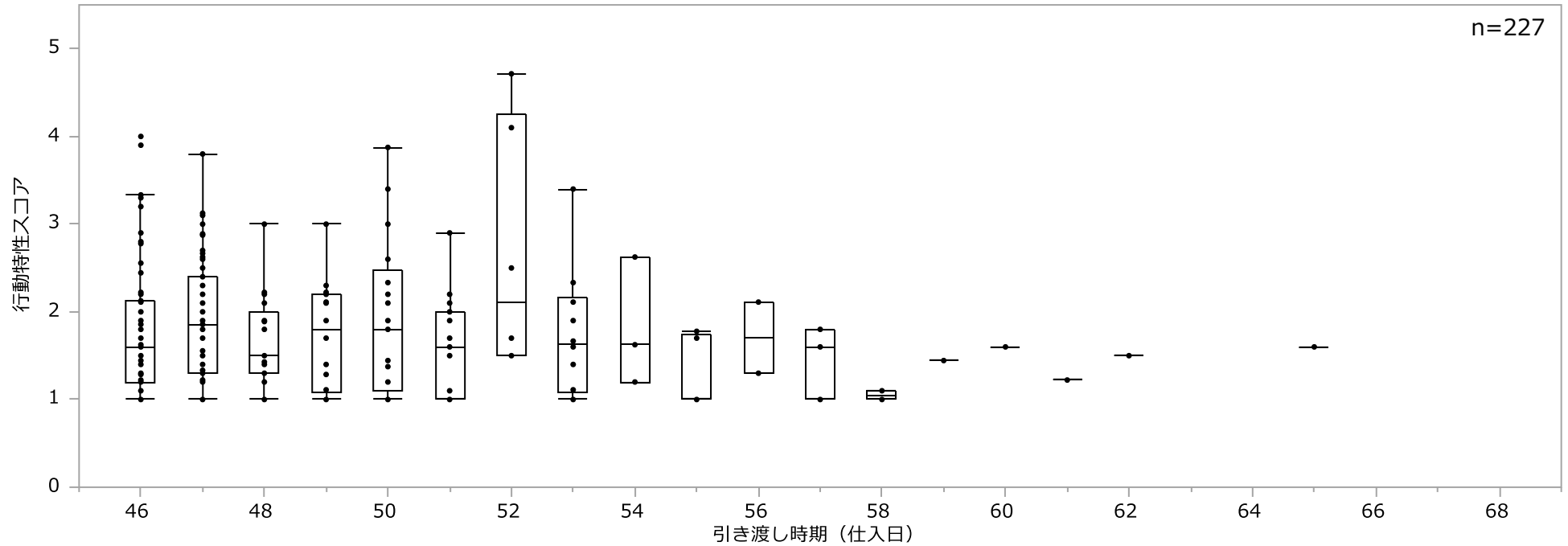
	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化				
係数	-0.030	0.015	0.029	0.086
調整済み重決定係数	0.005			

■プードル（トイ）[227頭] ■

行動特性には犬種の違いがあることが予想されるため、もっとも回答数の多かったプードル（トイ）をもちいて、データの可視化および重回帰分析を行った。全種、プードル（トイ）のいずれも、十分なサンプル数がなかったため、行動特性を統計的に十分説明しうる説明変数は見いだせなかった。ただし、プードル（トイ）では体重の標準化係数がプラスであるのに対し、全種ではマイナス傾向にあるため、本解析では犬種による行動特性の違いがあることを十分考慮する必要がある。引き離し時期（仕入日齢）は下記の表の通りである。

引き離し時期 (仕入日)	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69～
頭数	63	55	17	14	21	17	6	10	3	5	2	3	2	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	4

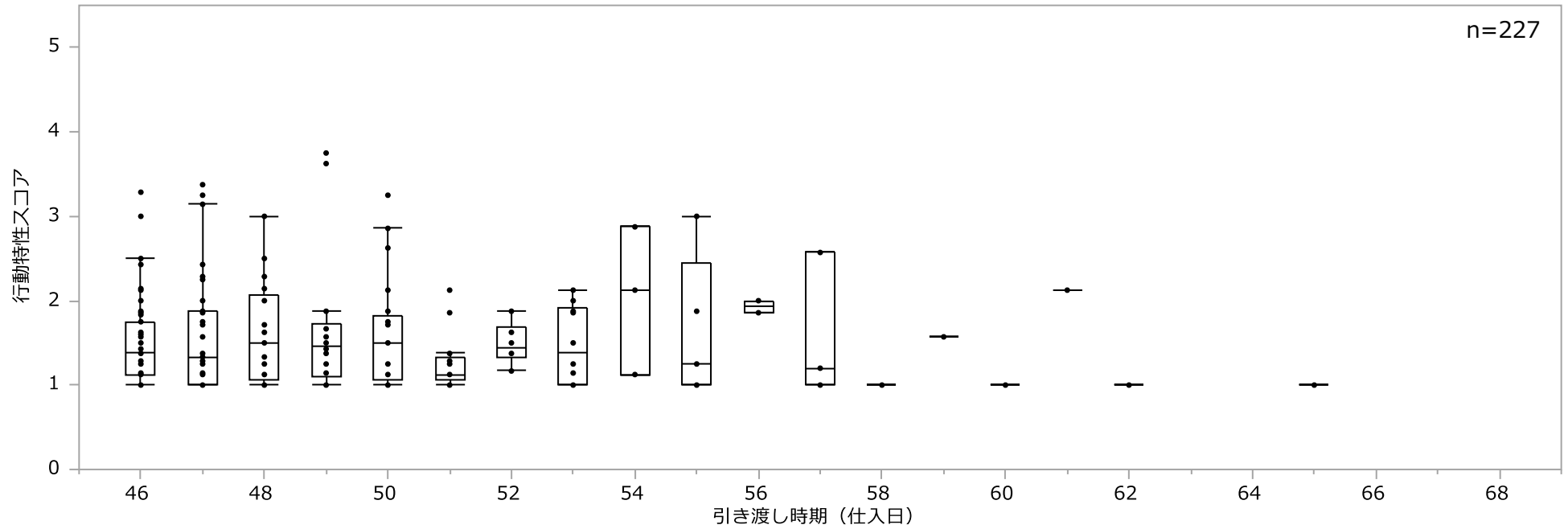
(i) 見知らぬ人への攻撃 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	-0.004	-0.008	-0.050	0.134
調整済み重決定係数	0.003			

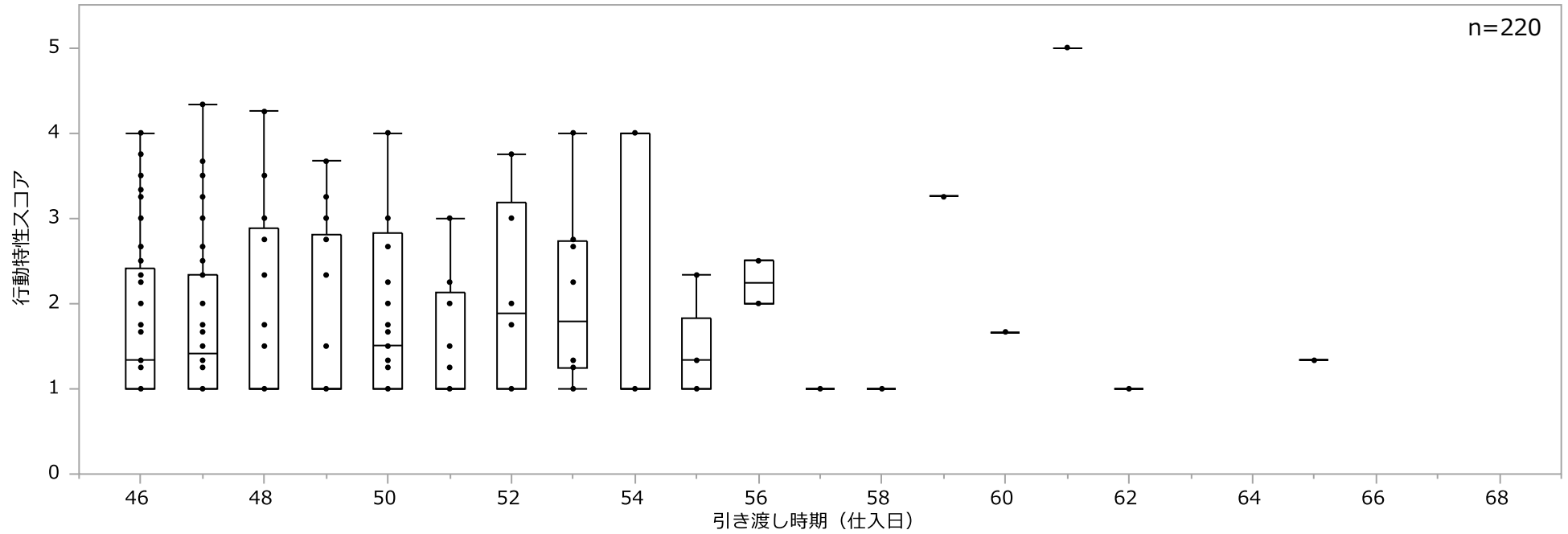
(ii) 飼い主への攻撃 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標 準 化 係 数	0.080	0.010	-0.075	0.047
調整済み重決定係数	0.001			

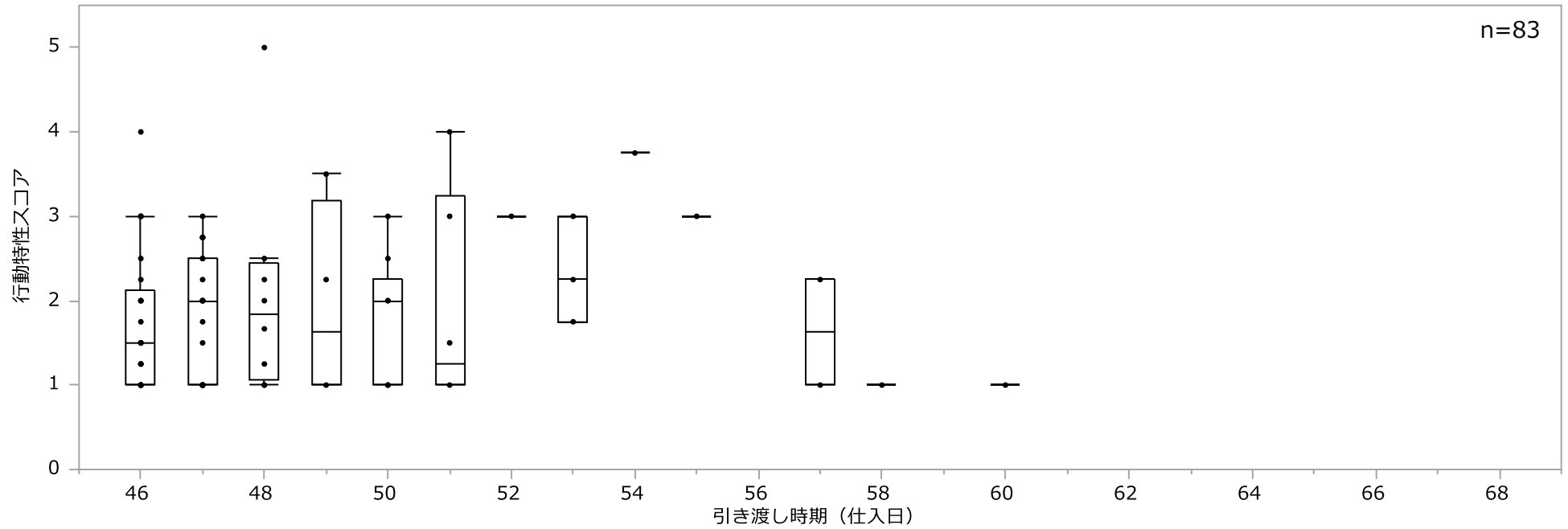
(iii) 見知らぬ犬への攻撃 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	-0.051	-0.018	0.045	0.201
調整済み重決定係数	0.028			

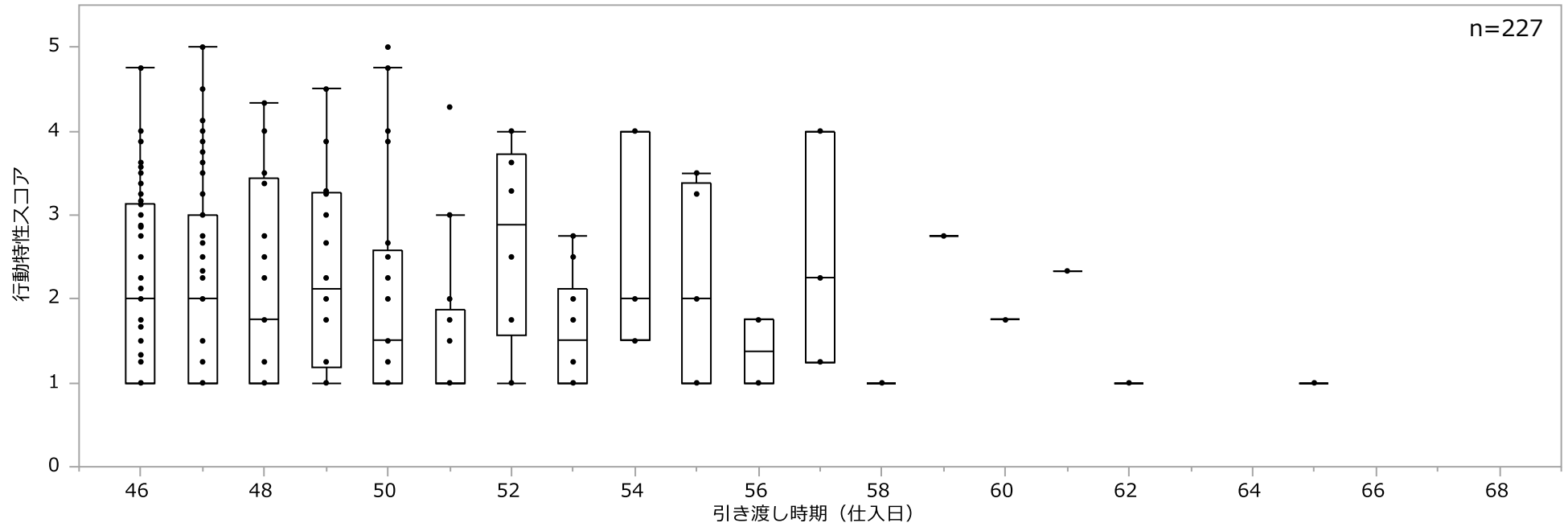
(iv) 同居犬への攻撃 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	0.022	-0.145	-0.286	-0.093
調整済み重決定係数	0.045			

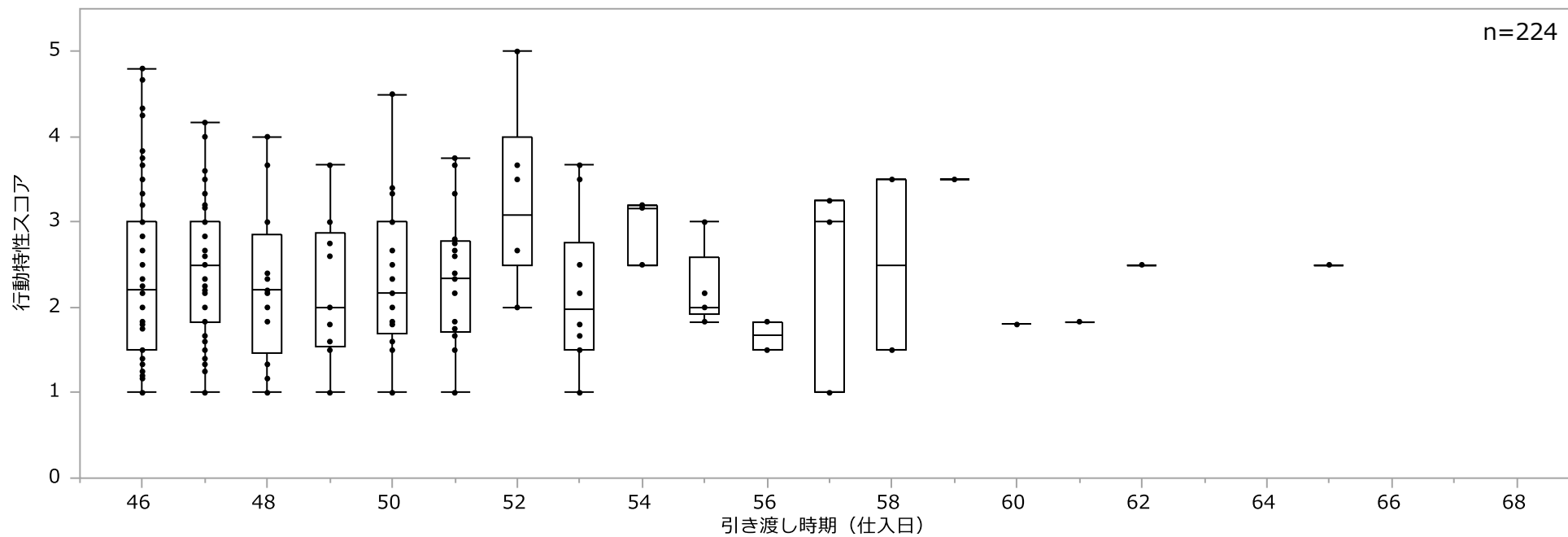
(v) 見知らぬ人への恐怖 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	-0.129	0.008	-0.093	0.067
調整済み重決定係数	0.008			

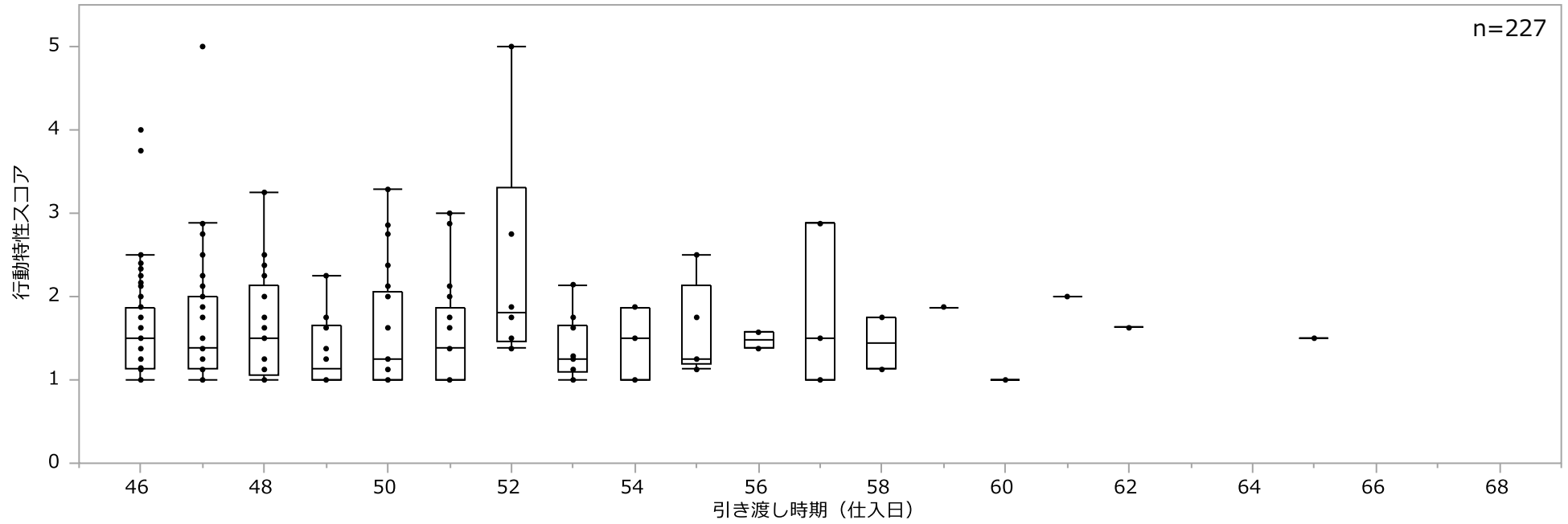
(vi) 物音や影などに対する恐怖 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標 準 化 係 数	-0.071	0.051	0.072	0.062
調整済み重決定係数	0.003			

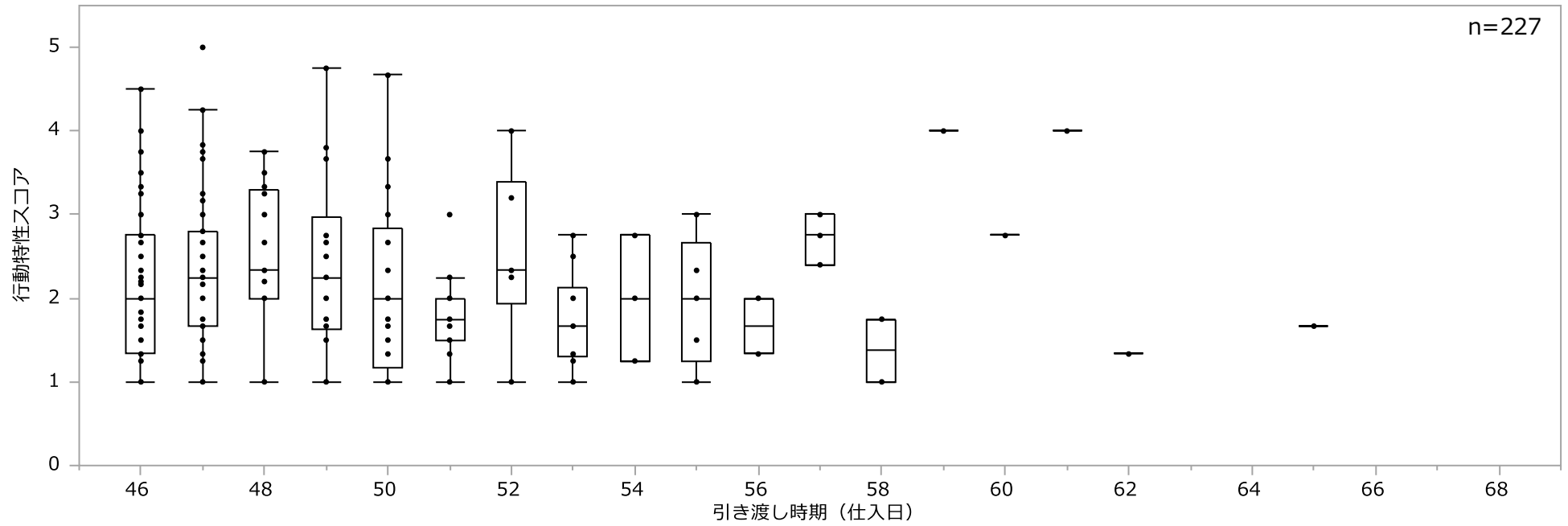
(vii) 分離不安 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標 準 化 係 数	-0.016	-0.009	-0.042	0.114
調整済み重決定係数	0.003			

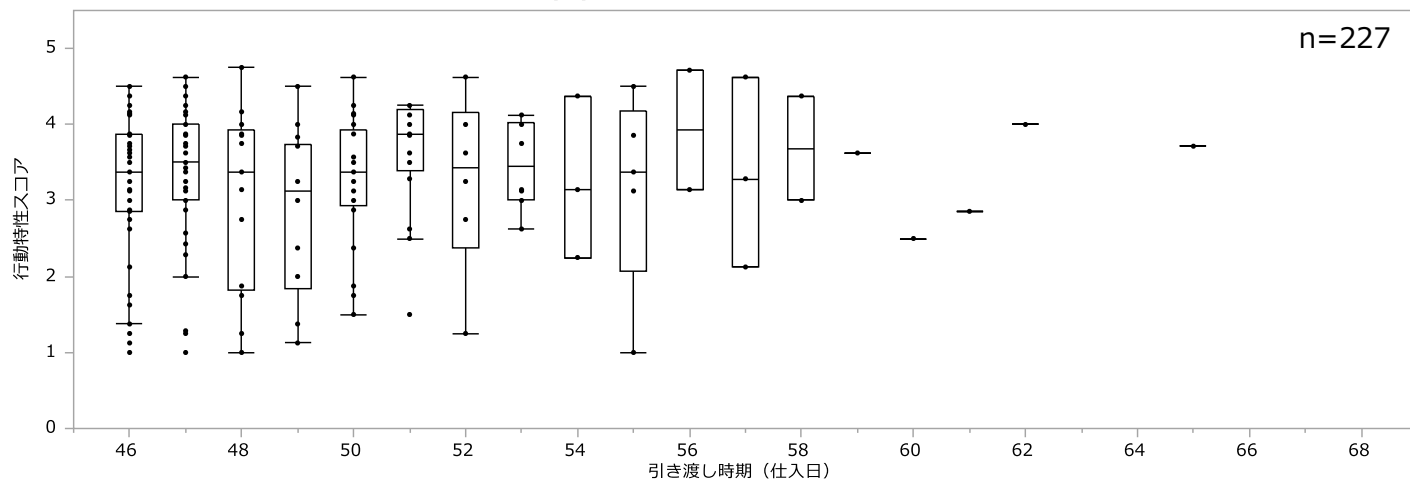
(viii) 接触過敏性 (フードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化係数	-0.080	0.006	-0.028	-0.005
調整済み重決定係数	0.011			

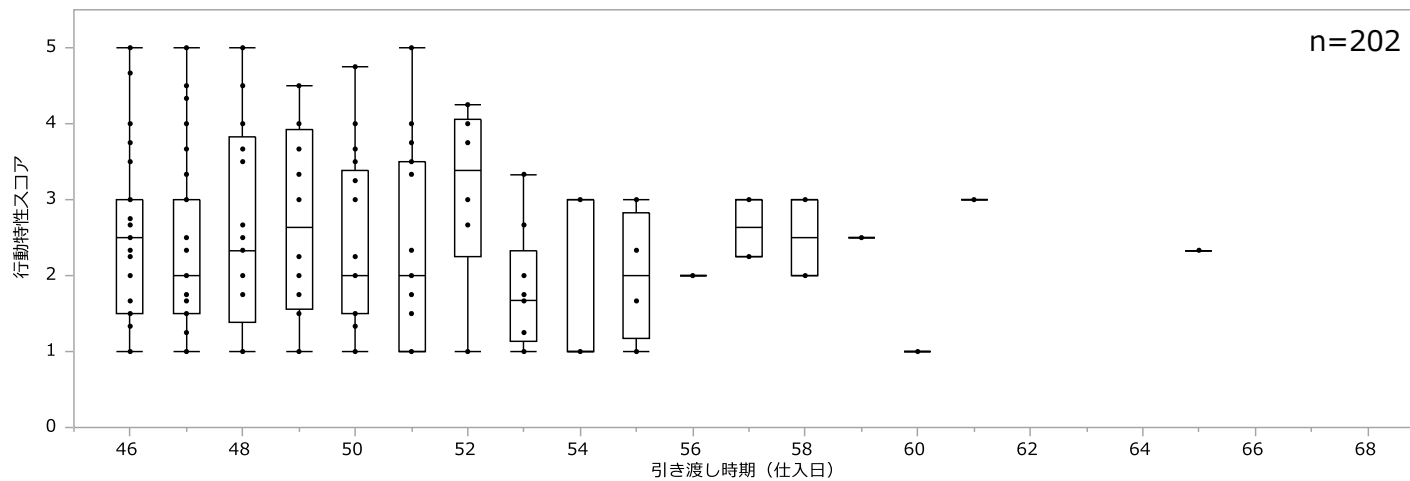
(ix) 訓練性 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化	0.025	0.008	0.076	-0.017
係 数				
調整済み重決定係数	0.012			

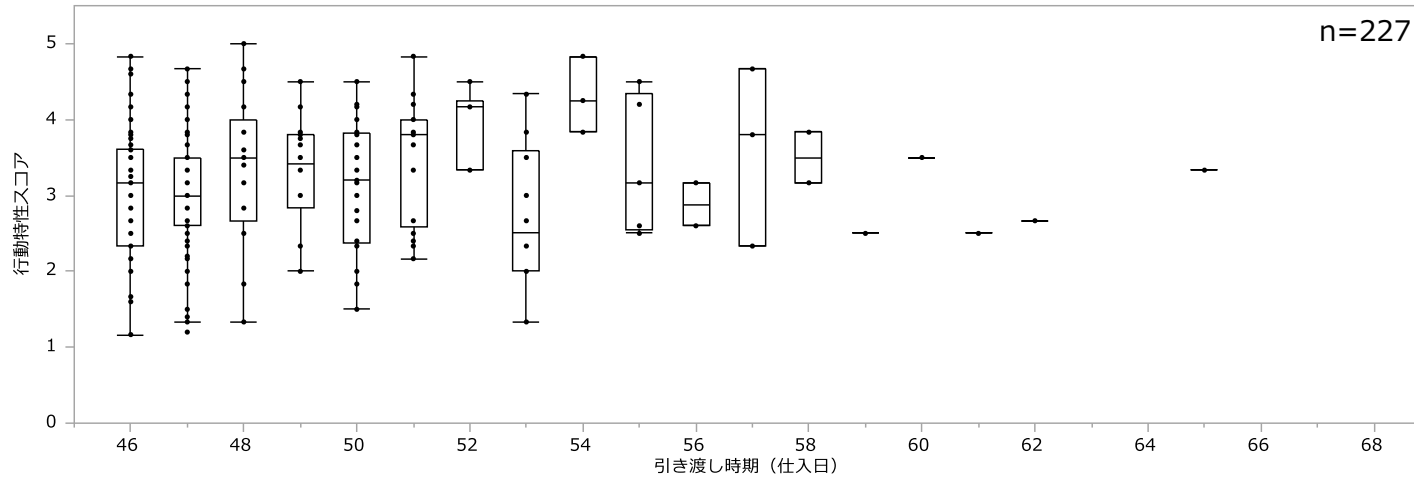
(x) 追跡能力 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標準化	0.033	-0.039	-0.027	0.113
係 数				
調整済み重決定係数	0.003			

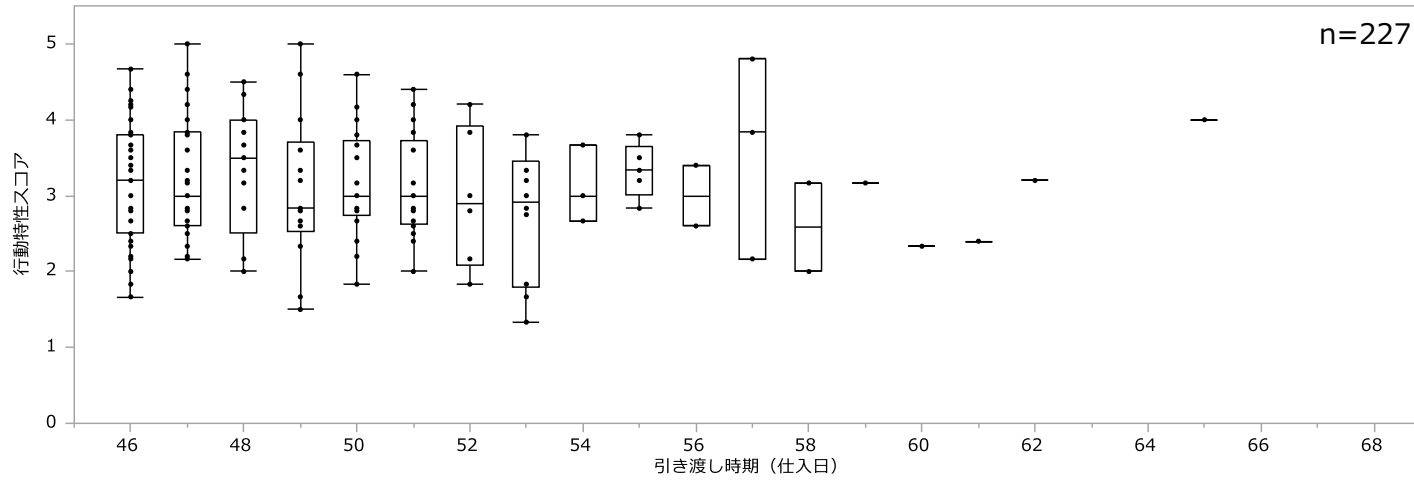
(xi) 興奮性 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化	-0.139	0.031	0.024	0.032
係数				
調整済み重決定係数	0.004			

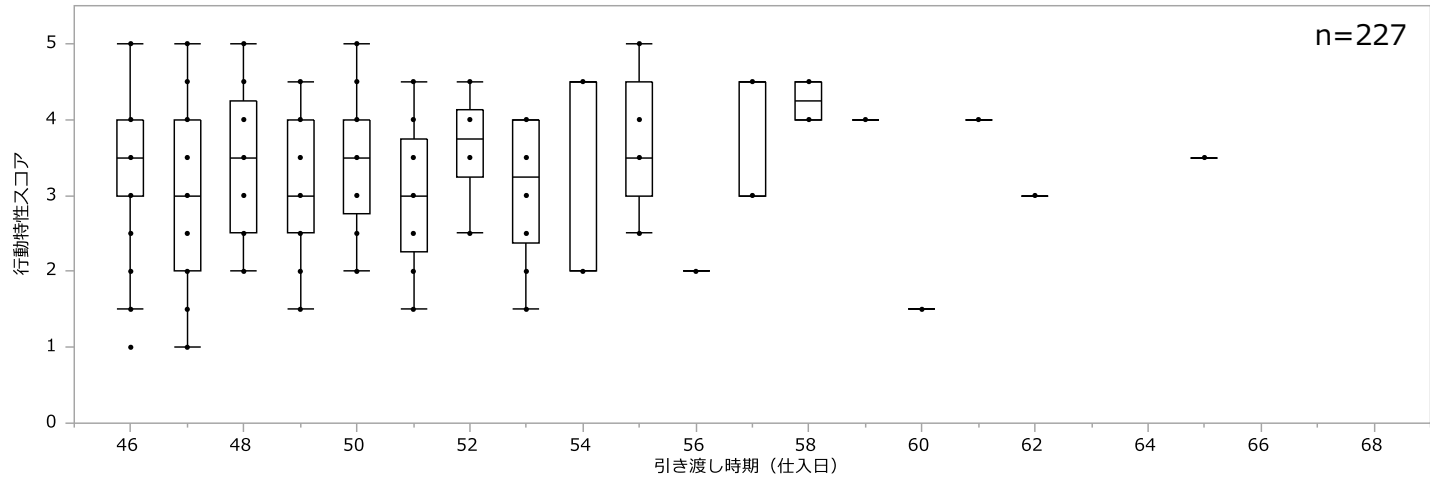
(xii) 愛着行動 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化	-0.039	-0.011	-0.055	0.058
係数				
調整済み重決定係数	0.011			

(xiv) 運動活性 (プードル [トイ])



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化				
係数	0.088	-0.088	-0.034	-0.008
調整済み重決定係数	0.003			

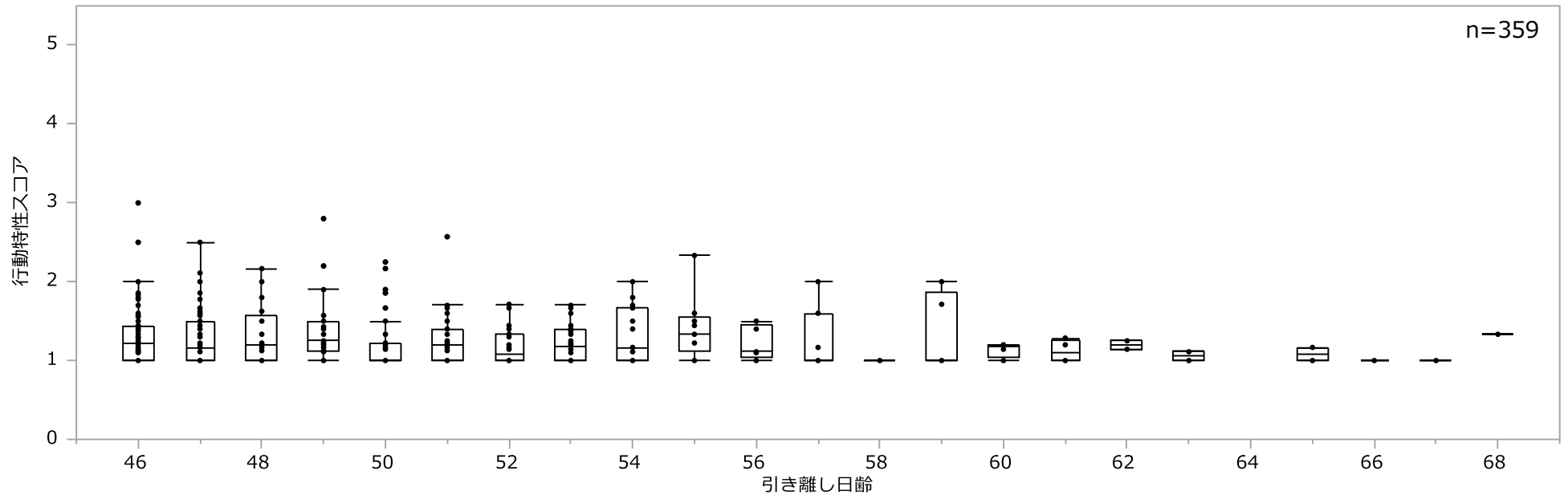
ウ) ネコ

361頭分のデータ（疾患除外）をデータ解析に供した。ただ、「この場面に出会ったことがない」という回答の場合、データとしてカウントされないため、行動特性の種類によっては、361頭分未満のデータしかないものもある。

猫の行動特性の解析ははまだ確立されたものではなく試行錯誤の段階にあるが、過年度業務で検討された方法に基づき、各行動特性ごとにスコアを算出し、それを可視化した。引き離し時期（仕入日日齢）は下記の表の通りである。

引き離し時期 (仕入日)	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69～
頭数	77	56	21	25	37	31	26	20	15	9	5	7	2	5	4	4	2	2	0	2	1	1	1	8

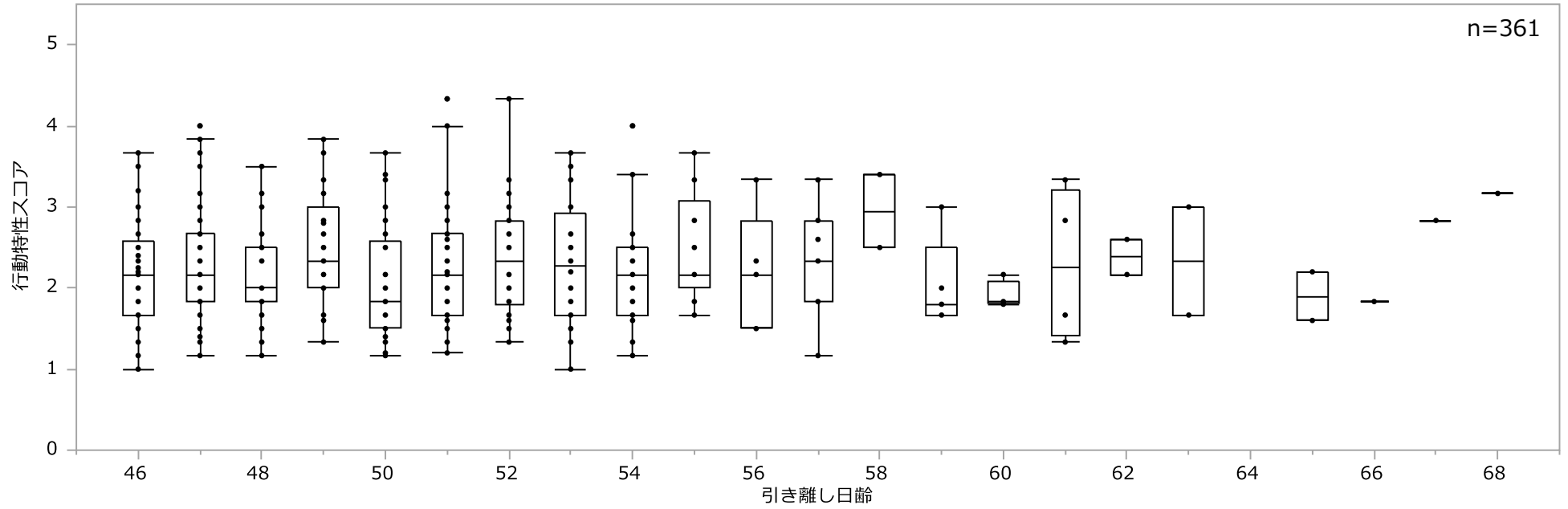
(i) 攻撃性 (ネコ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化係数	0.031	-0.065	0.112	-0.074
調整済み重決定係数	0.011			

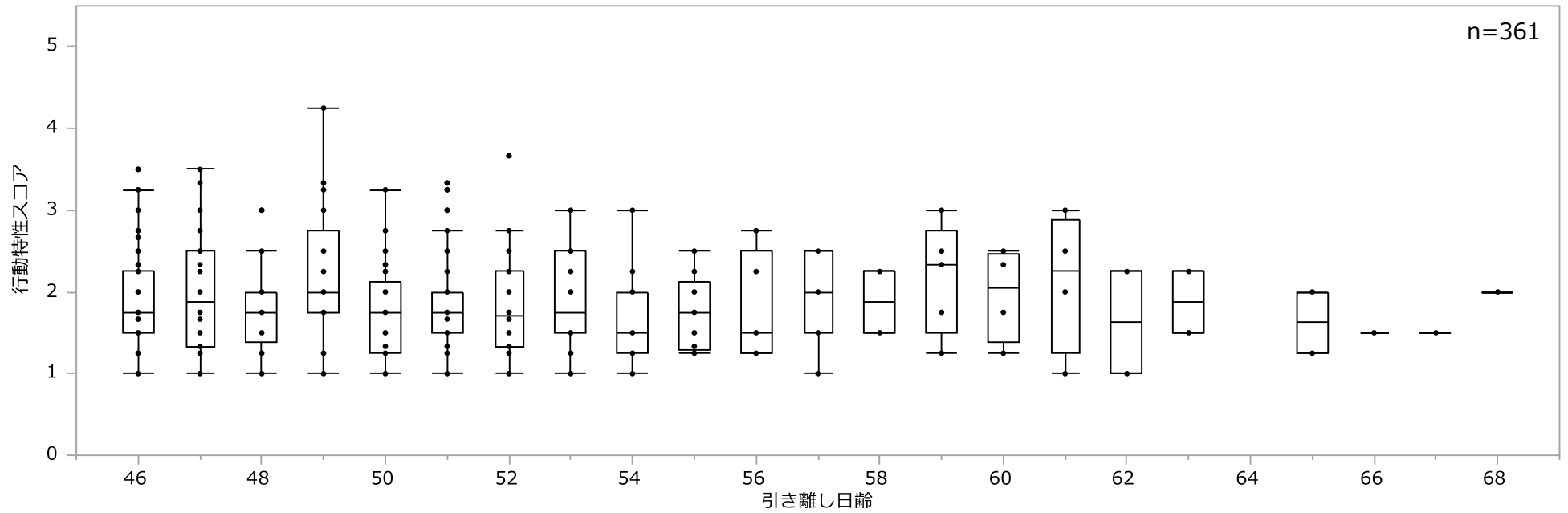
(ii) 恐怖と不安 (ネコ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日 齢	体 重
標 準 化 係 数	0.082	0.056	0.084	-0.021
調整済み重決定係数	0.004			

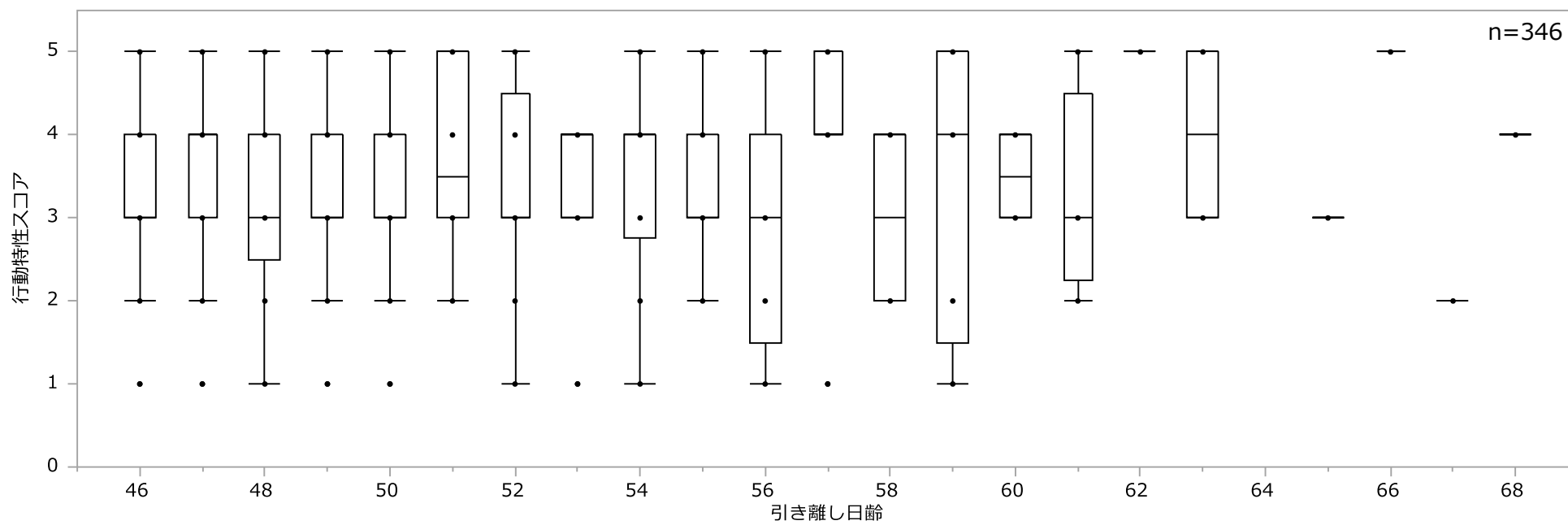
(iv) 興奮性 (ネコ全種)



重回帰解析

	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化係数	0.125	-0.049	-0.051	0.000
調整済み重決定係数	0.012			

(iv) 接触や注意を求める行動 (ネコ全種)



重回帰解析

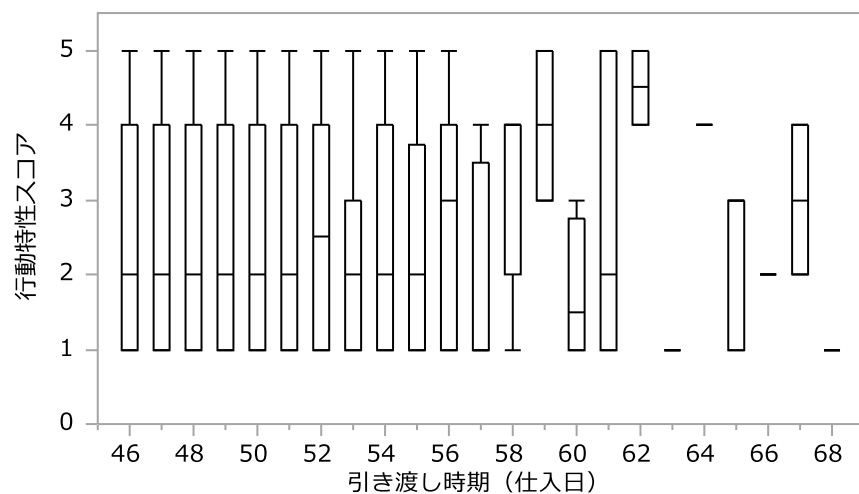
	避妊去勢	性別	日齢	体重
標準化係数	0.025	-0.073	-0.068	-0.002
調整済み重決定係数	0.001			

(3) 飼主の満足度調査

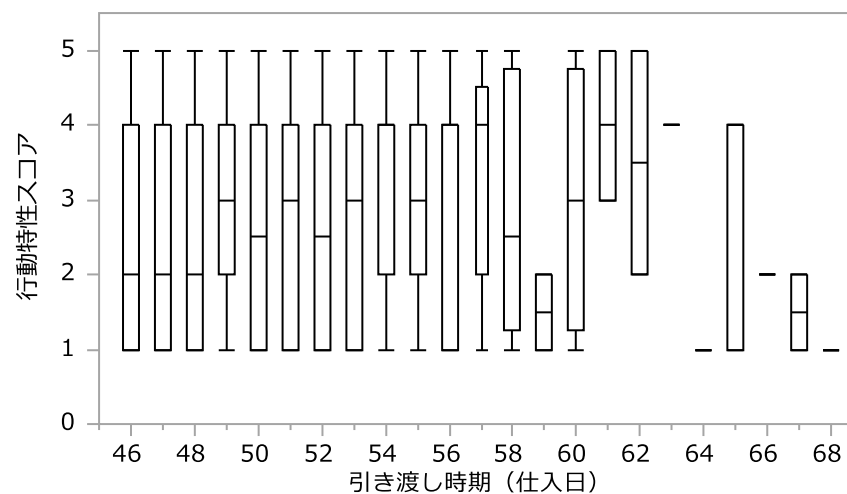
前述の行動調査に加えて、イヌとネコの両方について、ペット飼育による満足度に関するアンケートを行ったが、その結果を集計した。設問内容については、「イヌ 満足度調査設問」及び「ネコ 満足度調査設問」に記載されている。集計結果の可視化については、引き離し日齢により飼主の満足度に相違があるか否か概観しやすいように、各設問の回答（スコア）につき、日齢ごとに箱ひげ図で表示するものとした。

ア) イヌ

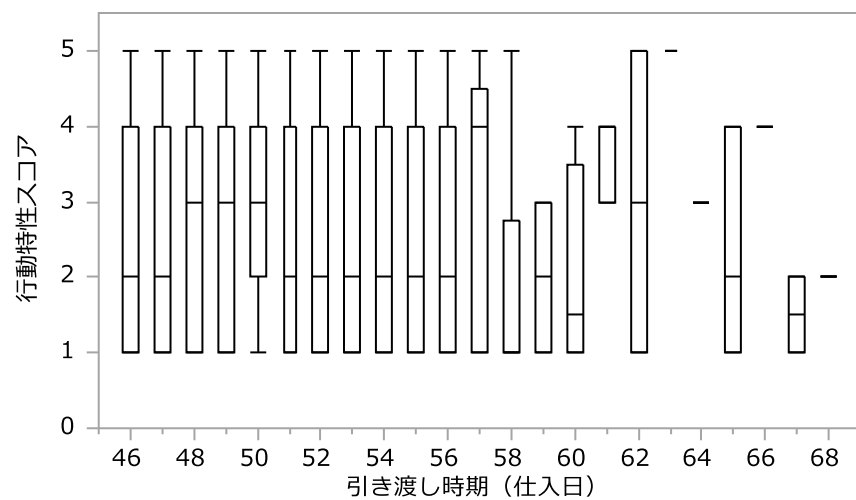
3.1-1. 食事に関して気になる（イヌ全種）



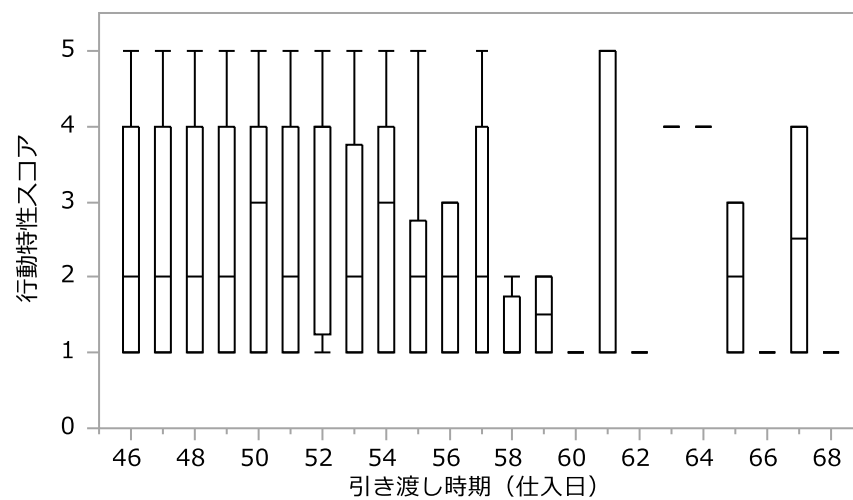
3.1-2. トイレトレーニングに関して気になる（イヌ全種）



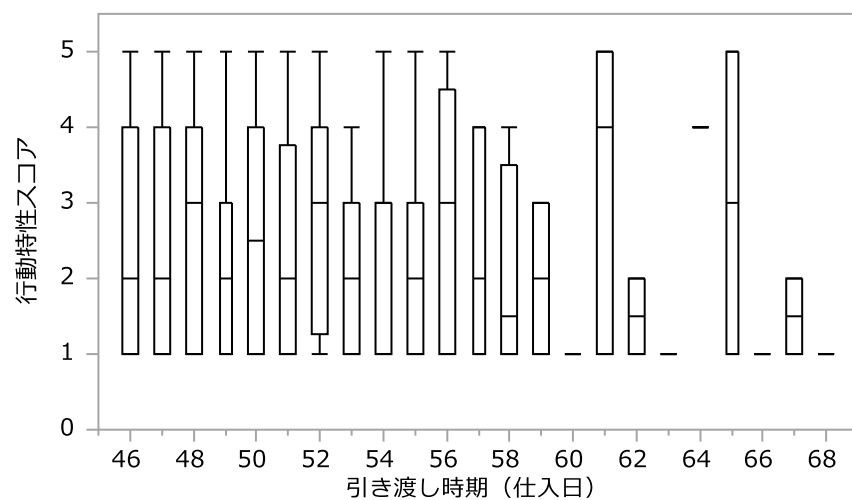
3.1-3. 無駄吠えが気になる (イヌ全種)



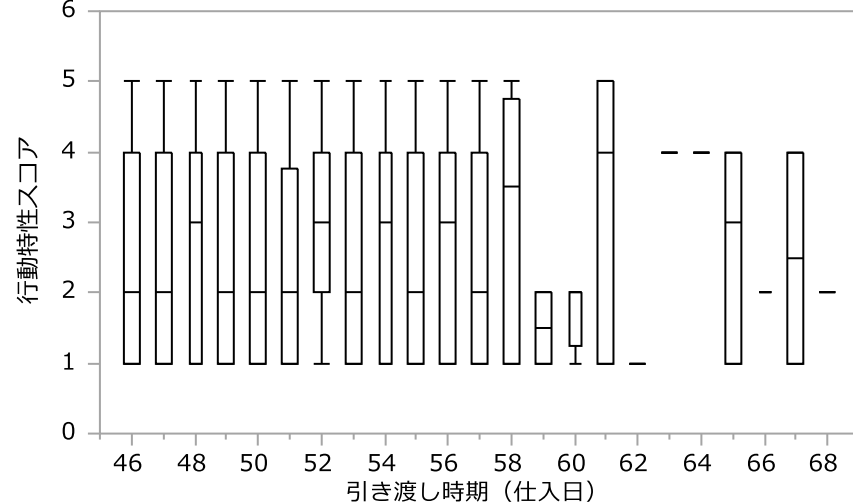
3.1-4. 甘噛みが気になる (イヌ全種)



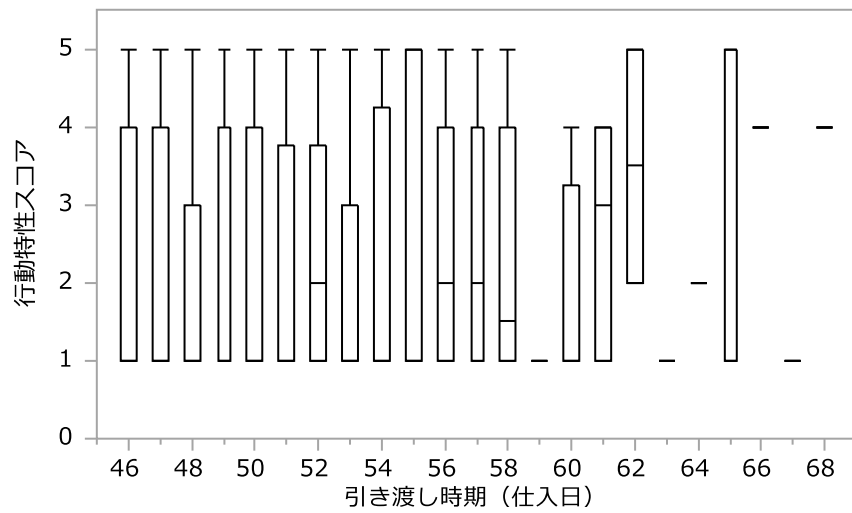
3.1-5. 引っ張りグセが気になる (イヌ全種)



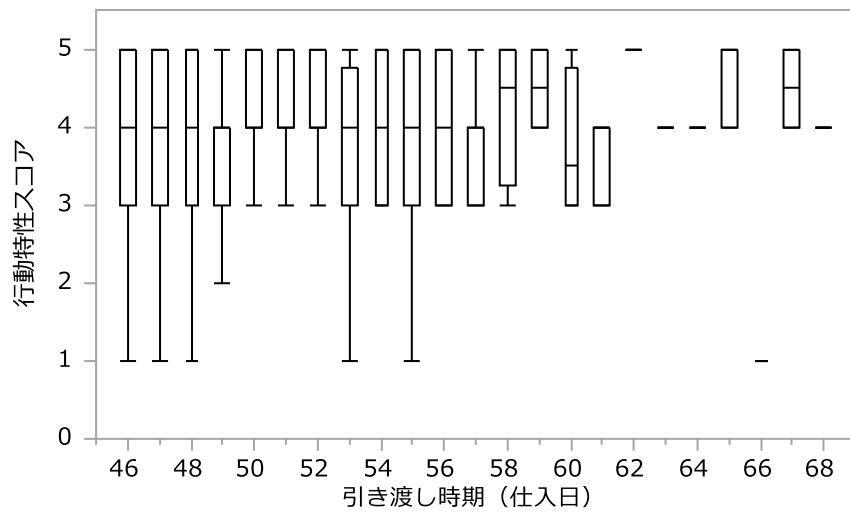
3.1-6. 飛びつきグセが気になる (イヌ全種)



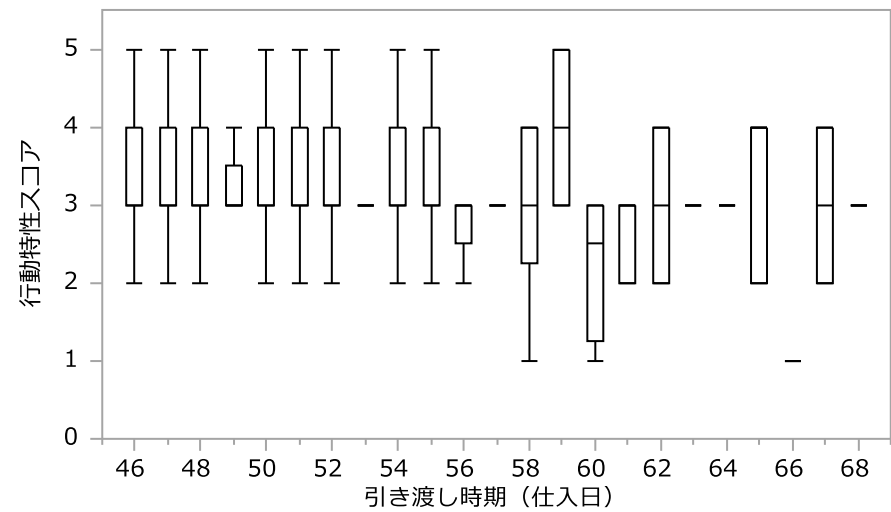
3.1-7. 食糞が気になる (イヌ全種)



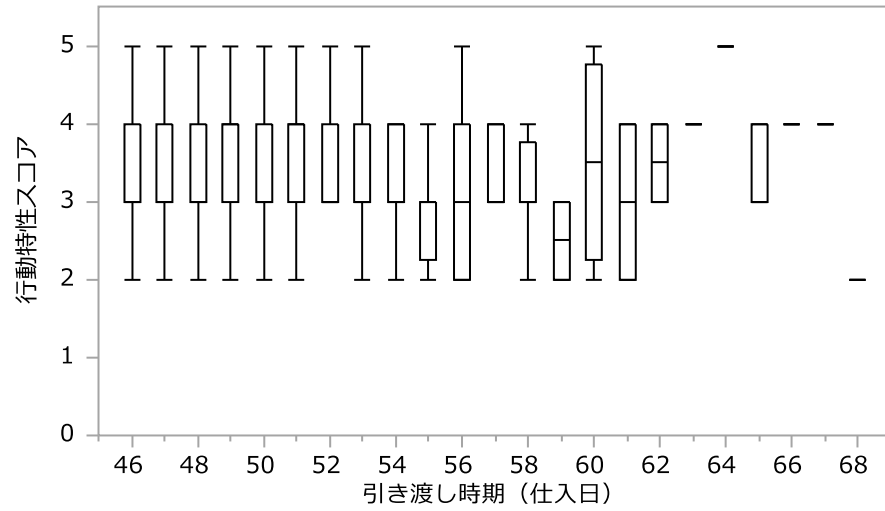
3.3-1. 愛犬と暮らすことで健康的になった (イヌ全種)



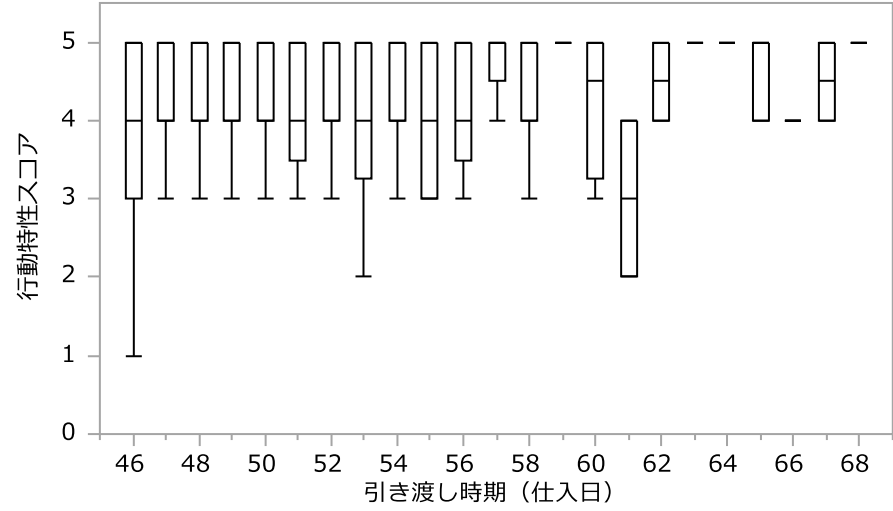
3.3-2. 愛犬と暮らすことで運動不足を感じなくなった (イヌ全種)



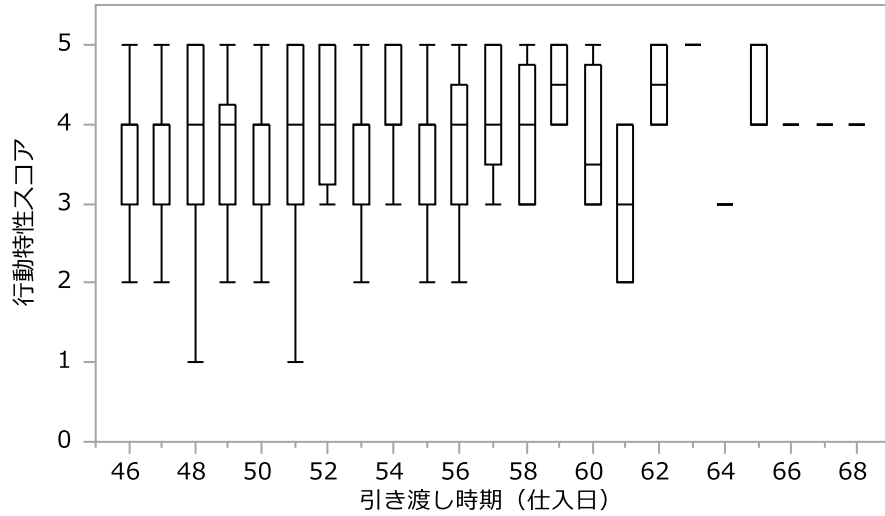
3.3-3. 愛犬と暮らすことでストレスを抱えなくなった（イヌ全種）



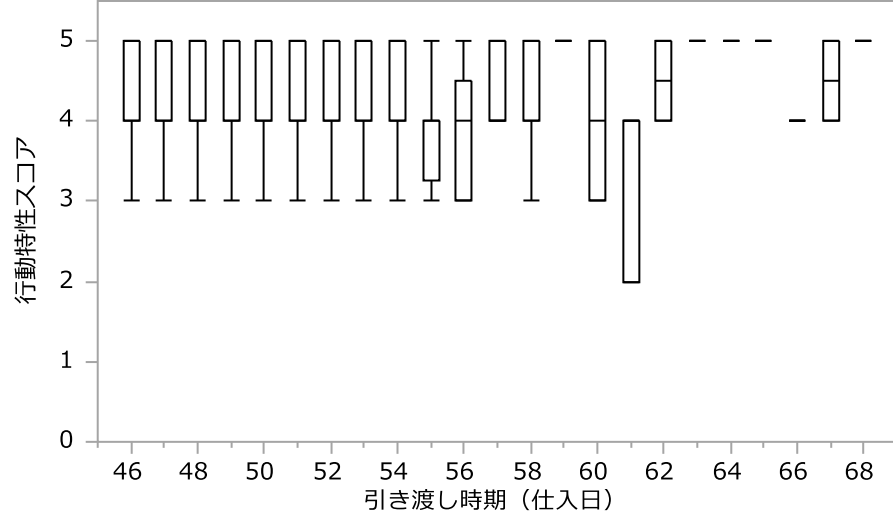
3.3-4. 愛犬と暮らすことで孤独感を感じなくなった（イヌ全種）



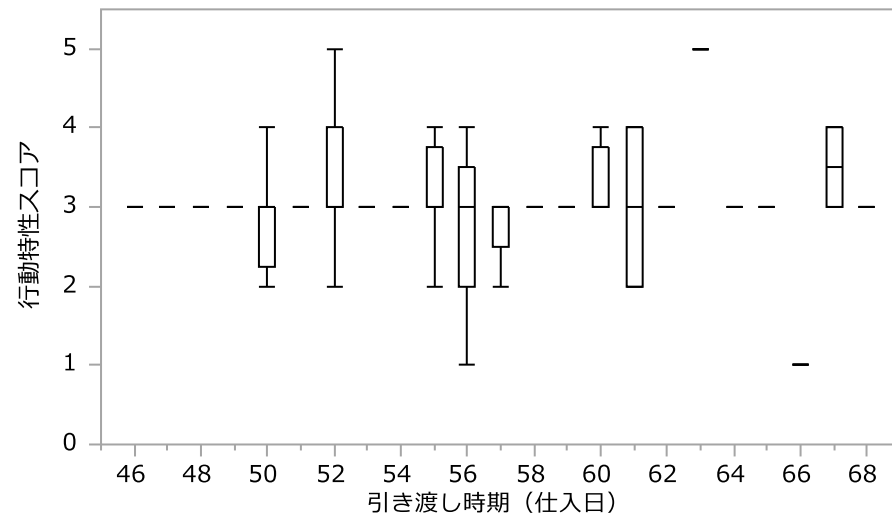
3.3-5. 愛犬と暮らすことでハリのある生活を送れるようになった（イヌ全種）



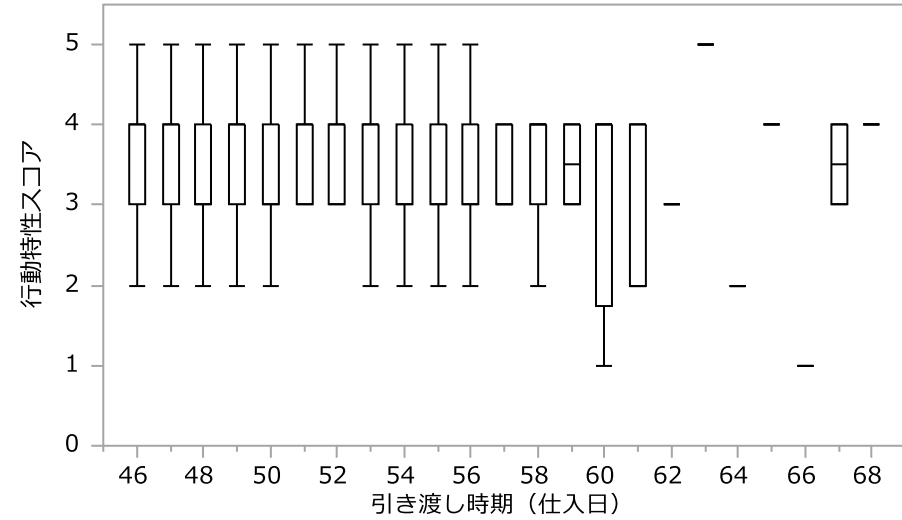
3.3-6. 愛犬と暮らすことで生活に潤いや安らぎを実感できるようになった（イヌ全種）



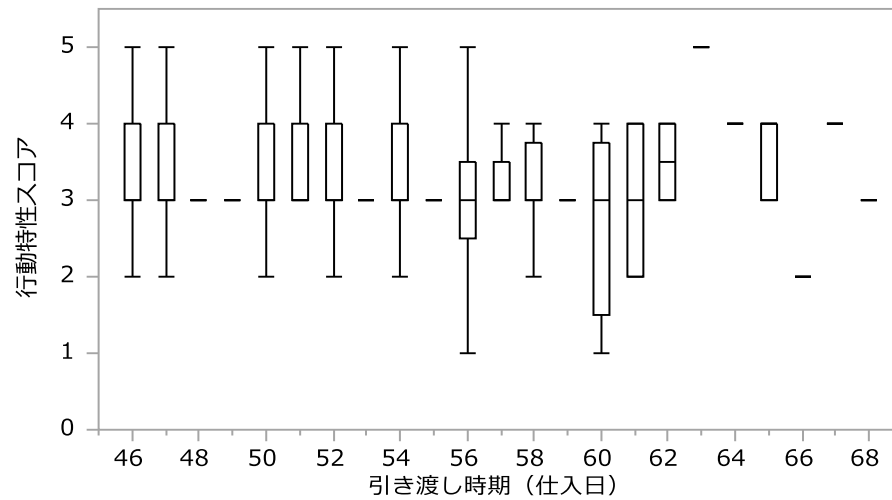
3.3-7. 愛犬と暮らすことで自分に自信が持てるようになった (イヌ全種)



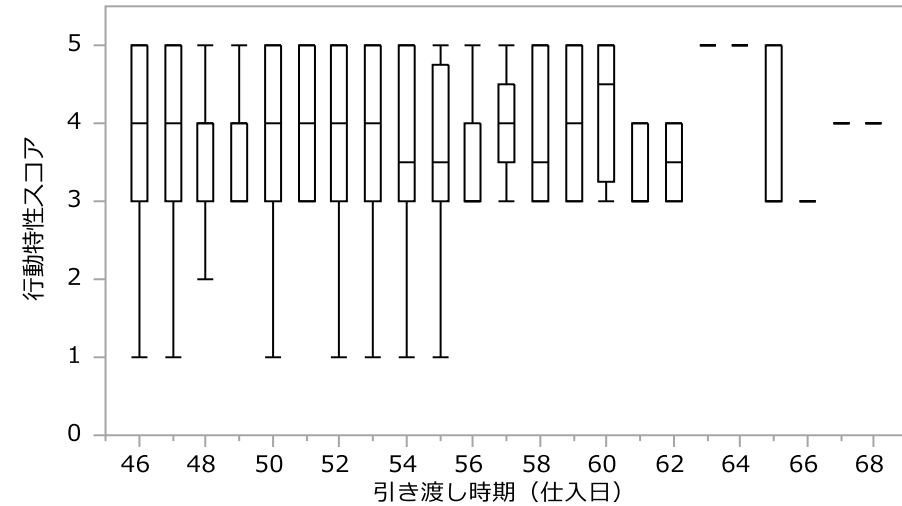
3.3-8. 愛犬と暮らすことで人とのコミュニケーションが増えた (イヌ全種)



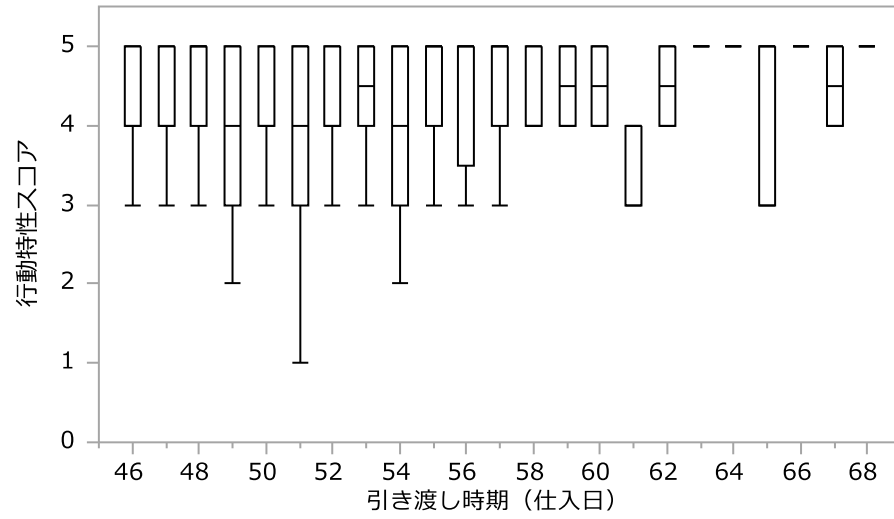
3.3-9. 愛犬と暮らすことでプラス志向になった (イヌ全種)



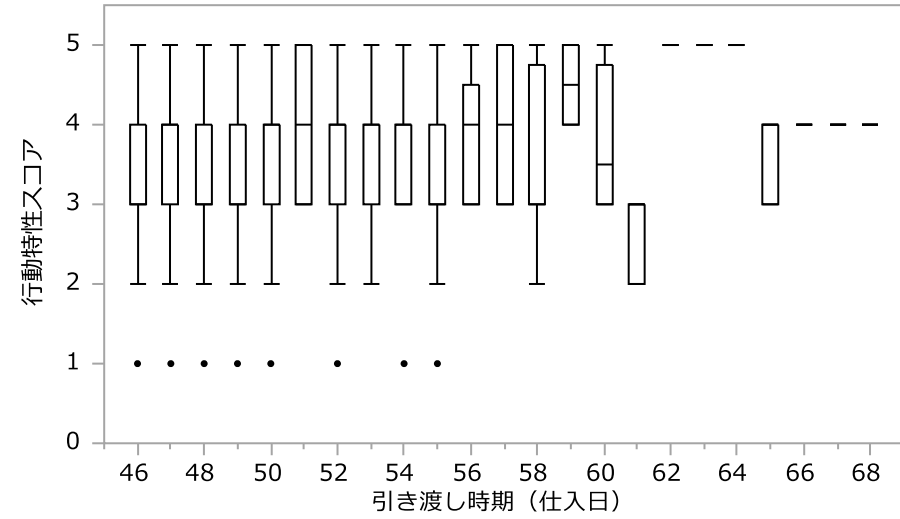
3.3-10. 愛犬と暮らすことで子ども成長に良い影響を与えた (イヌ全種)



4. また犬を飼いたいと思う（イヌ全種）

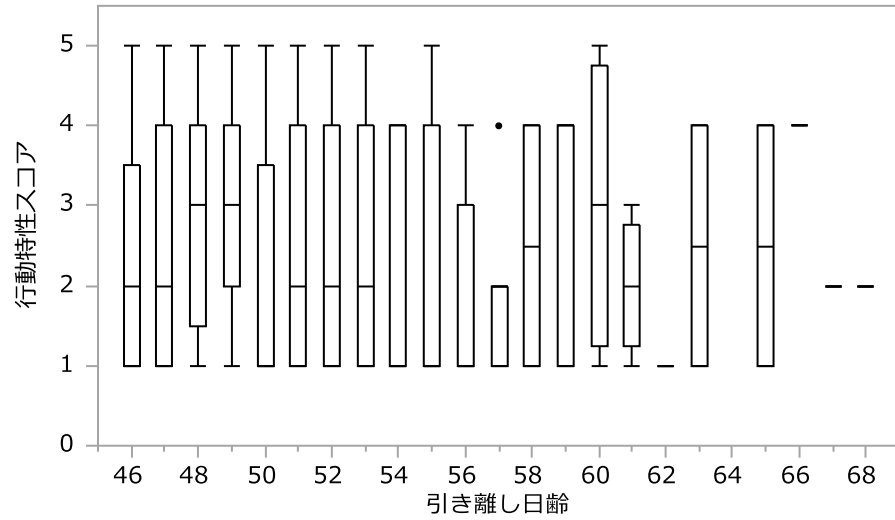


5. 友人などに犬の飼育を勧めたいと思う（イヌ全種）

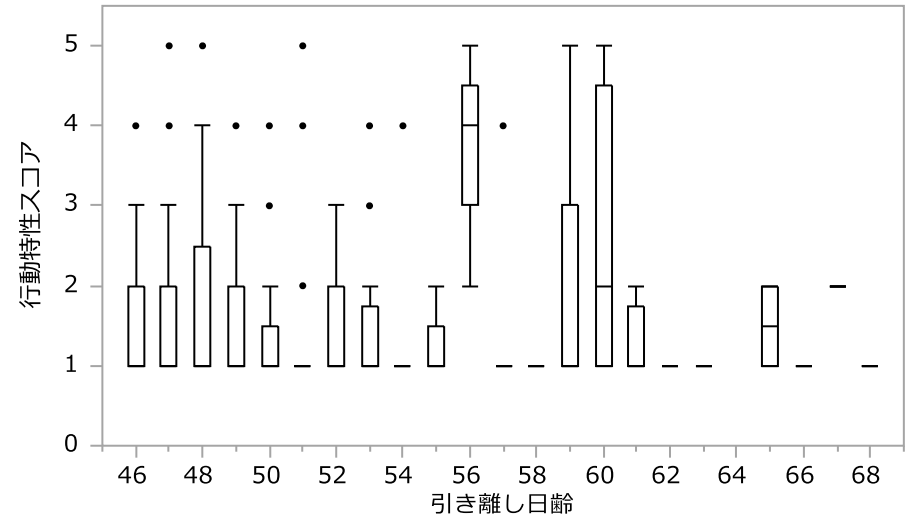


イ) ネコ

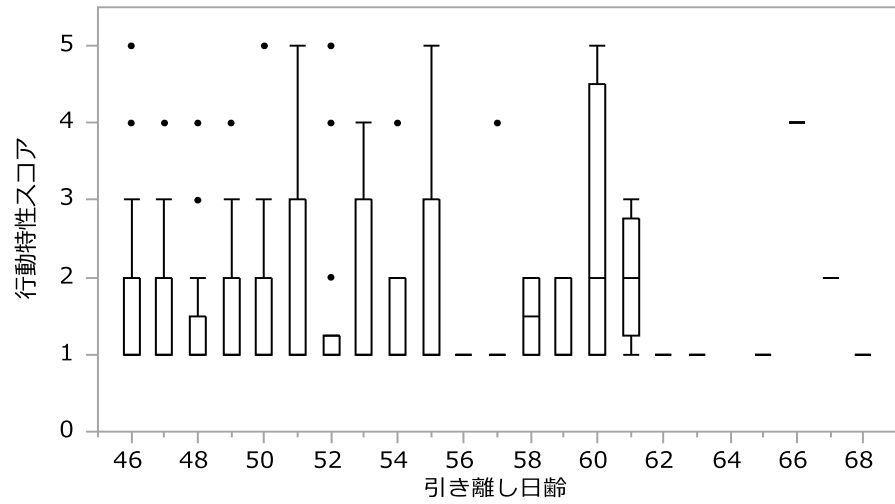
3.1-1. 食事に関して気になる (ネコ全種)



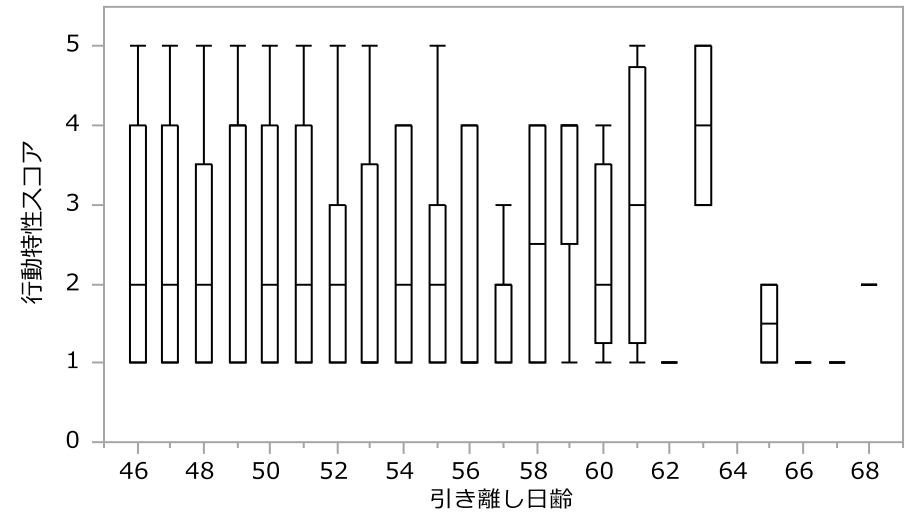
3.1-2. トイレトレーニングに関して気になる (ネコ全種)



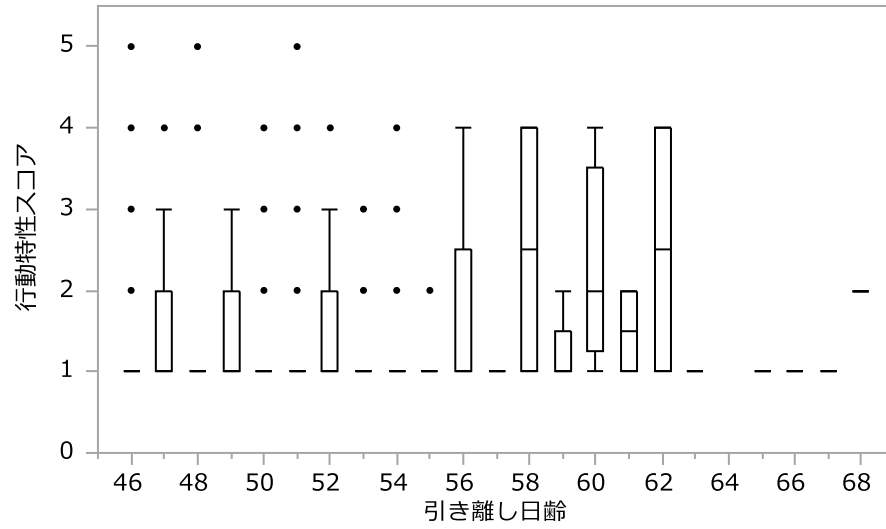
3.1-3. 無駄鳴きが気になる (ネコ全種)



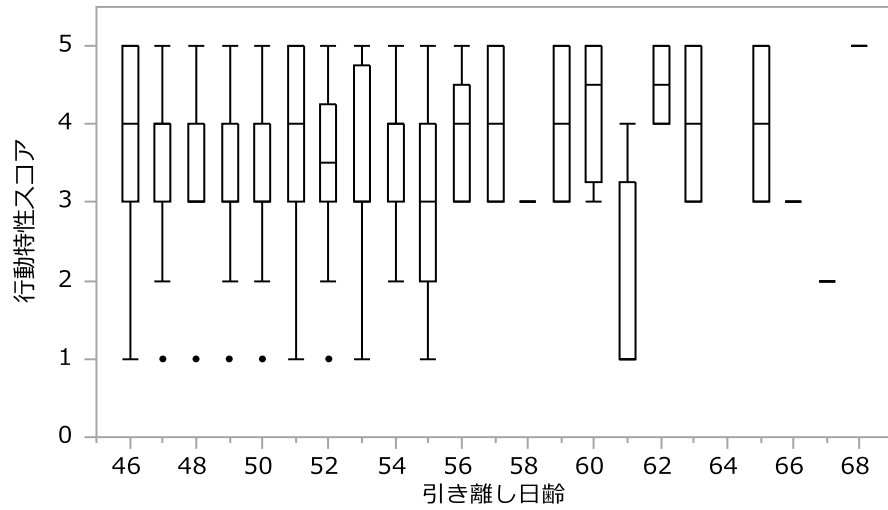
3.1-4. 甘噛みが気になる (ネコ全種)



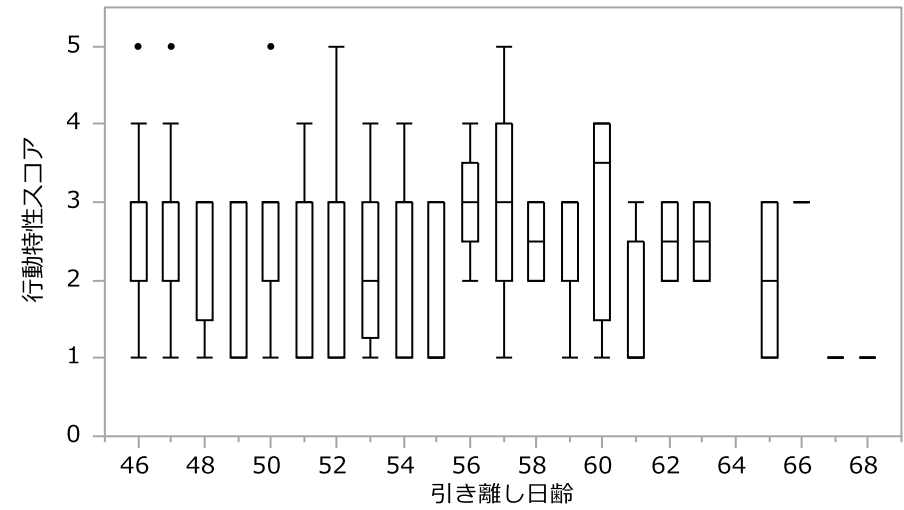
3.1-5. 食糞が気になる（ネコ全種）



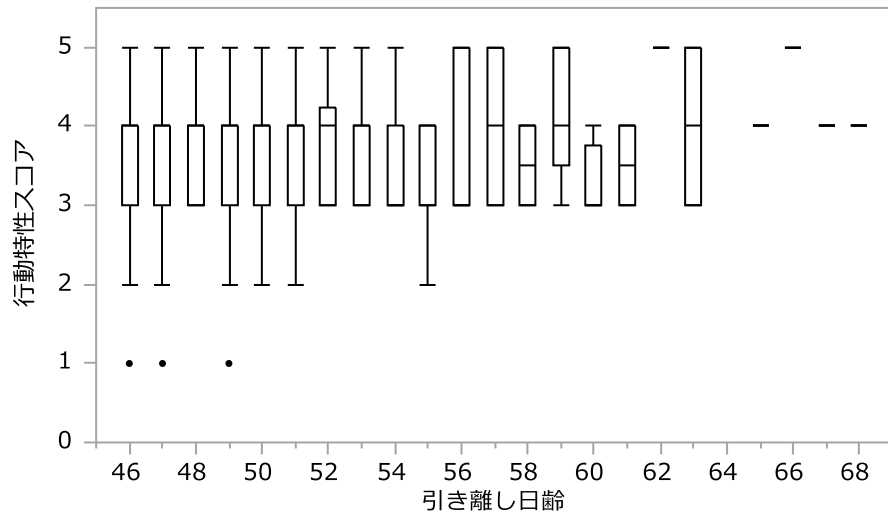
3.3-1. 愛猫と暮らすことで健康的になった（ネコ全種）



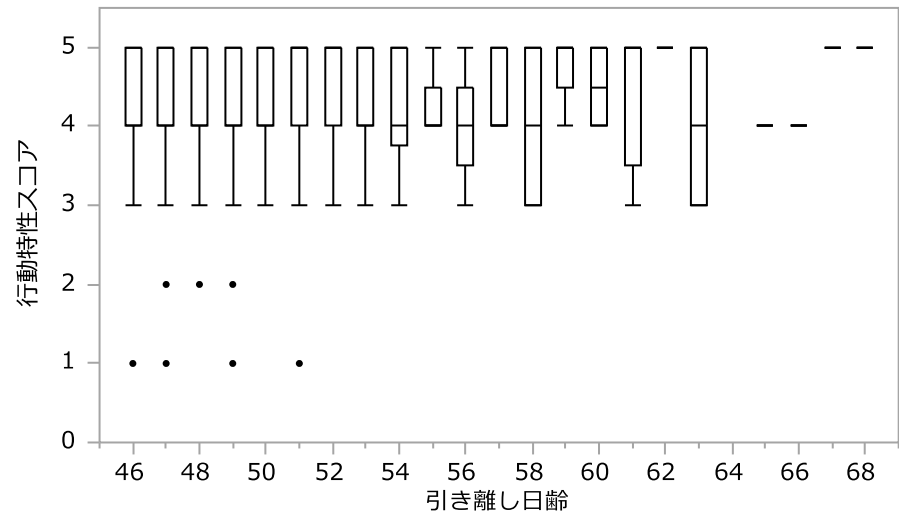
3.3-2. 愛猫と暮らすことで運動不足を感じなくなった（ネコ全種）



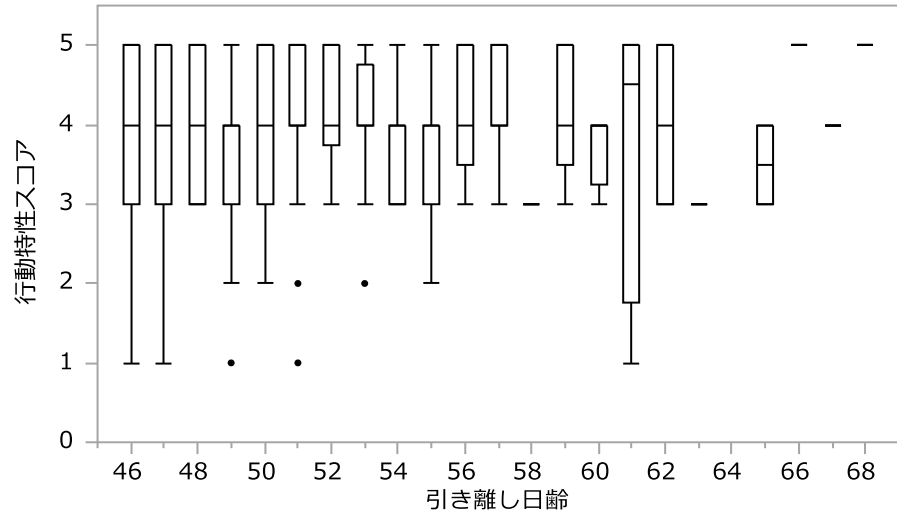
3.3-3. 愛猫と暮らすことでストレスを抱えなくなった（ネコ全種）



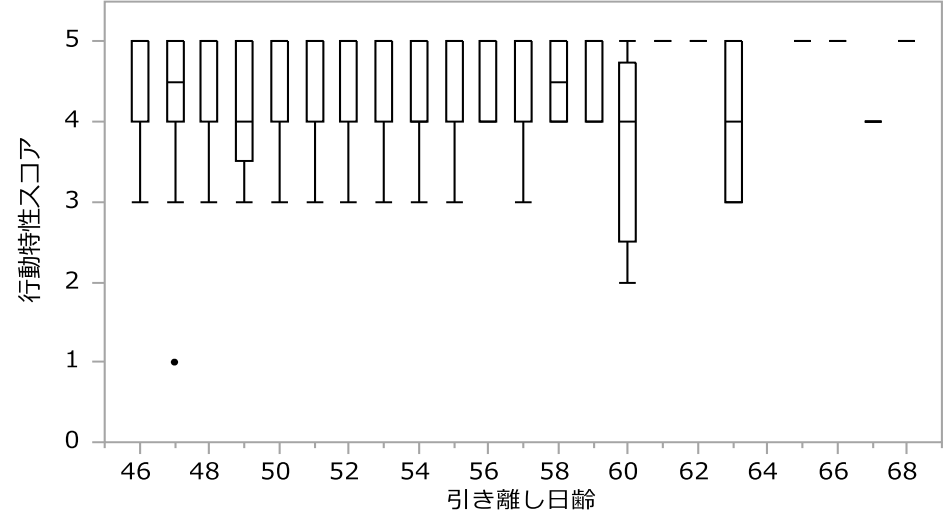
3.3-4. 愛猫と暮らすことで孤独感を感じなくなった（ネコ全種）



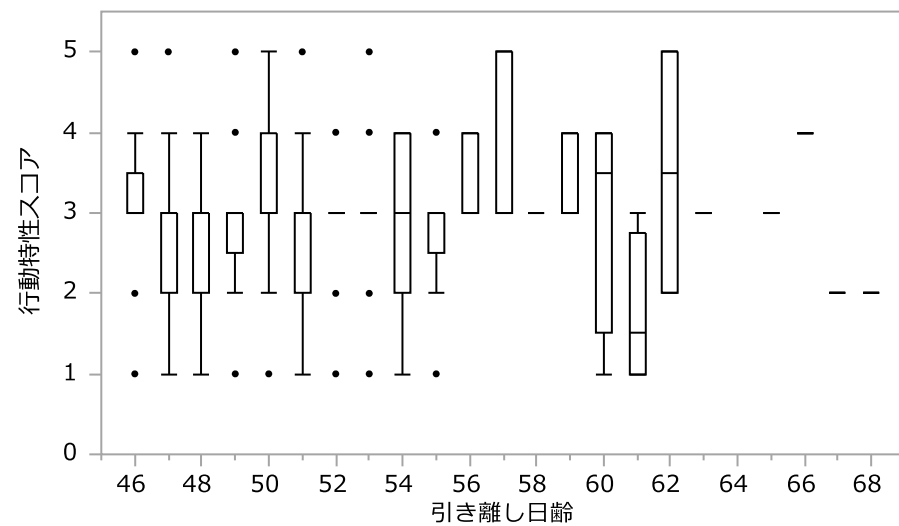
3.3-5. 愛猫と暮らすことでハリのある生活を送れるようになった（ネコ全種）



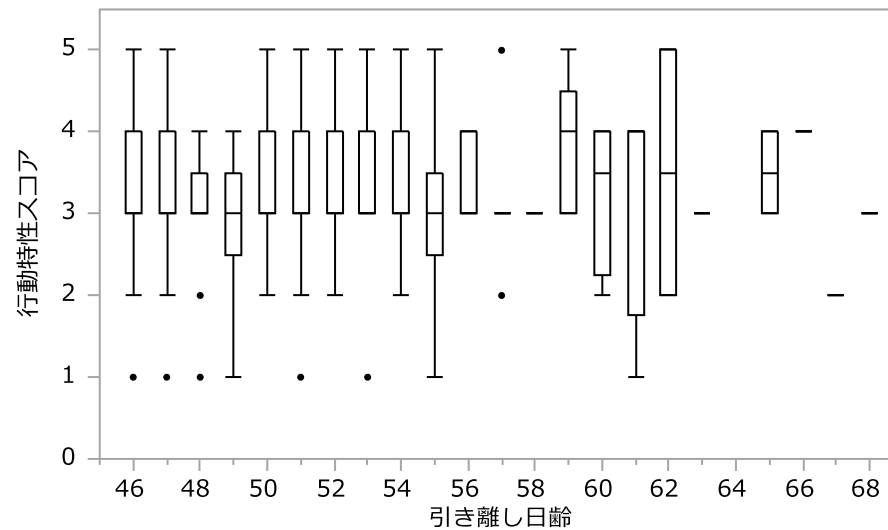
3.3-6. 愛猫と暮らすことで生活に潤いや安らぎを実感できるようになった（ネコ全種）



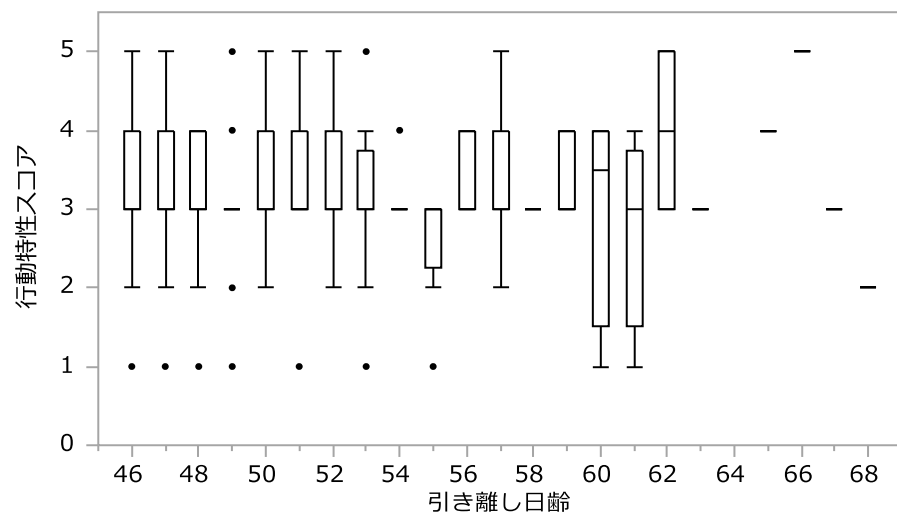
3.3-7. 愛猫と暮らすことで自分に自信が持てるようになった（ネコ全種）



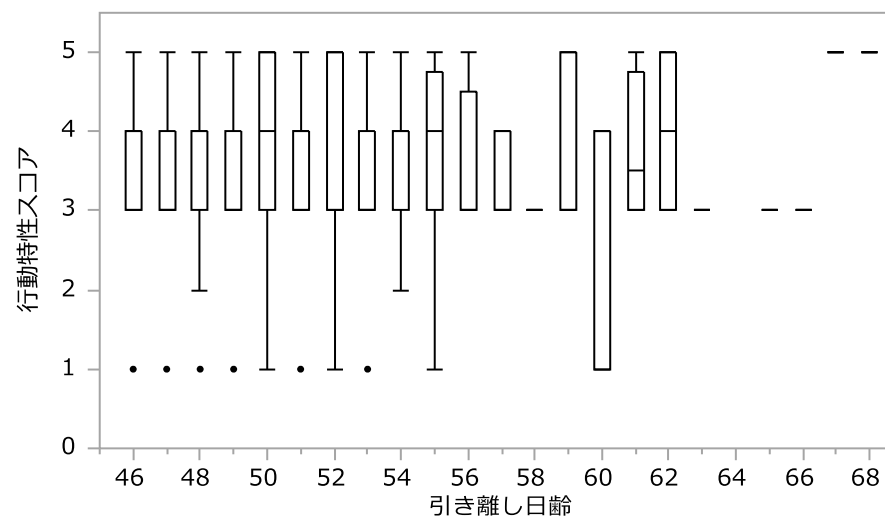
3.3-8. 愛猫と暮らすことで人とのコミュニケーションが増えた（ネコ全種）



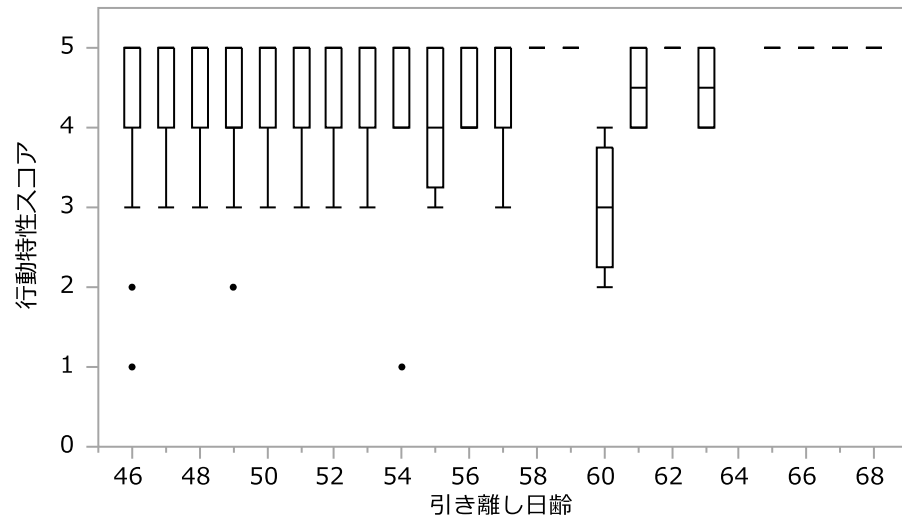
3.3-9. 愛猫と暮らすことでプラス志向になった（ネコ全種）



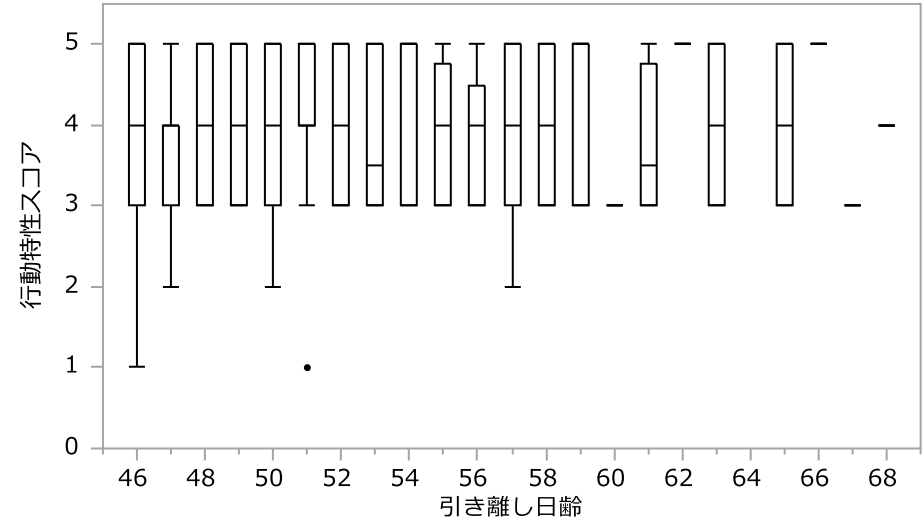
3.3-10. 愛猫と暮らすことで子ども成長に良い影響を与えた（ネコ全種）



4. また猫を飼いたいと思う (ネコ全種)



5. 友人などに猫の飼育を勧めたいと思う (ネコ全種)



(4) 調査協力者への行動特性分析結果の送付_性格タイプ(行動特性)の分析
性格診断を希望する1,083名に対して、行動特性の分析結果を送付した。

第一に、C-barqのアルゴリズムを利用してスコアを算出し、それをC-barqデータベースに蓄積された他のイヌのデータと相対評価した。

第二に、その相対評価の結果に基づいたレポート(訓練やしつけに関するアドバイス)を作成し、そのレポートを印刷した。その後封筒に封入し、宛名を作成して郵送した。

- ・ イヌ 性格診断結果資料

以上

参考資料

平成 28 年度アンケート配布資料

平成 28 年 12 月 27 日

返送期限
2017 年 2 月 19 日
(当日消印有効)

書類送付のご案内

新しく迎えられたわんちゃん、ねこちゃんとの生活はいかがでしょう。

今回、公益社団法人日本獣医師会がペットショップ様の協力を得て実施した“「環境省アンケート調査」への協力願い”に対する承諾書を頂いた方に、「平成 28 年度犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関するアンケート調査」のために必要な資料一式をお送りしています。

あなたの回答は、上記調査に活用されます。同時に、希望される方に対して、愛犬・愛猫の性格診断結果を送付させていただきます。ご協力をお願い致します。

承諾書記載の愛犬・愛猫の情報

購入店舗	
購入日	
犬種・猫種	

あなたの ID

※回答用紙に“あなたの ID”を記入する欄があります。そこに必ず 4 ケタで記入してください。



■解析実施・アンケートの問い合わせ先
麻布大学獣医学部伴侶動物学研究室
(担当) 菊水、永澤、立石
TEL 042-754-7111 (代表)
電子メール: info@carazabu.com

■業務発注者
環境省自然環境局総務課動物愛護管理室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2
中央合同庁舎 5 号館
TEL 03-3581-3351 (代表)

送付物・返送物リスト

今回お送りした資料は以下の通りです。ご確認ください。

- 送付物・返送物リスト（当資料）
- 書類送付のご案内
- ご協力をお願い
- 愛犬の行動観察と満足度調査 設問集
- 犬種、猫種一覧表
- マークシート回答用紙
- 自由記述回答用紙 愛犬用
- 返送用封筒
- 愛犬性格診断のサンプル
- 現在愛犬を飼育していない方の返送用はがき

お送りした資料のうち、

- 書類送付のご案内（あなたのIDが掲載されている用紙）
- 愛犬の行動観察と満足度調査 設問集
- マークシート回答用紙
- 自由記述回答用紙 愛犬用

を返送用封筒に入れ、ポストに投函してください。

■解析実施・アンケートの問い合わせ先

麻布大学獣医学部伴侶動物学研究室

（担当）菊水、永澤、立石

TEL 042-754-7111（代表）

電子メール：info@carazabu.com

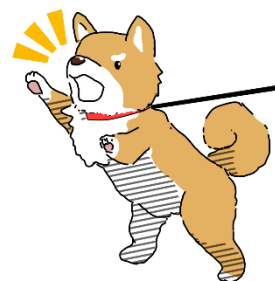
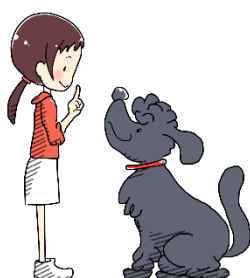
ご協力のお願い

平成28年度

犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する アンケート調査

1. 愛犬の行動を教えてください！

愛犬と生活を共にしていると、さまざまな行動をみかけると
思います。愛情や愛着を示すのかな？という行動もあれば、こわが
っているのかな？というような行動、少し興奮したり、逆にすこ
くおとなしかったり、突然小さな動物を追いかけたり、時には何
を意味しているのかよくわからないものまで、
実に様々な行動をみかけると思います。



是非、あなたが観察した愛犬の行動とライフスタイルを、同封
されているアンケートの設問に沿って回答し、教えてください。
お聞きする内容は、あなたと愛犬が日々一緒に暮らす中で観察
できるものばかりです。

2. 環境省における調査への活用について

返送して頂いたアンケートの回答は、環境省において実施する『犬猫幼齢個体を親兄
弟から引き離す理想的な時期に関する調査』に活用させていただきます。動物福祉の観点か
らなされる調査であり、皆様から送って頂いたデータが、動物愛護管理法のより一層の
充実に活用される予定です。



3. “愛犬の性格診断” について

さらに、希望される方に対して、アンケートの回答をもとにした愛犬の性格診断を行
うことができます。この性格診断には、C-BARQ という解析システムを用います。

C-BARQ は統計手法を用いて、性格を数値化することができます。その数値(スコア)を他のイヌと比較することで(相対評価)、愛犬の性格をより適切に知ることができます。すでに C-BARQ に登録されているイヌの頭数は、日本と米国を合わせると20,000 頭以上にのぼり、イヌの行動データベースとしては世界最大のものです。

お伝えする性格診断(行動特性の測定評価)は、つぎの表にあるとおりです。診断に加えて、動物行動学的なアドバイスもお送りします。しつけやトレーニングに役立てることができると思います。

是非、あなたの回答を送ってください!

やんちゃ度

うなる、ほえる等のやんちゃな行動は、愛犬にとって正常な行動です。ただ、他のワンちゃんと比較して、これが強く現れたり、頻繁に現れたりする子がいます。やんちゃな行動を示す相手を、見知らぬ人、見知らぬ犬、飼い主、同居犬に分けて判定します。

トレーニング向き度

しつけやトレーニングに向いている子がいます。他のワンちゃんに比べて、命令に対して反応が良い場合などです。

ハンター度

イヌはもともと狩りをする動物です。小動物を追跡する行動がよく見られる子がいます。

慎重度

慎重に振る舞うことは、動物にとって大切な行動です。何に対して慎重になるかによって、見知らぬ人、物音や影などに分けられます。

はしゃぎ度

何らかの刺激に対して、とても興奮してしまう子がいます。すばやい動き、めずらしいものへすばやく近づく、短くほえる、落ち着くのにかかる、という性格です。

飼い主と一緒にいたい度

飼い主と一緒にいたいという行動は、特に愛犬が「いやだなあ」と感じるような場面でみられます。後ろからついて歩くなどもこれにあたります。

あまえんぼう度

飼い主に対して愛着を示す、飼い主に見てほしい、かまってほしい、などの要求が多いタイプです。

触られるのが苦手度

人に触られることがあまり好きでなく、どちらかというとうっとうおいてほしい、という子がいます。

スポーティー度

運動への欲求の強弱です。これが強い子は運動が得意と言えるでしょう。長時間の散歩やアジリティなどに向いています。

4. 設問回答の手順

[1] “ご協力をお願い [本資料]” を読む

本資料に、アンケート調査の目的や手順が記されています。最初にお読みください。

[2] “愛犬の行動観察と満足度調査 設問集” を読み、回答を選ぶ

ひとつずつお読みいただき、あてはまる回答に、鉛筆又はシャープペンシル（HB又はB）で丸を付けてください。自由記述については、直接“自由記述回答用紙 愛犬用”に記入してください。

[3] マークシート回答用紙に記入

選んだ回答を、“マークシート回答用紙”に記入してください。

[4] 回答用紙を返送する

お送りした資料のうち、

① 書類送付のご案内 [あなたのIDが掲載されている用紙]

② 愛犬の行動観察と満足度調査 設問集

③ マークシート回答用紙

④ 自由記述回答用紙 愛犬用

を、返送用封筒に入れ、ポストに投函してください。

■ 解析実施・アンケートの問い合わせ先

麻布大学獣医学部伴侶動物学研究室

（担当）菊水、永澤、立石

TEL 042-754-7111（代表）

電子メール：info@carazabu.com

犬種・猫種一覧表

犬種		猫種			
001	アイリッシュ・ウルフハウンド	055	土佐犬	001	アビシニアン
002	アイリッシュ・セッター	056	日本テリア	002	アメリカンカール
003	秋田犬	057	ニューファンドランド	003	アメリカンショートヘアー
004	アフガン・ハウンド	058	ノルウェジャン・エルクハウンド	004	アメリカンワイヤーヘアー
005	アメリカン・コッカー・スパニエル	059	バーニーズ・マウンテン・ドッグ	005	エキゾチック
006	アラスカン・マラミュート	060	パグ	006	エジプシャンマウ
007	イタリアン・グレーハウンド	061	バセット・ハウンド	007	オシキャット
008	イングリッシュ・コッカー・スパニエル	062	バセンジー	008	オリエンタル
009	イングリッシュ・スプリングー・スパニエル	063	パピヨン	009	カラーポイントショートヘアー
010	ウィペット(ホイペット)	064	ビーグル	010	コーニッシュレックス
011	ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリア	065	ビアデッド・コリー	011	コラット
012	ウェルシュ・コーギー	066	ビション・フリーゼ	012	サイアミーズ
013	ウェルシュ・テリア	067	プードル(スタンダード)	013	サイベリアン
014	エアデール・テリア	068	ブービエ・デ・フランダース	014	ジャパニーズ
015	エスキモー犬	069	フォックス・テリア	015	ジャパニーズボブテール
016	オーストラリアン・キャトル・ドッグ	070	フラットコーテッド・レトリバー	016	シャム
017	オールド・イングリッシュ・シープドッグ	071	ブリュッセル・グリフォン	017	シャルトリュー
018	甲斐犬	072	ブリタニー・スパニエル	018	シンバプーラ
019	キースホンド	073	ブル・テリア	019	スキフトーイボブテール
020	紀州犬	074	ブルドッグ	020	スコティッシュフォールド
021	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	075	ブル・マスティフ	021	スフィンクス
022	グレート・デン	076	フレンチ・ブルドッグ	022	セルカークレックス
023	グレート・ピレニーズ	077	プロット・ハウンド	023	ソマリ
024	ケアン・テリア	078	ペキニーズ	024	ターキッシュ・アンゴラ(トルコアンゴラ)
025	ケリーブルー・テリア	079	ベドリントン・テリア	025	ターキッシュ・ヴァン(トルコネコ)
026	ゴールデン・レトリバー	080	ベルジアン・タービュレン	026	デボンレックス
027	コリー	081	ボーダー・コリー	027	トンキニーズ
028	サモエド	082	ホイペット(ウィペット)	028	日本猫
029	サルキー	083	ポインター	029	ノルウェー・ジャンフォレストキャット
030	シー・ズー	084	ボクサー	030	バーマン
031	シェットランド・シープドッグ	085	ボストン・テリア	031	バーミーズ
032	シェパード	086	北海道犬	032	ハバナブラウン
033	四国犬	087	ポメラニアン	033	バリニーズ
034	柴犬	088	ボルゾイ	034	ヒマラヤン
035	シベリアン・ハスキー	089	マスティフ	035	ブリティッシュショートヘアー
036	シャー・ペイ	090	マルチーズ	036	ペルシャ
037	ジャーマン・シェパード・ドッグ	091	マレンマ(マレンマシープドッグ)	037	ベンガル
038	ジャック・ラッセル・テリア	092	マンチェスター・テリア	038	ボンベイ
039	シュナウザー(ジャイアント)	093	三河犬	039	マンクス
040	シルキー・テリア	094	ミニチュア・シュナウザー	040	マンチカン
041	スコティッシュ・テリア	095	ミニチュア・ダックスフンド	041	メインクーン
042	スピッツ	096	ミニチュア・ピンシャー	042	ヨーロピアンバーミーズ
043	スプリングー・スパニエル	097	ミニチュア・プードル	043	ラグドール
044	セッター	098	ミニチュア・ブル・テリア	044	ロシアンブルー
045	セント・バーナード	099	ヨークシャー・テリア		
046	ダックスフンド(スタンダード)	100	ラサ・アプソ	100	雑種
047	ダルメシアン	101	ラブラドル・レトリバー		
048	チベタン・テリア	102	レークランド・テリア	999	その他
049	チャウ・チャウ	103	ロットワイラー		
050	チワワ	104	ワイマラナー		
051	狎(チン)				
052	テリア	300	雑種		
053	ドーベルマン				
054	トイ・プードル	999	その他		

愛犬の行動観察と満足度調査

設問集



愛犬の行動と満足度に関する設問及び回答選択肢が記載されています。
ひとつずつお読みいただき、それへの回答を選んでください。

まずは設問集の選択肢にチェックを付け、その後マークシートを塗りつぶしてください。
設問集も回収となります。



回答する際の注意事項

1. あなたが選択した情報を基礎にした評価です。
このアンケート調査では、飼い主様にお答えいただいた情報を基礎にしてすべての判断を行います。それゆえ、設問で問われた行動の有無及び頻度について、可能な限り正確にお答えください。ご協力をお願いいたします。
2. いつの時点の行動を問うているか？
6 か月齢を過ぎたあとの行動について、直近の 1~2 か月を振り返って回答してください。
3. 設問の表現について
 - ① 列挙された複数の行動のうちの1つが認められれば、その行動があるものとして回答してください。「まれに」「時々」「たいてい」「常に」は、その行動がある場合に、その頻度を回答するための選択肢です。観察された行動の頻度に応じて、いずれかを選択してください。
 - ② 「同居家族が複数いる場合」とは、あなた以外の同居人が最低1人はいる場合を言います。同居人がいない場合は、「この場面に出会ったことがない」を選択してください。
4. 回答選択肢の表現について
選択肢には数種類の表現が出てきますが、それぞれ次のような意味で使われています。厳密な頻度ではなく、おおよその頻度をお聞きしています。

1. まったくそうでない	ほぼ0%の頻度
2. まれにそう	10~30%程度の頻度
3. 時々そう	40~60%程度の頻度
4. たいていそう	70~90%程度の頻度
5. 常にそう	ほぼ100%の頻度
6. この場面に出会ったことがない	この場面にそもそも出会ったことがない場合、頻度を判断できるだけの回数に出たことがない場合に選択してください。



Section.1 犬の基本情報

Q1. 愛犬の体重をキログラムで回答欄に記入してください（例 7.0 キロ）

_____ キロ

Q2. 避妊・去勢はしていますか？

1. はい 2. いいえ

Q3. 愛犬に疾患はありますか？

1. ある 2. ない

→「1. ある」と答えた方は、その内容を自由記述回答用紙に記入してください。

Q4. 愛犬の性格診断を希望されますか？

1. はい 2. いいえ

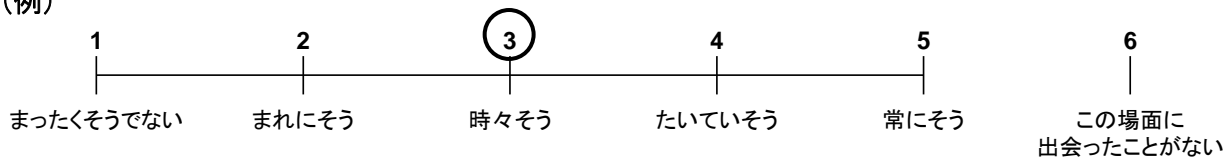
Section.2 犬の行動に関する質問

トレーニングと従順さ

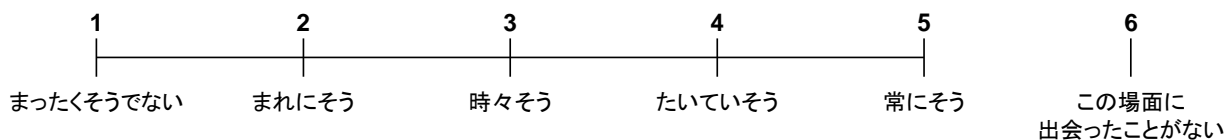
犬はその個性によって、服従性が高くトレーニングしやすい犬と、あまりそうでない犬がいます。以下の項目について、あなたの犬がどれだけトレーニングしやすいか、最も該当すると思う数字に○をしてください。



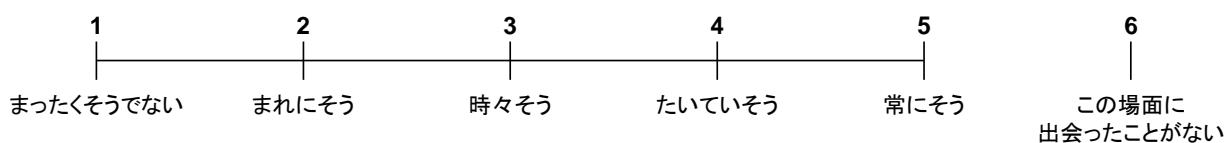
(例)



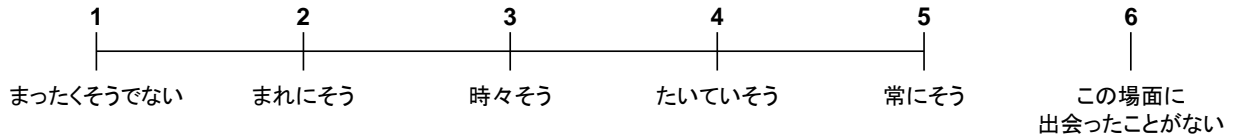
Q5. リードを外した状態でも呼べばすぐに戻ってくる



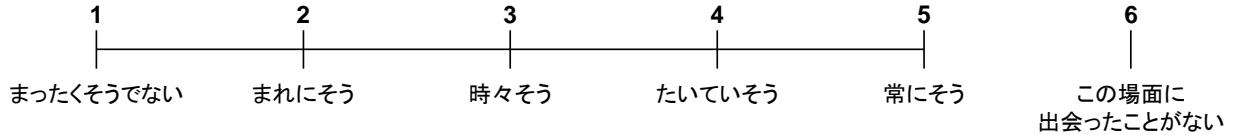
Q6. オスワリの指示にすぐに従う



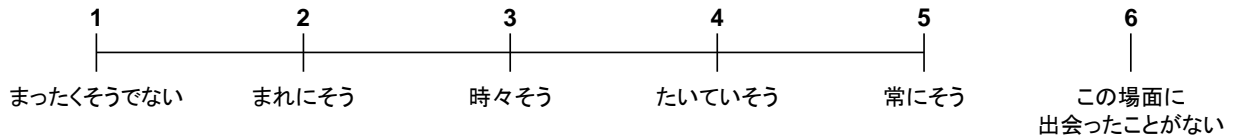
Q7. マテの指示に確実に従う



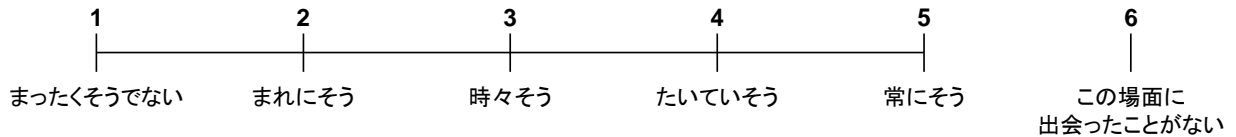
Q8. あなたが言うことやすることすべてに、しっかりと注意を向けているように見える



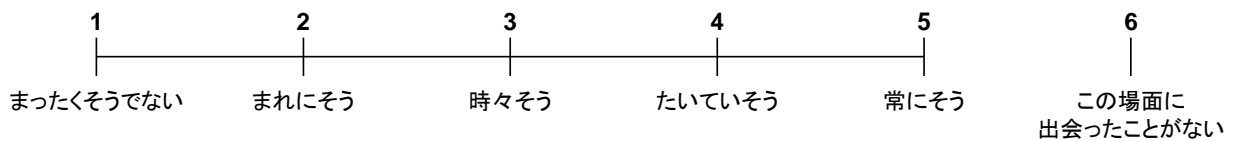
Q9. 修正する指示を与えたり叱られたりすることに対しての反応が遅い、鈍感である



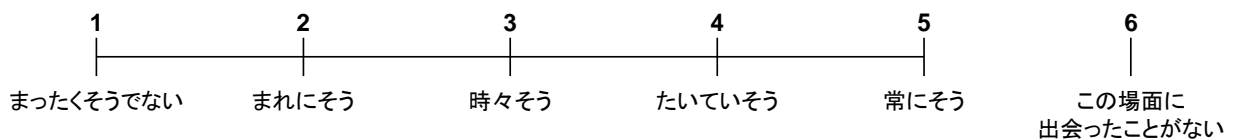
Q10. 新しい指示や芸当を習得するのが遅い



Q11. 興味のわく光景・音・匂いがあるとすぐに注意散漫になってしまう



Q12. 棒やボールなどの物を持って来る素振りを見せたり、実際に持ってこようとする



攻撃性

犬は時々、攻撃的な行動を見せることもあります。対象犬の最近の攻撃性について以下の5段階評価のうち、最も該当すると思う数字に○をつけてください。

中間レベルの攻撃行動のサイン → 吠える、唸る、歯をむき出す

高いレベルの攻撃行動のサイン → 追いかける、咬む、または咬もうとする



Q13. あなたや家族から口頭で注意された、または叱る・怒鳴るなどの罰を与えられたとき



Q14. 散歩中や運動中に、見知らぬ大人が近づいてきたとき



Q15. 散歩中や運動中に、見知らぬ子どもが近づいてきたとき



Q16. 犬が車に乗っているときに、見知らぬ人が車に近づいてきたとき



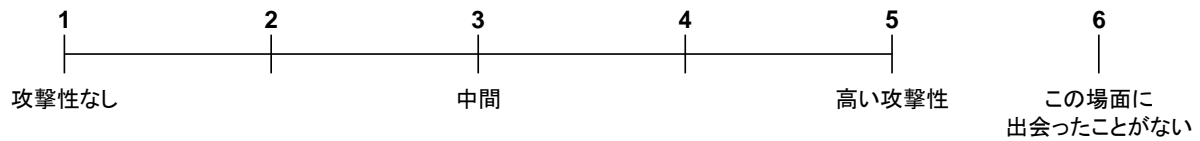
Q17. あなたや家族の誰かが、おもちゃやガムを取り上げたとき



Q18. あなたや家族の誰かが、シャンプーやブラッシングをしてあげているとき



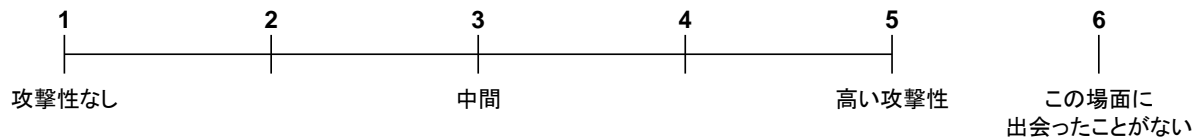
Q19. 家にいるときに、愛犬の見知らぬ人が訪問し、あなたや家族に近づいたとき



Q20. 家の外で、見知らぬ人があなたや家族に近づいたとき



Q21. 犬がご飯やおやつを食べているときに、あなたや家族の誰かが犬に近づいたとき



Q22. 郵便配達員や他の配達員が家に近づいてきたとき



Q23. あなたや家族の誰かが犬のご飯を取り上げたとき



Q24. 犬が玄関先や庭にいるときに、知らない人が家の前を通り過ぎたとき



Q25. 見知らぬ人が犬に触ったり撫でようとしたとき



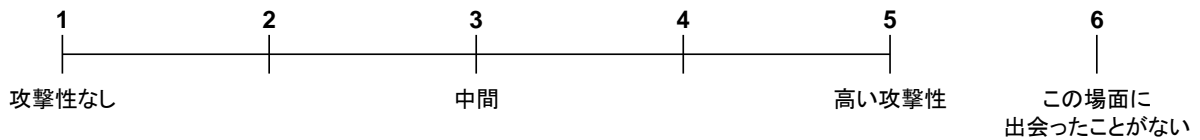
Q26. 犬が玄関先や庭にいるときに、ジョギングしている人、自転車、バイクに乗っている人が家の前を通り過ぎたとき



Q27. リードをつけて散歩/運動をしているときに、知らないオス犬がまっすぐ近づいてきたとき



Q28. リードをつけて散歩/運動をしているときに、知らないメス犬がまっすぐ近づいてきたとき



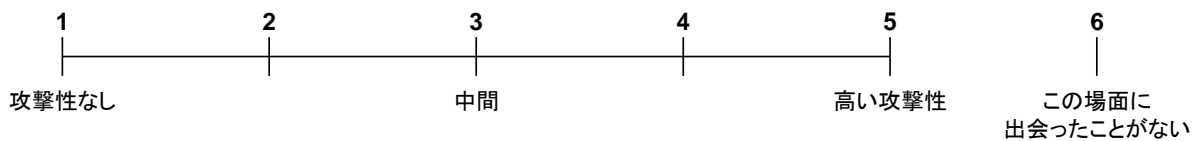
Q29. あなたや家族にじっと見つめられたとき



Q30. 知らない犬が家に来たとき、その犬に対して



Q31. 家の庭に入り込んできた猫やその他の小動物に対して



Q32. 見知らぬ人が家に来たとき、その人に対して



Q33. 知らない犬が吠えたり、唸ったり、急に近づいてきたりしたとき



Q34. あなた、または家族の誰かが犬をまたいだとき



Q35. あなたもしくは家族の誰かが、犬が盗んで持っていったフードや物を取り返すとき



Q36. 家で飼っている他の同居犬に対して



Q37. 犬がよく休憩したり寝たりする場所に、他の同居犬が近づいてきたとき



Q38. ご飯を食べているときに他の同居犬が近づいてきたとき



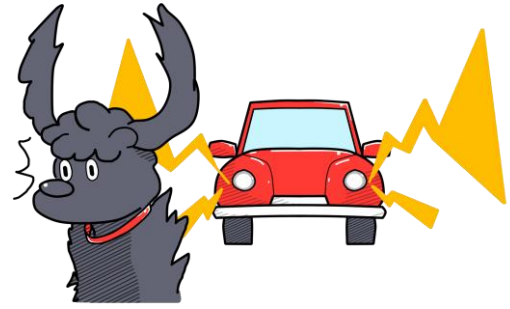
Q39. お気に入りのオモチャやガムなどで遊んでいたり噛んでいるときに、他の同居犬が近づいてきたとき



他にあなたの犬が時々攻撃的になるシチュエーション（状況）がありますか？もしあるならば、簡潔に自由記述回答用紙に記入してください。

恐怖と不安

犬は、特定の音や物、人、状況にさらされると恐怖や不安を表す行動を示すことがあります。対象犬の最近の恐怖や不安を表す行動の傾向について以下の5段階評価の最も該当すると思う数字に○をつけてください。



軽度から中間の恐怖のサイン → 目をそらす、尻尾を低くする、動かなくなる、震える、くんくん鳴く、唸るなど

極度の恐怖のサイン → 逃げる、ちぢこまる、その状況や恐怖を与える人・物から必死になって逃げようとしたり隠れようとしたりする

Q40. 家の外で、見知らぬ大人が近づいてきたとき



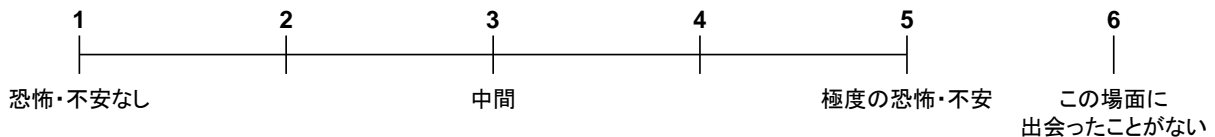
Q41. 家の外で、見知らぬ子どもが近づいてきたとき



Q42. 突発的な音や、大きな騒音に対する反応（例：掃除機、バイクの「パン！」というマフラー音、工事現場の音、物を落としたときの音など）



Q43. 見知らぬ人が家を訪れたとき



Q44. 見知らぬ人が犬を触ったり撫でようとしたとき



Q45. 散歩中、渋滞している道路の近くを通ろうとしたとき



Q46. 道路にある見慣れない物（ビニール袋、落ち葉、ゴミ、はためている旗など）への反応



Q47. 獣医師に診察や処置をしてもらうとき



Q48. 雷や花火の音、またはそれに近い音に対して



Q49. 大きさが同じかそれ以上の見知らぬ犬がまっすぐ近づいてきたとき



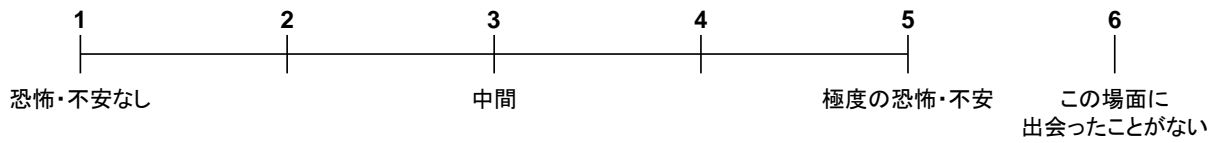
Q50. 自分より小さいサイズの見知らぬ犬がまっすぐ近づいてきたとき



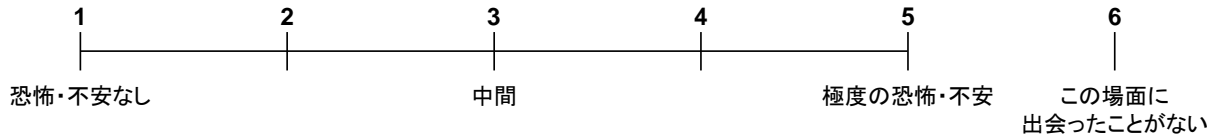
Q51. 生まれて初めての状況（初めてエレベーターに乗ったとき、初めて車で旅行するとき、初めての動物病院など）での反応



Q52. 風や、風になびいたり飛ばされる物に対して



Q53. あなたもしくは家族の誰かに爪を切られるとき



Q54. あなたもしくは家族の誰かにシャンプーやブラッシングをしてもらうとき



Q55. あなたもしくは家族の誰かに足を拭かれたとき



Q56. 見知らぬ犬が家を訪れたとき



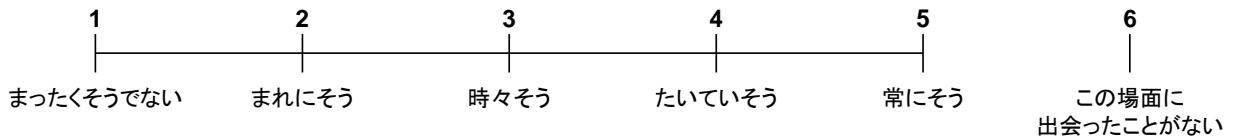
Q57. 見知らぬ犬が吠えたり、唸ったり、急に近づいてきたりしたとき



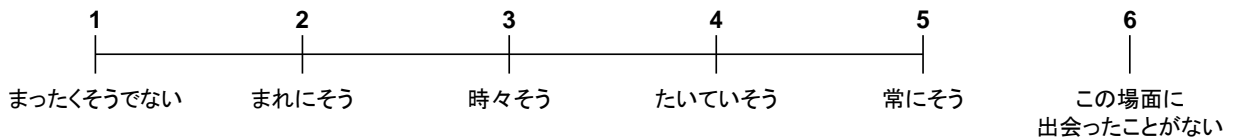
分離に関する行動

犬はたとえ短い時間でも、一人にされると不安を示したり、いつもと違った行動を見せたりすることがあります。最近のことを思い出して、あなたの犬は留守番などで一人にされたとき（または家をあける直前に）、最も該当する言葉の上の数字に○をしてください。

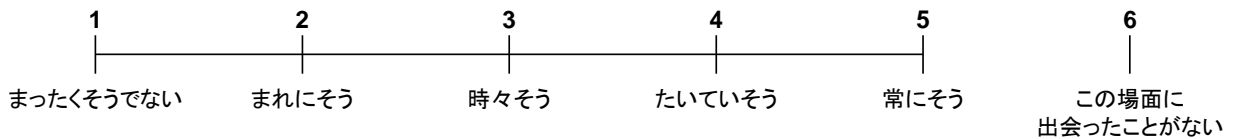
Q58. 震えている



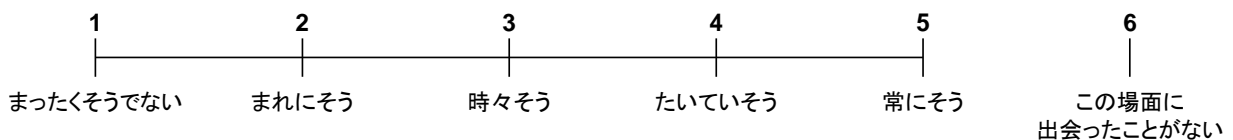
Q59. 過剰に唾液を分泌する、よだれを垂らす



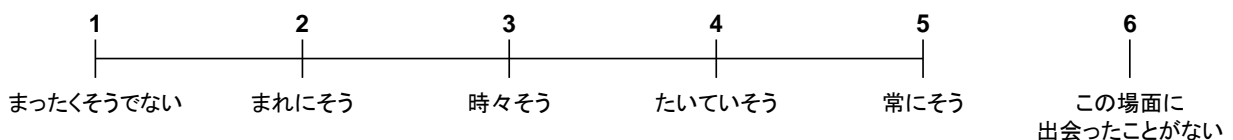
Q60. 落ち着かなくなる、動揺する、歩き回る



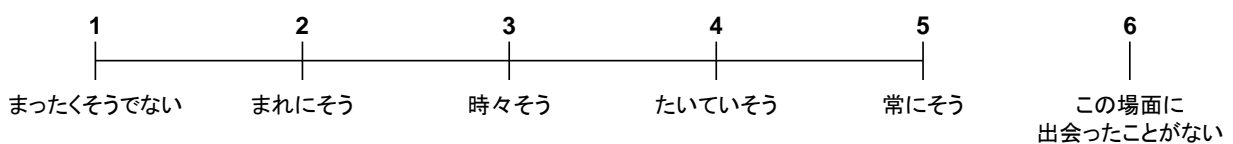
Q61. くんくん鳴く



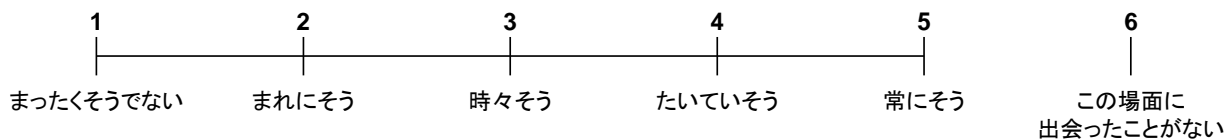
Q62. 遠吠えする



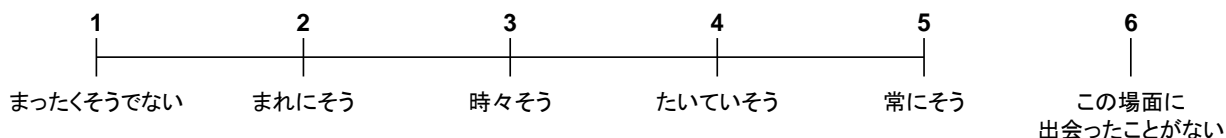
Q63. 吠える



Q64. ドア、床、窓、カーテンなどを引っ掻いたり噛んだりする



Q65. 食欲がなくなったり、何もしなくなったりする



以上の他に、犬が恐怖や不安を感じるような状況があれば、自由記述回答用紙に簡潔に記入してください。

興奮性

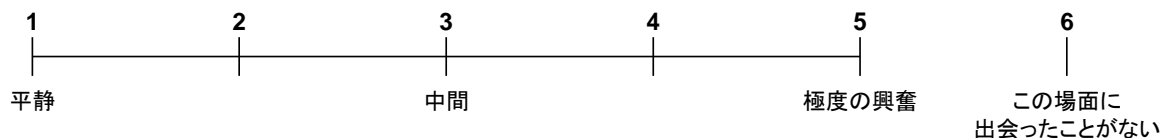


犬の中には、周りで何が起きてもそれに全く反応しない犬や、反対にちょっとした物事にも敏感に反応して興奮する犬もいます。以下のような状況で、対象犬の最近の興奮性について、以下の5段階評価の最も該当すると思う数字に○をつけてください。

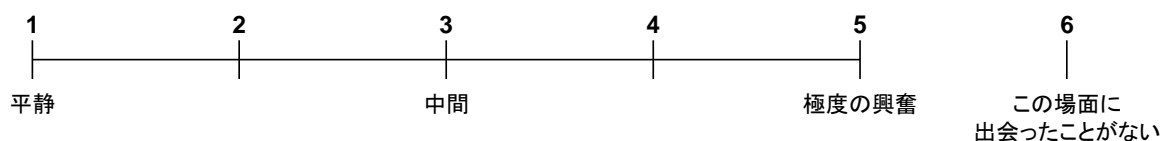
軽度から中間の興奮 → 目新しい物に向かって行ったり警戒したり吠えたりする

極度の興奮 → 非常にささいな出来事でもその対象に対して過度に吠え立てたり、興奮の原因となるものに向かって飛び出したりして、鎮めるのが困難な場合

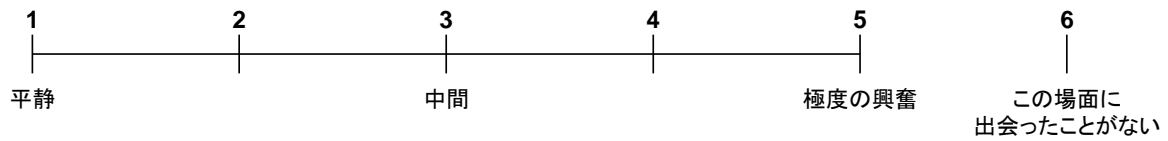
Q66. あなたもしくは家族の誰かが短時間の外出をして帰ってきたとき



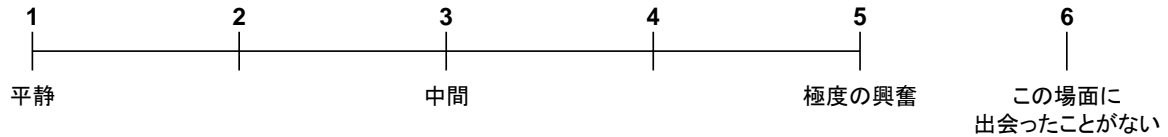
Q67. あなたもしくは家族の誰かが犬と一緒に遊んでいるとき



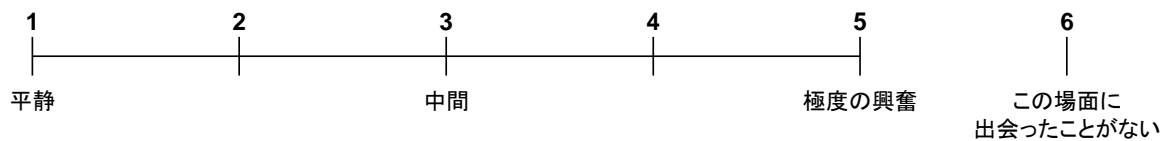
Q68. インターホンが鳴ったとき



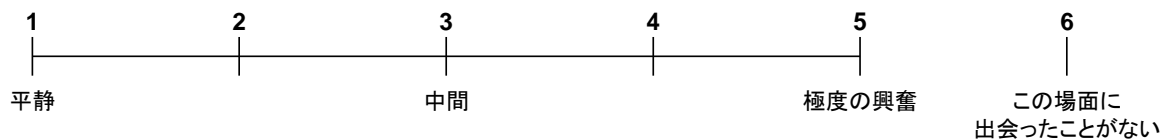
Q69. 散歩に連れて行く直前



Q70. 車で出かける直前



Q71. お客さんがあなたの家に到着したとき

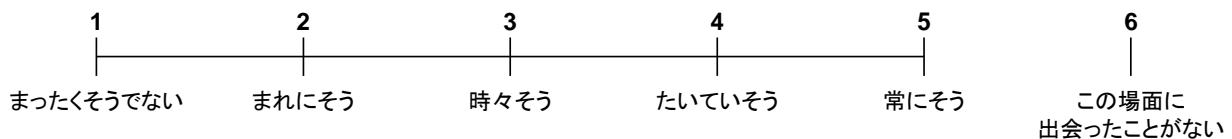


上記の他にも、犬が過度に興奮してしまうような状況があれば、自由記述回答用紙に簡潔に記入してください。

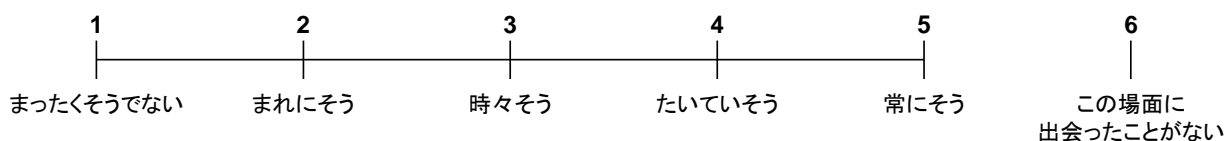
接触や注意を求める行動

多くの犬は、飼い主に対して接触行動を示します。その中には、飼い主に対してたくさんの注目や愛情を求める犬もいます。最近の犬の様子を思い出して、以下のような接触や注目を求めるようなサインの頻度について、最も該当すると思う数字に○をつけてください。

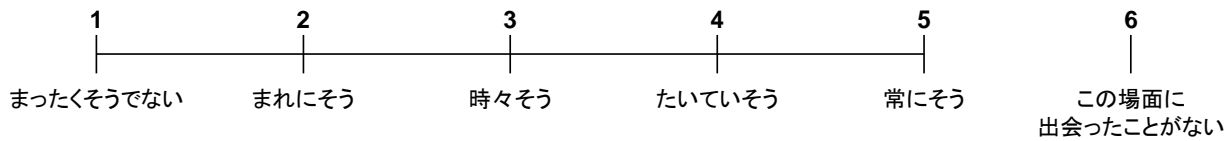
Q72. 同居家族が複数いる場合、そのうちの一人に対して特に強い愛着を示す



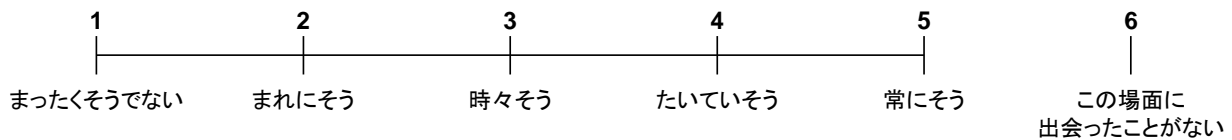
Q73. 家の中で、あなたや家族の誰かに付いて歩く



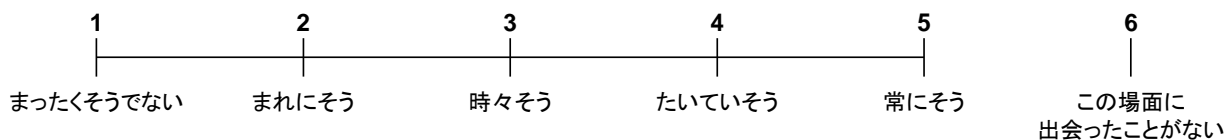
Q74. あなたや家族の誰かが座っていると、そのすぐそばに座ったり体をくっつけてきたりする



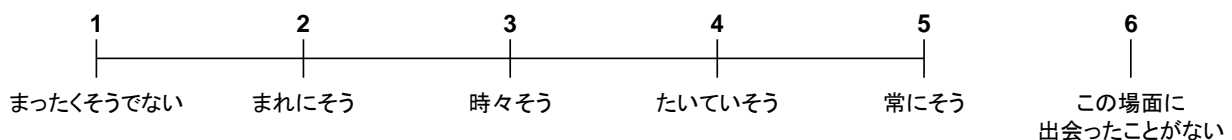
Q75. あなたや家族の誰かが座っていると、注意を引こうとして、前足でつついたり、鼻をつけたりしてくる



Q76. あなたもしくは家族の誰かが他の人の相手や世話などをしていると、クンクン鳴いたり飛び上がったたり、割って入ろうとしてくる



Q77. あなたもしくは家族の誰かが他の犬や動物の相手をしていると、クンクン鳴いたり飛び上がったたり、割って入ろうとしてくる

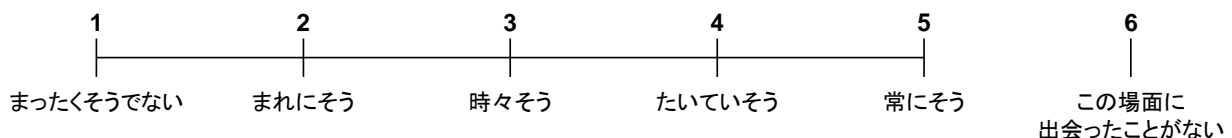


その他の行動について

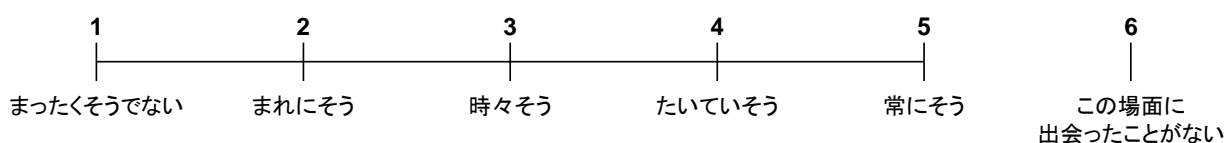
犬は、これまで質問してきたような項目だけでなく、他にも様々な問題行動を示します。最近の出来事を思い出し、対象犬が示す以下のような行動の頻度について、最も該当すると思う数字に○をつけてください。



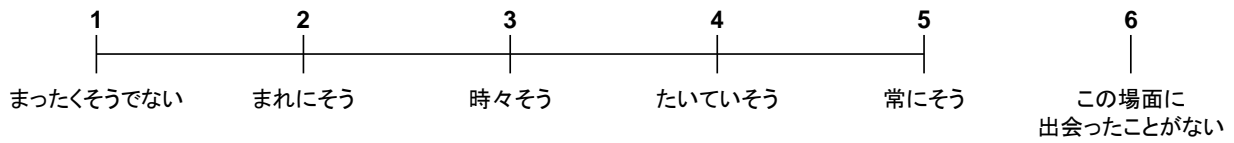
Q78. 機会さえあれば、ネコを追う、あるいは追いかけようとする



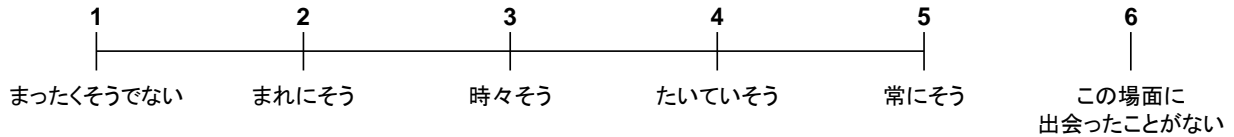
Q79. 機会さえあれば、鳥（スズメ、鳩など）を追う、あるいは追いかけようとする



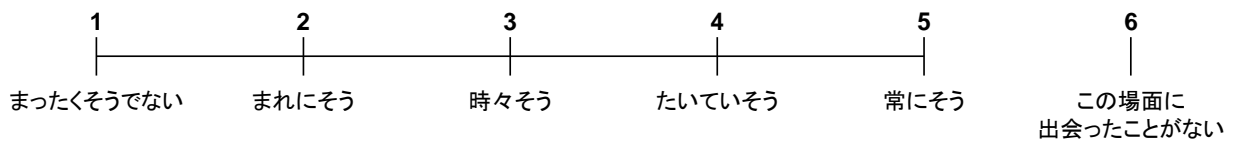
Q80. 機会さえあれば、小動物（リス、ウサギなど）を追う、あるいは追いかけようとする



Q81. 遊び好き、子犬のようにじゃれる、やたらと騒ぐ



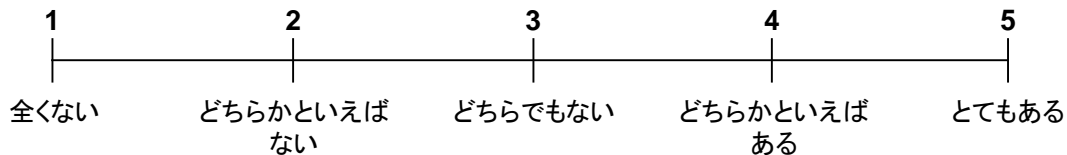
Q82. 活発、精力的、絶えず動き回っている



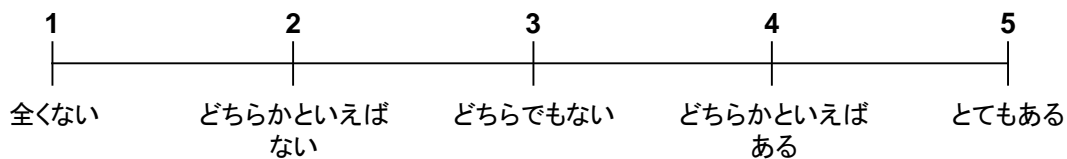
Section.3 満足度調査

1. あなたは、愛犬のどのような行動が気になりますか？

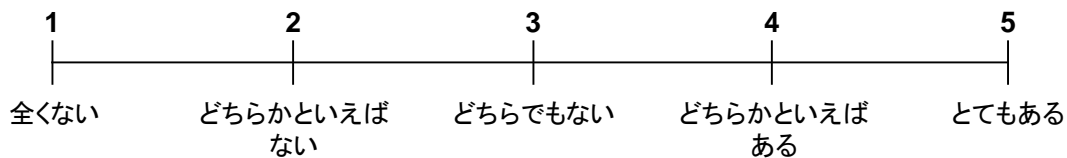
Q1-1. 食事に関して気になること



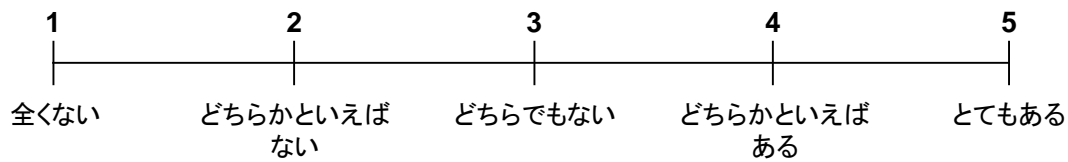
Q1-2. トイレトレーニングに関して気になること



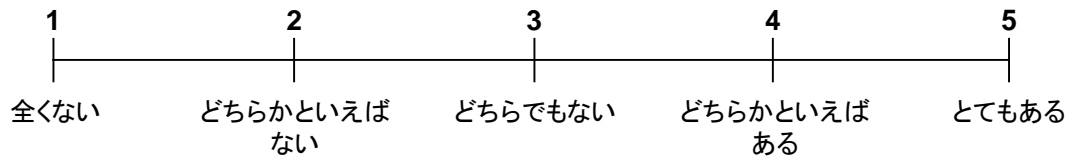
Q1-3. 無駄吠えが気になること



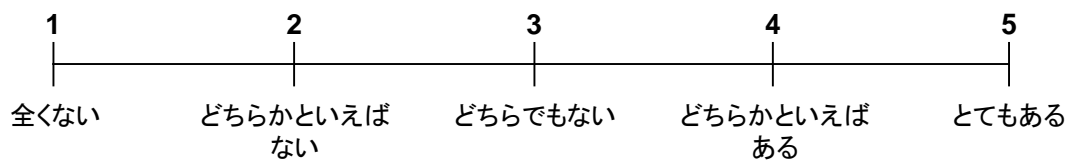
Q1-4. 甘噛みが気になること



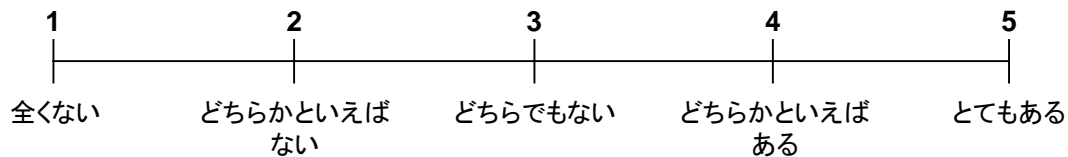
Q1-5. 引っ張りグセが気になること



Q1-6. 飛びつきグセが気になること



Q1-7. 食糞が気になること



上記選択肢の他に、愛犬の行動について気になることがあれば、自由記述回答用紙に記入してください。

2. 愛犬の気になる行動を解決するために、あなたがしたことを全て選んでください。

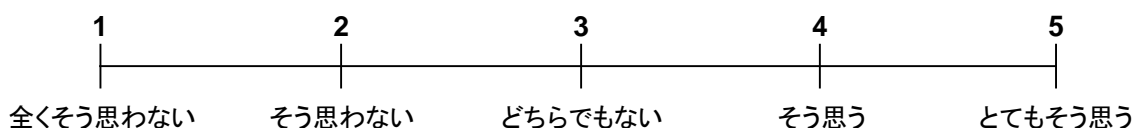
※ 選んだ選択肢が複数ある場合、マークシートは複数塗りつぶしてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自分で調べた | 6. ペットフードメーカーに相談した |
| 2. 家族に相談した | 7. ペットショップに相談した |
| 3. 友人に相談した | 8. 動物病院に相談した |
| 4. トリミングサロンに相談した | 9. その他 |
| 5. トレーナーに相談した | 10. 何もしなかった |

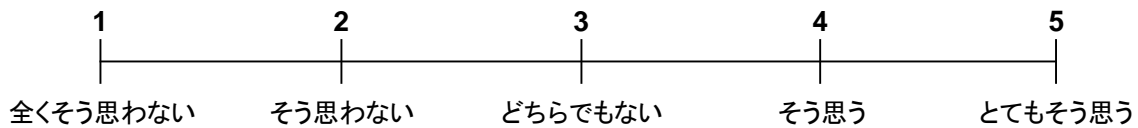
3. あなたは、愛犬と暮らして良かったと思うことはありますか？

該当するものを選んでください。

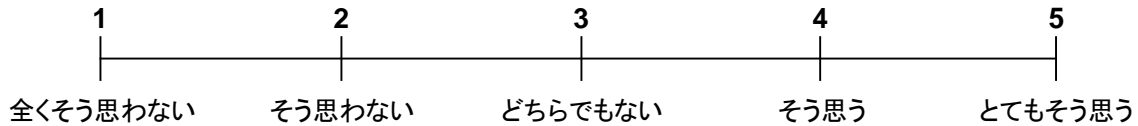
Q3-1. 健康的になった



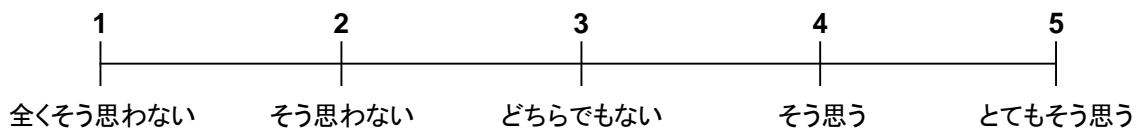
Q3-2. 運動不足を感じなくなった



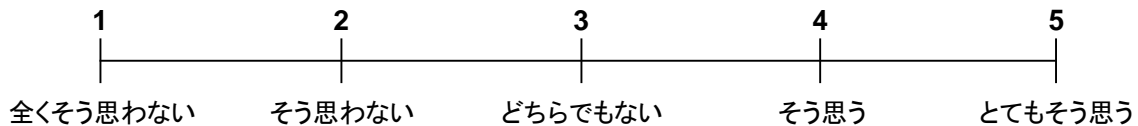
Q3-3. ストレスを抱えなくなった



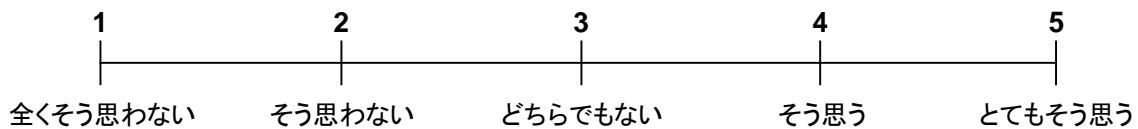
Q3-4. 孤独感を感じなくなった



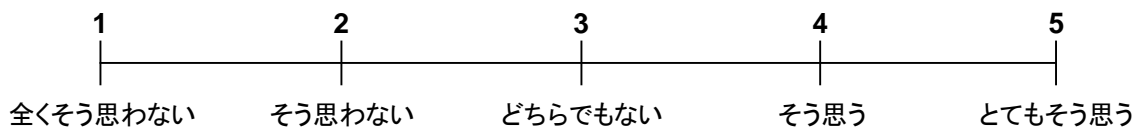
Q3-5. ハリのある生活を送れるようになった



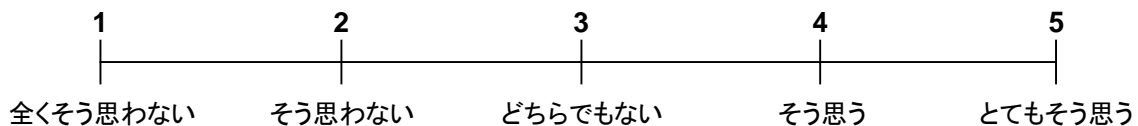
Q3-6. 生活に潤いや安らぎを実感できるようになった



Q3-7. 自分に自信が持てるようになった



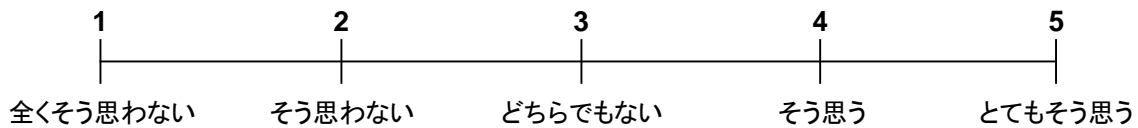
Q3-8. 人とのコミュニケーションが増えた



Q3-9. プラス思考になった

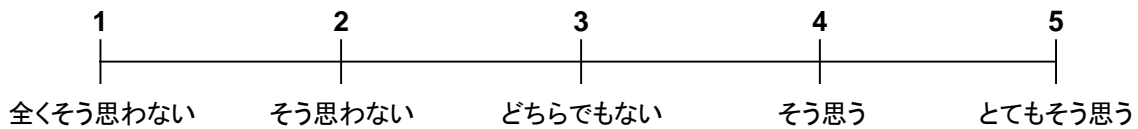


Q3-10. 子どもの成長に良い影響を与えた



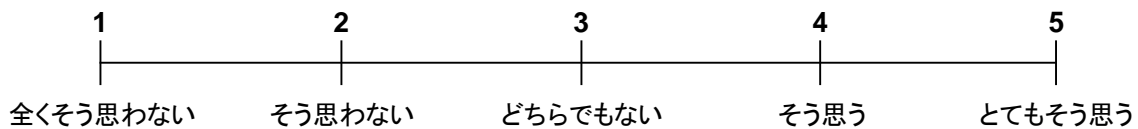
上記選択肢の他に、愛犬と暮らして良かったと思うことがあれば、自由記述回答用紙に記入してください。

Q4. あなたは、また犬（猫）を飼いたいと思いますか？該当するものを選んでください



Q5. あなたは、友人等に犬（猫）の飼育を勧めたいと思いますか？

該当するものを選んでください



Q6. あなたは、これまで犬（猫）の飼育経験がありましたか？該当するものを選んでください

1. ある 2. ない

Q7. 調査対象の犬（猫）の他に同居している犬（猫）はいますか？

該当するものを選んでください

1. いる 2. いない

Q8. あなたと同居している家族はいますか？該当するものを選んでください

1. いる 2. いない

Q9. あなたは週に何回くらい愛犬を散歩等に連れていきますか？

該当するものを選んでください

1. 0回 2. 1～2回 3. 3～4回 4. 5～6回 5. 毎日

設問はこれで以上です。
多くの設問の回答を選んで頂き、ありがとうございます！

選んだ回答を、マークシートに記入してください。

全設問に回答して頂くと、希望される方に対して、**愛犬の性格（行動特性）診断**と、それに対する**動物行動学的なアドバイス**をお送りさせていただきます。



愛犬愛猫の行動観察と満足度調査

※「書類送付のご案内」を参照してください。

あなたのID			
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

※「犬種・猫種一覧表」を参照してください。

愛犬・愛猫の種類		
0	0	0
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9

愛犬愛猫のお名前

マーク上の注意事項

- あなたの回答する番号を、鉛筆又はシャープペンシル(HB又はB)を使って、正確に塗りつぶしてください。
- 消しゴムを利用する際、跡が残らないように、きれいに消してください。
- 指示された回答欄以外には、何も記入しないでください。

良い例



悪い例



基本情報

1

体 重		
		キロ
0	0	0
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9

2	1	2
3	1	2
4	1	2

行動に関する質問



5	1	2	3	4	5	6
6	1	2	3	4	5	6
7	1	2	3	4	5	6
8	1	2	3	4	5	6
9	1	2	3	4	5	6
10	1	2	3	4	5	6
11	1	2	3	4	5	6
12	1	2	3	4	5	6
13	1	2	3	4	5	6
14	1	2	3	4	5	6
15	1	2	3	4	5	6
16	1	2	3	4	5	6
17	1	2	3	4	5	6
18	1	2	3	4	5	6
19	1	2	3	4	5	6
20	1	2	3	4	5	6
21	1	2	3	4	5	6
22	1	2	3	4	5	6
23	1	2	3	4	5	6
24	1	2	3	4	5	6
25	1	2	3	4	5	6
26	1	2	3	4	5	6
27	1	2	3	4	5	6
28	1	2	3	4	5	6
29	1	2	3	4	5	6
30	1	2	3	4	5	6
31	1	2	3	4	5	6
32	1	2	3	4	5	6
33	1	2	3	4	5	6
34	1	2	3	4	5	6
35	1	2	3	4	5	6
36	1	2	3	4	5	6
37	1	2	3	4	5	6
38	1	2	3	4	5	6
39	1	2	3	4	5	6
40	1	2	3	4	5	6
41	1	2	3	4	5	6
42	1	2	3	4	5	6
43	1	2	3	4	5	6

44	1	2	3	4	5	6
45	1	2	3	4	5	6
46	1	2	3	4	5	6
47	1	2	3	4	5	6
48	1	2	3	4	5	6
49	1	2	3	4	5	6
50	1	2	3	4	5	6
51	1	2	3	4	5	6
52	1	2	3	4	5	6
53	1	2	3	4	5	6
54	1	2	3	4	5	6
55	1	2	3	4	5	6
56	1	2	3	4	5	6
57	1	2	3	4	5	6
58	1	2	3	4	5	6
59	1	2	3	4	5	6
60	1	2	3	4	5	6
61	1	2	3	4	5	6
62	1	2	3	4	5	6
63	1	2	3	4	5	6
64	1	2	3	4	5	6
65	1	2	3	4	5	6
66	1	2	3	4	5	6
67	1	2	3	4	5	6
68	1	2	3	4	5	6
69	1	2	3	4	5	6
70	1	2	3	4	5	6
71	1	2	3	4	5	6
72	1	2	3	4	5	6
73	1	2	3	4	5	6
74	1	2	3	4	5	6
75	1	2	3	4	5	6
76	1	2	3	4	5	6
77	1	2	3	4	5	6
78	1	2	3	4	5	6
79	1	2	3	4	5	6
80	1	2	3	4	5	6
81	1	2	3	4	5	6
82	1	2	3	4	5	6

満足度調査

1-1	①	②	③	④	⑤
1-2	①	②	③	④	⑤
1-3	①	②	③	④	⑤
1-4	①	②	③	④	⑤
1-5	①	②	③	④	⑤
1-6	①	②	③	④	⑤
1-7	①	②	③	④	⑤

2	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3-1	①	②	③	④	⑤
3-2	①	②	③	④	⑤
3-3	①	②	③	④	⑤
3-4	①	②	③	④	⑤
3-5	①	②	③	④	⑤
3-6	①	②	③	④	⑤
3-7	①	②	③	④	⑤
3-8	①	②	③	④	⑤
3-9	①	②	③	④	⑤
3-10	①	②	③	④	⑤

4	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

5	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

6	①	②
---	---	---

7	①	②
---	---	---

8	①	②
---	---	---

9	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---



🐾 ありがとうございました 🐾



自由記述回答用紙 愛犬用

あなたの ID				
---------	--	--	--	--

・「疾患の有無」において、「1. ある」をマークした方は、その疾患内容について具体的に記述してください。

・愛犬が時々攻撃的になるシチュエーション(状況)が他にありますか？もしあるならば、簡潔に記述してください。

・愛犬が恐怖や不安を感じるような状況が他にありますか？もしあるならば、簡潔に記述してください。

・愛犬が過度に興奮してしまうような状況が他にありますか？もしあるならば、簡潔に記述してください。

【満足度調査】に関する自由記述

・あなたは愛犬のどのような行動が気になりますか？選択肢の他に、愛犬の行動について気になることがあれば、記入してください。

・あなたは、愛犬と暮らして良かったと思うことはありますか？選択肢の他に、愛犬と暮らして良かったと思うことがあれば、記入してください。

※ご住所やお名前に変更があった方はこちらにご記入ください。

<u>変更前</u>	→	<u>変更後</u>
------------	---	------------

これはサンプルです

アンケートに全問回答して頂くと
このような診断結果が後日送付されます

愛犬の性格診断



Canine Behavioral Assessment and Research Questionnaire

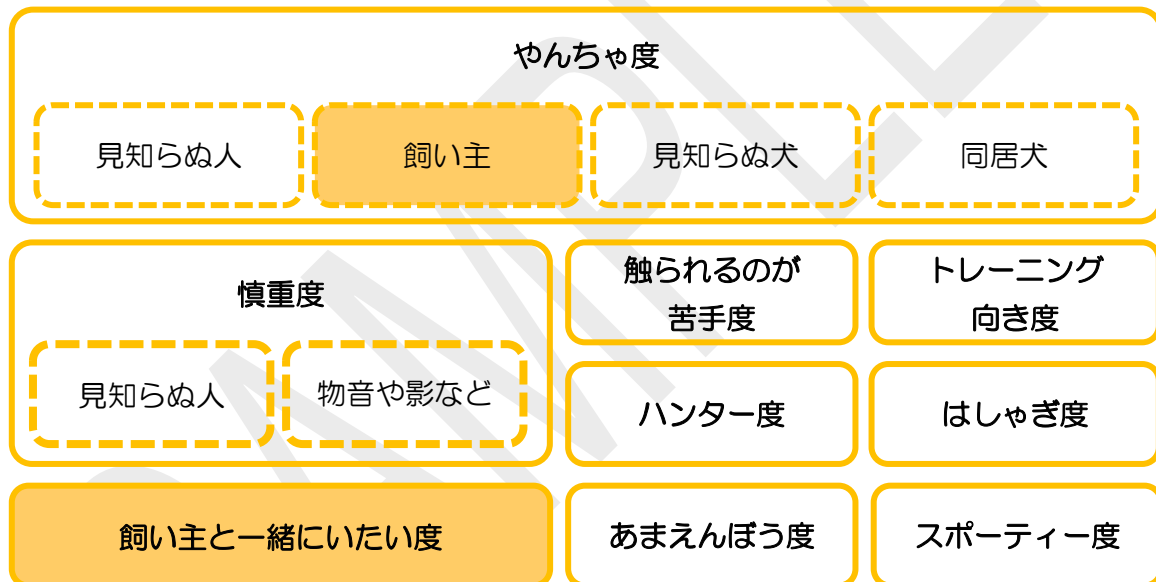
あなたの愛犬の性格をお伝えします。

診断結果

愛犬のお名前	麻布イチロー
犬種	トイ・プードル
性別	男の子
誕生日	2014年4月1日
体重	3.0 kg

C-BARQ では、独自のアルゴリズムによって、性格（13 ある行動特性）にスコアが付与されます。このスコアを、これまでに蓄積された同一犬種のイヌの行動データと比較し、スコアの相対的な高低をシステムが計算します。そして、その算出されたスコアに沿って、各行動特性に関するアドバイス（一般論）を記載（注1・2）しています。

それでは、早速あなたの愛犬の性格診断の結果をご覧ください。次のページから解説が始まります。



※塗りつぶしのある2項目について、サンプルが添付されています。

注1；異なる行動特性に対して、同じ内容のアドバイスがなされることがあります。この場合、複数の行動特性について、一つの対処の仕方に対応することになると理解して頂ければと思います。

注2；本性格診断は、あくまでも動物行動学的な一般論を提供するものであり、医療としての診断情報を提供するものではありません。診断結果に気になる点等がある場合には、専門知識を有する獣医師・訓練士からアドバイス・カウンセリング等を受けることをお勧め致します。

性格

やんちゃ度

飼い主

やんちゃな行動（うなる、ほえる等）は、愛犬にとって正常な行動です。ただ、他のワンちゃんと比較して、これが強く現れたり、頻繁に現れたりする子がいます。やんちゃな行動を示す相手を、見知らぬ人、見知らぬ犬、飼い主、同居犬、に分けて判定します。

このページは、「飼い主」の場合についてのアドバイスです。

🐾スコア🐾

標準的

少し高め

高め

あなたの愛犬のスコアは“少し高め”です。

【1】基礎プログラムの実施

飼い主と愛犬の関係をよくするために、基礎プログラムにチャレンジしてみましょう。

1. 飼い主と愛犬との信頼関係を強くする方法

愛犬が、“①落ち着いた状態で、②飼い主の指示に喜んで従う（「オイデ」「オスワリ」「フセ」「マテ」というコマンドに従う）”ように練習します。

2. スケジュール

毎日2回～3回、1回15分程度、基礎プログラムを実施します。実施する時刻はいつでも構いません。

- 🐾 最低でも1日2回、朝晩10分ずつ練習をしましょう。
- 🐾 愛犬の集中が続くのは最初の頃は5分程度、その後次第に時間を延ばして15分くらいまで。それ以上長くはしないでください。

3. ごほうび（報酬）の使用

リズムよく愛犬にコマンドを与え、それに従ったらすぐにごほうび（報酬）としてオヤツ等を与えてください。

- 🐾 報酬として一回に与えるオヤツの量は極少量にして下さい。

- ❖ 報酬は“特定”して下さい。一旦特定したら、そのオヤツは、この練習の時のみ与えるようにし、愛犬がこのオヤツに飽きないようにして下さい。

4. 手順

手順①

仮に、愛犬がいずれのコマンドにも反応できない状況にある場合、「オスワリ」から教えます。

ここで重要なのは、「オスワリ」や「フセ」を実現できる点ではありません。例えば、愛犬が「フセ」のコマンドに対して「オスワリ」をしても、コマンドに集中して従っている限り、すぐにほめてあげてください。「あなたのコマンドに集中して、楽しそうに従う」ことを実現できている点が重要です。



手順②

ごほうびとなるオヤツを片手に持ってください。10~15個くらい持ち、できれば、腰にポシェット型のフードを入れておくポーチを下げ、いつでも簡単にオヤツが取り出せるようにするとよいでしょう。

手順③

愛犬が落ち着いていることを確認して、愛犬の名前を一度だけ呼びます。初めの頃は名前に反応してあなたの傍に来ただけで、すぐにオヤツを与えてください。

もし従わなかったら、あなたの立っている場所を変えて、別の場所から声を掛けてみてください。決して同じ場所から同じように何回もコマンドを出さないでください。

あなたがオヤツを持っていることに気付けば、次第に飛んでくるようになるでしょう。

(注意！)

- ❖ 最初のうちは、あなたの方が愛犬と対面するように移動して下さい。
- ❖ 練習の際に、愛犬を撫でる、余計な言葉を掛ける、等はしないで下さい。愛犬が報酬やコマンドに集中できなくなってしまう。
- ❖ 愛犬にコマンドを出すときに、大きな声や、威嚇するような声を使うことは逆効果です。基礎プログラムの目的は、「喜んで」愛犬が飼い主のコマンドに従うことにあります。
- ❖ コマンドより先に報酬を与えてはいけません。
- ❖ 報酬で愛犬を操るかのようなコマンドの出し方はしないでください。愛犬は、報酬をもらえそうなときにしか反応しなくなります。
- ❖

手順④

傍に来るようになったら、「オスワリ」とコマンドを出します。あなたの愛犬がコマンドに従えば、「よしよし」や「グッド」とほめながら直ちに報酬を一つだけ与えます。

もし、愛犬が「オスワリ」というコマンドの意味を知っているのに座らなかったり、興奮しすぎて収拾がつかなくなったら、基礎プログラムを直ちに中止し、5～10分程度の間隔をあけてから再開してください。

手順⑤

練習の終わりには、必ずうまくできるコマンドを出して、愛犬もあなたも楽しい気分ですべて終わらせて下さい。最後には「終わり」と言いながら手を軽く叩いて愛犬を解放し、思う存分撫でて可愛がってあげて下さい。

手順⑥

最初のうちは、うまくいったら必ず報酬を与えてください。愛犬が学習して簡単にできるようになってきたら、報酬を与える回数を減らしていきましょう。

手順⑦

「オスワリ」ができれば次に「フセ」を練習します。うまくできたらすぐに報酬を与えます。「オスワリ」と「フセ」の区別ができなくても、飼い主の声に反応していたら報酬を与えましょう。上手にできるようになってきたら、場所を変えて「オスワリ」「フセ」をさせてみて下さい。

※ 「フセ」以降についても基本的に手順①～⑥を実施します。

手順⑧

続いて「マテ」の練習です。まずは“簡単なマテ”。「マテ」とコマンドを出して、一歩だけ後ろに下がってみて下さい。あなたの愛犬が落ち着いて待っていられれば、すぐに愛犬の場所に戻って報酬を与えます。愛犬がついてきてしまったら、場所を変えて再度「オスワリ」を命じます。再び「マテ」とコマンドを出すところから始めてください。

“簡単なマテ”を習得したら、難易度を徐々に上げていきます。“簡単なマテ”をさせた後、あなたが隣の部屋に行っても落ち着いて5分ほど待っていられるようになれば、非常に優秀です。さらには室内だけでなく、愛犬が興奮しやすい公園や人込みでもやってみましょう。

【2】 やんちゃな行動が出る場面の回避

また、日頃から、愛犬が唸る等のやんちゃな行動が出る場面を極力避けてください。愛犬が「やんちゃな行動をしたら、嫌なことを回避できた！」という経験を重ねることで、やんちゃな行動がかえって増えてしまいます。

体を触る、抱っこする、といった行為の回数を減らし、シンプルな関係の構築を目指します。具体的には、飼い主はフードと散歩を中心に愛犬と関わり、その他の接触を避けてください。



性格

飼い主と
一緒にいたい度

飼い主と一緒にいたいという行動は、特に愛犬が「いやだなあ」と感じるような場面でみられます。後ろからついて歩くなどもこれにあたります。

🐾スコア🐾



あなたの愛犬のスコアは“少し高め”です。

🐾アドバイス🐾



お出かけ前や帰宅時にむやみに愛犬にかまわず、オスワリなどのコマンドを出し、それに従ったときだけ触ってあげましょう。また、留守にする際には、飽きさせない環境（例えばオヤツなどを詰められるおもちゃ、コングやトリーツボール）などを多用し、安心して休める場所も確保してあげましょう。

生活のストレス、運動不足、遊び不足、飼い主とのコミュニケーション不足など

は、飼い主と離れたり姿が見えない場合に、愛犬が過度に飼い主と一緒にいたがる傾向を高めることがあります。ですので、これらが原因の場合、日常生活スタイルを改善することも大切です。



送付物・返送物リスト

今回お送りした資料は以下の通りです。ご確認ください。

- 送付物・返送物リスト（当資料）
- 書類送付のご案内
- ご協力をお願い
- 愛猫の行動観察と満足度調査 設問集
- 犬種、猫種一覧表
- マークシート回答用紙
- 自由記述回答用紙 愛猫用
- 返送用封筒
- 現在愛猫を飼育していない方の返送用はがき

お送りした資料のうち、

- 書類送付のご案内（あなたのIDが掲載されている用紙）
- 愛猫の行動観察と満足度調査 設問集
- マークシート回答用紙
- 自由記述回答用紙 愛猫用

を返送用封筒に入れ、ポストに投函してください。

■解析実施・アンケートの問い合わせ先

麻布大学獣医学部伴侶動物学研究室

（担当）菊水、永澤、立石

TEL 042-754-7111（代表）

電子メール：info@carazabu.com

ご協力のお願い

平成28年度

犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する アンケート調査

1. 愛猫の行動を教えてください！

愛猫と生活を共にしていると、さまざまな行動をみかけると思います。愛情や愛着を示すのかな？という行動もあれば、こわがっているのかな？というような行動、少し興奮したり、逆にすごくおとなしかったり、突然小さな動物を追いかけたり、時には何を意味しているのかよくわからないものまで、実に様々な行動をみかけると思います。



是非、あなたが観察した愛猫の行動を、同封されているアンケートの設問に沿って回答し、教えてください。

お聞きする内容は、あなたと愛猫が日々一緒に暮らす中で観察できるものばかりです。



2. 環境省における調査への活用について

返送して頂いたアンケートの回答は、環境省において実施する『犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す理想的な時期に関する調査』に活用させていただきます。動物福祉の観点からなされる調査であり、皆様から送って頂いたデータが、動物愛護管理法のより一層の充実に活用される予定です。



3. “愛猫の行動評価” について

希望される方に対して、アンケートの回答をもとにした愛猫の行動評価を行う予定です。この行動評価は、①一緒に生活をする飼主様や同居人の方々にとってより愛猫との生活が豊かになる、②猫の動物福祉、という2つの視点から行います。

なお、猫の行動評価を統計学的に行うにあたり、猫の行動データベースが必要です。現時点では十分なデータが蓄積できておらず、その蓄積に少し時間が必要になります。そのため、このアンケートの実施後、行動評価の結果をお返しするのに、少しお時間を頂戴します。評価結果をお送りするのは、アンケートの実施後6ヶ月以上先になる予定です。

ハンター度

猫は狩りをする動物です。そのため、捕食行動が現れます。対象はほとんどが小動物や鳥などですが、まれに飼い主や同居の猫や犬にも示します。幼齢動物で多い傾向にありますが、成猫になっても多く見られます。経験を積むことで、さらに行動が発現するようになります。

狙いと異なる方向へ

猫が、狙いを定めた相手に近づきたいけど近づけないような状況（例；窓ガラスの向こうにいる知らない猫をみて興奮するような場合）にあるときに、そばにいる人間や動物、物に対して、やんちゃな行動が現れることがあります。

縄張り意識

猫は犬より縄張り意識が高いと言われており、自分のテリトリーと認識している場所に入ってくる人間や動物に、やんちゃな行動を起こすことがあります。

友好度・愛着度

飼い主や同居する人に対して、他の猫と比べて、強い友好性や愛着を示す猫がいます。

慎重度（特定の相手やものに対して）

特定の相手やものに対して慎重になることは、動物にとって「嫌だなあ」という気持ちの正常な反応（やんちゃな行動、逃げる、パニック、動かなくなるなど）です。また、経験に基づくものであるため、対象（人間・動物など）が決まっています。

はしゃぎ度

物音や光、すばやい動きに対して、興奮してしまう猫がいます。すばやい動き、めずらしいものへすばやく近づく、落ち着くのに時間がかかる、という性格です。

慎重度（何に対しても）

何に対しても慎重になることは、動物にとって「嫌だなあ」という状況や出来事に対して生じる正常な反応（突発的な行動、パニックなど）です。経験に基づかず、嫌なことを予測して生じます。

触られるのが苦手度

人に触られることがあまり好きでなく、どちらかというとうほうっておいてほしい、という猫がいます。

4. 設問回答の手順

[1] “ご協力をお願い [本資料]” を読む

本資料に、アンケート調査の目的や手順が記されています。最初にお読みください。

[2] “愛猫の行動観察と満足度調査 設問集” を読み、回答を選ぶ

ひとつずつお読みいただき、あてはまる回答に、鉛筆又はシャープペンシル（HB又はB）で丸を付けてください。自由記述については、直接“自由記述回答用紙 愛猫用”に記入してください。

[3] マークシート回答用紙に記入

選んだ回答を、“マークシート回答用紙”に記入してください。

[4] 回答用紙を返送する

お送りした資料のうち、

① 書類送付のご案内 [あなたのIDが掲載されている用紙]

② 愛猫の行動観察と満足度調査 設問集

③ マークシート回答用紙

④ 自由記述回答用紙 愛猫用

を、返送用封筒に入れ、ポストに投函してください。

■解析実施・アンケートの問い合わせ先

麻布大学獣医学部伴侶動物学研究室

（担当）菊水、永澤、立石

TEL 042-754-7111（代表）

電子メール：info@carazabu.com

愛猫の行動観察と満足度調査

設問集



愛猫の行動と満足度に関する設問及び回答選択肢が記載されています。
ひとつずつお読みいただき、それへの回答を選んでください。

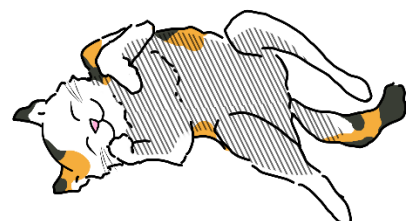
まずは設問集の選択肢にチェックを付け、その後マークシートを塗りつぶしてください。
設問集も回収となります。

※回答欄に分かりづらい箇所がございます。お間違えの無いようご注意ください。
設問番号にない回答欄は塗りつぶす必要はありません。

回答する際の注意事項

1. あなたが選択した情報を基礎にした評価です。
このアンケート調査では、飼い主様にお答えいただいた情報を基礎にしてすべての判断を行います。それゆえ、設問で問われた行動の有無及び頻度について、可能な限り正確にお答えください。ご協力をお願いいたします。
2. いつの時点の行動を問うているか？
6 か月齢を過ぎたあとの行動について、直近の 1~2 か月を振り返って回答してください。
3. 設問の表現について
 - ① 列挙された複数の行動のうちの1つが認められれば、その行動があるものとして回答してください。「まれに」「時々」「たいてい」「常に」は、その行動がある場合に、その頻度を回答するための選択肢です。観察された行動の頻度に応じて、いずれかを選択してください。
 - ② 同居猫がない場合には、同居猫に対する行動を問う質問に対しては「この場面に出会ったことがない」を選択してください。
4. 回答選択肢の表現について
選択肢には数種類の表現が出てきますが、それぞれ次のような意味で使われています。厳密な頻度ではなく、おおよその頻度をお聞きしています。

1. まったくそうでない	ほぼ0%の頻度
2. まれにそう	10~30%程度の頻度
3. 時々そう	40~60%程度の頻度
4. たいていそう	70~90%程度の頻度
5. 常にそう	ほぼ100%の頻度
6. この場面に出会ったことがない	この場面にそもそも出会ったことがない場合、頻度を判断できるだけの回数に出たことがない場合に選択してください。



Section.1 猫の基本情報

Q1. 愛猫の体重をキログラムで回答欄に記入してください（例 7.0 キロ）

_____ キロ

Q2. 避妊・去勢はしていますか？

1. はい 2. いいえ

Q3. 愛猫に疾患はありますか？

1. ある 2. ない

→ 「1. ある」と答えた方は、その内容を自由記述回答用紙に記入してください。

Q4. 愛猫の性格診断を希望されますか？

1. はい 2. いいえ



Section.2 猫の行動に関する質問

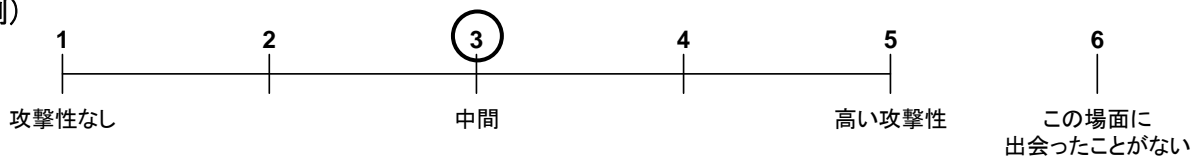
攻撃性

猫は時々、攻撃的な行動を見せることもあります。対象猫の最近の攻撃性について、以下の5段階評価の最も該当すると思う数字に○をつけてください。

中間レベルの攻撃行動のサイン → 唸る、歯をむく、“シャーシャー” 又は “フーツ” という軽くひっかく、軽く咬む

高いレベルの攻撃行動のサイン → 血が出るほどひっかく、血が出るほど咬む

(例)



Q5. 待ち伏せる又は突然どこかから現れて、あなたもしくは家族の誰かに対して攻撃的な行動を示しますか？



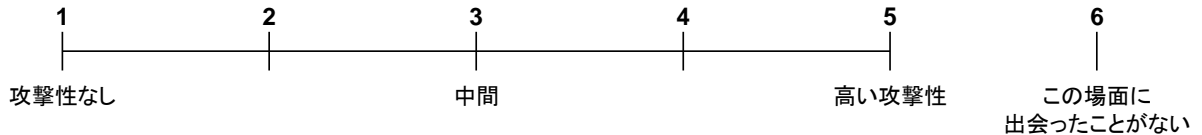
Q6. あなたもしくは家族の誰かに室内で顔を合わせるとき、攻撃的な行動を示しますか？



Q7. 郵便配達人や宅配人があなたの家に近づくのが窓から見えるとき、あなたもしくは家族の誰かに対して、攻撃的な行動を示しますか？



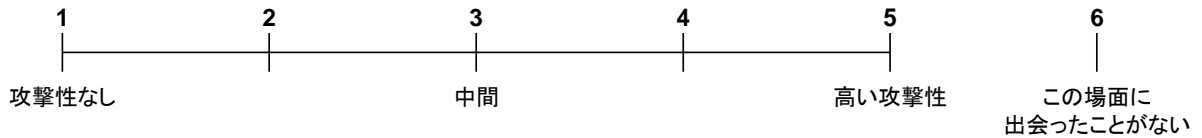
Q8. 猫がご飯を食べている最中に、あなたもしくは家族の誰かが猫に近寄るときあなたもしくは家族の誰かに対して攻撃的な行動を示しますか？



Q9. 鳥や小動物が窓から見えるとき、猫がそれとは無関係な対象（あなたや家族の誰か同居動物や物）に向かって攻撃的な行動を示しますか？



Q10. 待ち伏せていたり、突然どこかから現れたりして、同居猫に対して攻撃的な行動を示しますか？



Q11. ご飯を食べている最中に、同居猫が近寄るとき、同居猫に対して攻撃的な行動を示しますか？



Q12. お気に入りの休憩（又は安眠）スペースにおいて、同居猫が近寄るとき、同居猫に対して攻撃的な行動を示しますか？



Q13. 猫の見知らぬ“人”があなたの家を訪れるとき、その人に対して攻撃的な行動を示しますか？



Q14. 猫の見知らぬ“猫”があなたの家を訪れるとき、その猫に対して攻撃的な行動を示しますか？



恐怖と不安

猫は、特定の音や物、人、状況にさらされると恐怖や不安を表す行動を示すことがあります。対象猫の最近の恐怖や不安を表す行動の傾向について以下の 5 段階評価の最も該当すると思う数字に○をつけてください。



軽度から中間の恐怖・不安のサイン → 回避する、不動化する、震える、過剰に鳴く、抵抗したり、耳を伏せたりする

極度の恐怖・不安のサイン → 隠れる、攻撃的になる、逃げ惑う、破壊するような行動を逃げ道であるドアや窓に対して行う

Q15. 猫の見知らぬ“人”があなたの家を訪れるとき



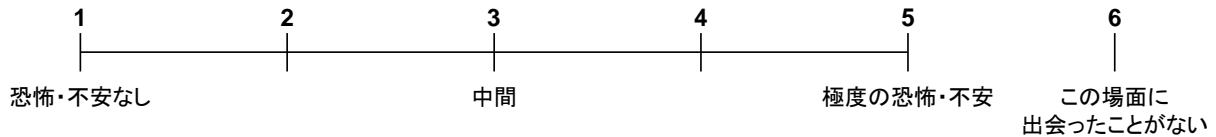
Q16. 大きな音がしたとき



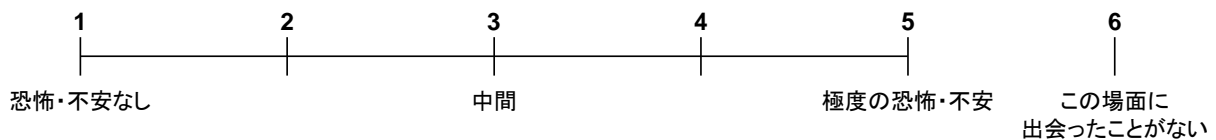
Q17. 未知の状況に初めて置かれるとき（例えば、初めての自動車旅行、初めてエレベーターを利用する、初めて動物病院を訪れるなど）



Q18. あなたもしくは家族の誰かが猫の爪を切っているとき



Q19. あなたもしくは家族の誰かが猫を撫でたり、ブラッシングしたりするとき



Q20. 猫が寝ているところを、触ったりあるいは移動したりするとき



興奮性

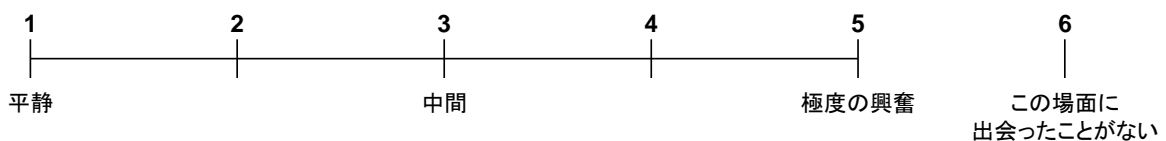
猫の中には、周りで何が起きてもそれに全く反応しない猫や、反対にちょっとした物事にも敏感に反応して興奮する猫もいます。以下のような状況で、対象猫の最近の興奮性について、以下の5段階評価の最も該当すると思う数字に○をつけてください。

軽度から中間の興奮 → 鳴き声が増える、すばやい行動（敏捷な行動）の増加

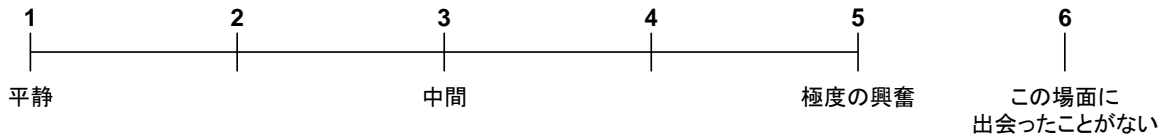
極度の興奮 → 部屋の中を走り回る、穏やかな状態に戻るのが困難



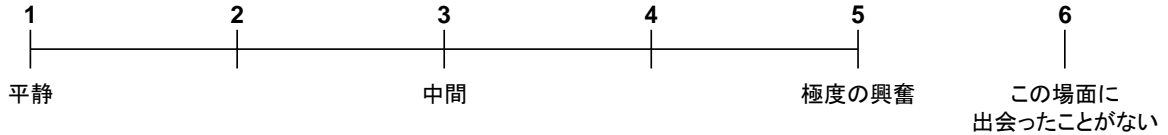
Q21. あなたの家に訪問者が到着するとき



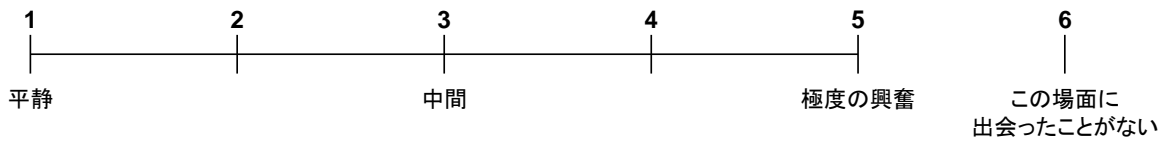
Q22. あなたもしくは家族の誰かが猫と遊んでいるとき



Q23. 家の中で大きめの音がしたり、外から大きな音がしたとき



Q24. 電気が付いたり、テレビが付いたりして、部屋の明るさが変わったとき

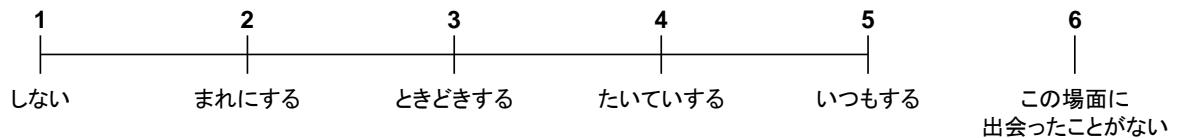


接触や注意を求める行動

猫の中には、飼い主に対して接触行動を示し、飼い主に対してたくさんの注目や愛情を求める猫もいます。以下の状況におけるそのような猫の行動頻度について、最も該当すると思う数字に○をつけてください。



Q25. あなたもしくは家族の誰かが室内で猫と一緒にいるときゴロゴロとのどを鳴らしたり、注意を引くかのように、ニャーと鳴く



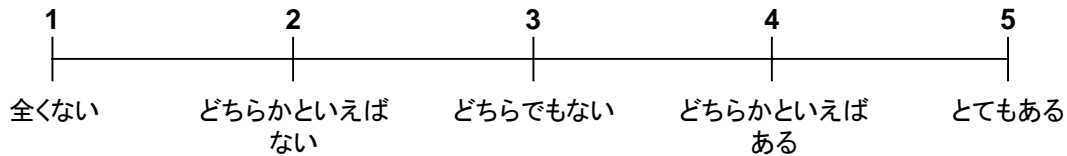
次ページからの設問の回答欄はマークシートの裏面です。

表面で使用しなかった回答欄は未記入の状態でも構いません。
お間違えの無いようお気を付けください。

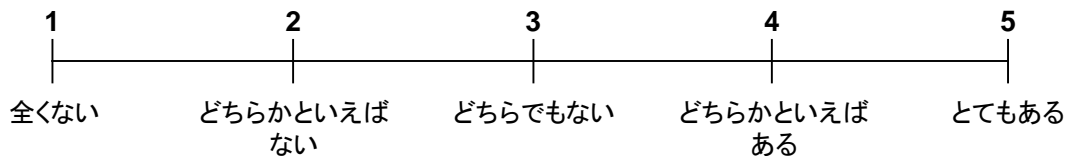
Section.3 満足度調査

1. あなたは、愛猫のどのような行動が気になりますか？

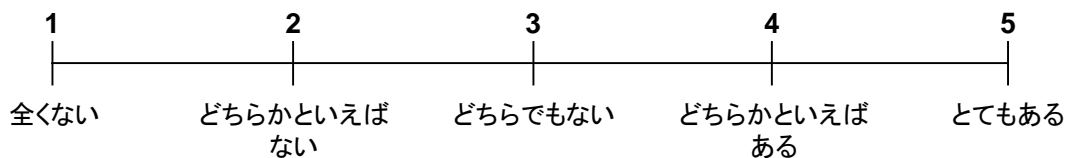
Q1-1. 食事に関して気になること



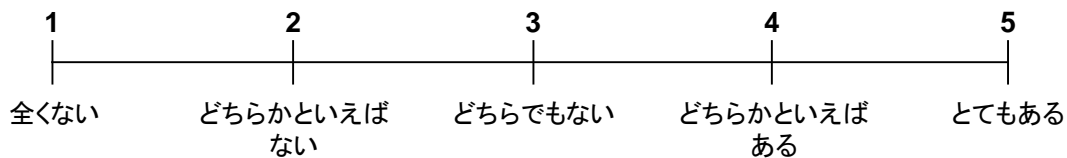
Q1-2. トイレトレーニングに関して気になること



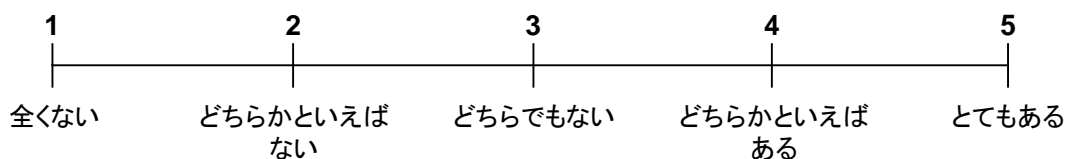
Q1-3. 無駄に鳴くのが気になること



Q1-4. 甘噛みが気になること



Q1-5. 食糞が気になること



上記選択肢の他に、愛猫の行動について気になることがあれば、自由記述回答用紙に記入してください。

2. 愛猫の気になる行動を解決するために、あなたがしたことを全て選んでください。

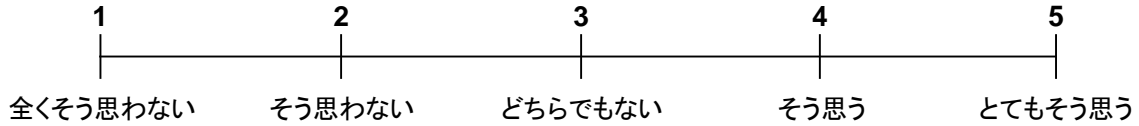
※ 選んだ選択肢が複数ある場合、マークシートは複数ぬりつぶしてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自分で調べた | 6. ペットフードメーカーに相談した |
| 2. 家族に相談した | 7. ペットショップに相談した |
| 3. 友人に相談した | 8. 動物病院に相談した |
| 4. トリミングサロンに相談した | 9. その他 |
| 5. トレーナーに相談した | 10. 何もしなかった |

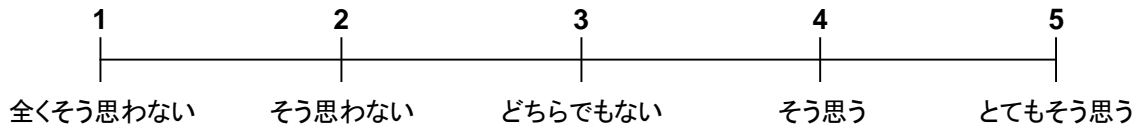
3. あなたは、愛猫と暮らして良かったと思うことはありますか？

該当するものを選んでください。

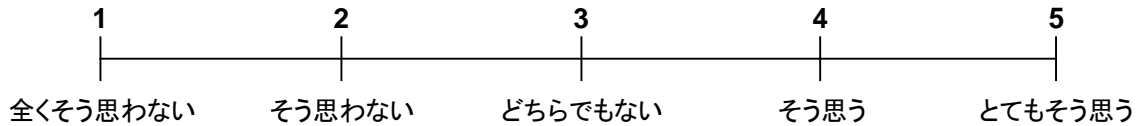
Q3-1. 健康的になった



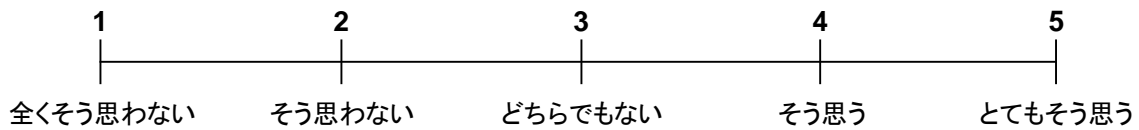
Q3-2. 運動不足を感じなくなった



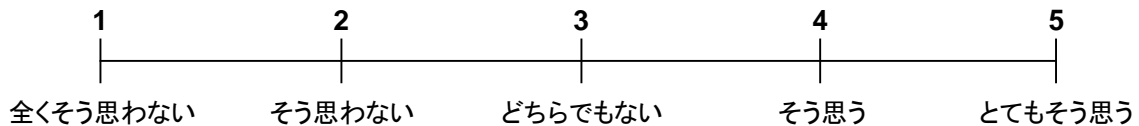
Q3-3. ストレスを抱えなくなった



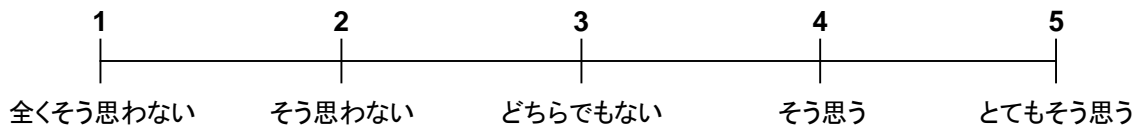
Q3-4. 孤独感を感じなくなった



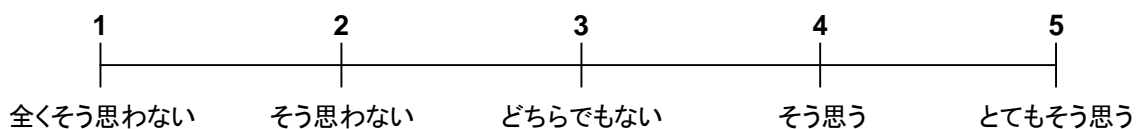
Q3-5. ハリのある生活を送れるようになった



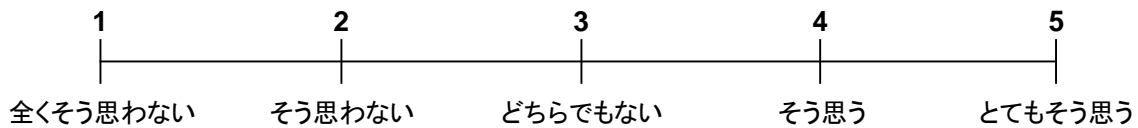
Q3-6. 生活に潤いや安らぎを実感できるようになった



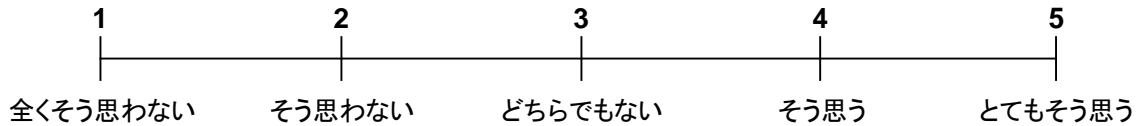
Q3-7. 自分に自信が持てるようになった



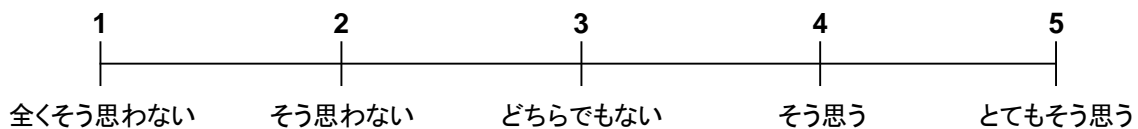
Q3-8. 人とのコミュニケーションが増えた



Q3-9. プラス思考になった

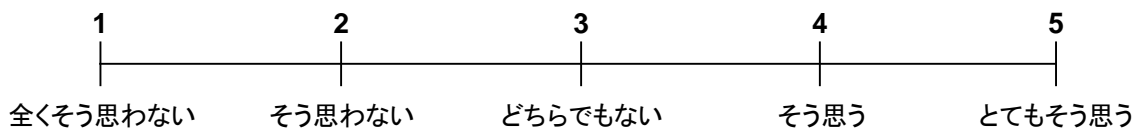


Q3-10. 子どもの成長に良い影響を与えた



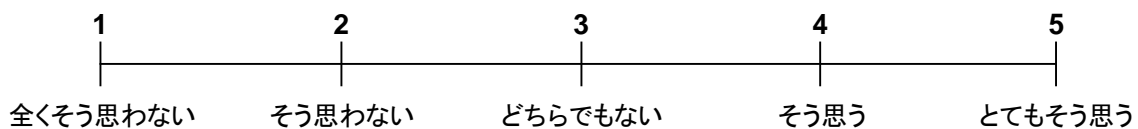
上記選択肢の他に、愛猫と暮らして良かったと思うことがあれば、自由記述回答用紙に記入してください。

Q4. あなたは、また猫（犬）を飼いたいと思いますか？該当するものを選んでください



Q5. あなたは、友人等に猫（犬）の飼育を勧めたいと思いますか？

該当するものを選んでください



Q6. あなたは、これまで猫（犬）の飼育経験がありましたか？該当するものを選んでください

1. ある 2. ない

Q7. 調査対象の猫（犬）の他に同居している猫（犬）はいますか？

該当するものを選んでください

1. いる 2. いない

Q8. あなたと同居している家族はいますか？該当するものを選んでください

1. いる 2. いない

設問はこれで以上です。
多くの設問の回答を選んで頂き、ありがとうございます！

選んだ回答を、マークシートに記入してください。

全設問に回答して頂くと、希望される方に対して、**愛猫の行動評価**と、それに対する**動物行動学的なアドバイス**をお送りさせていただきます。

自由記述回答用紙 愛猫用

あなたの ID				
---------	--	--	--	--

・「疾患の有無」において、「1. ある」をマークした方は、その疾患内容について具体的に記述してください。

【満足度調査】に関する自由記述

・あなたは、愛猫のどのような行動が気になりますか？選択肢の他に、愛猫の行動について気になることがあれば、記入してください。

・あなたは、愛猫と暮らして良かったと思うことはありますか？選択肢の他に、愛猫と暮らして良かったと思うことがあれば、記入してください。

※ご住所やお名前に変更があった方はこちらにご記入ください。

<u>変更前</u>	→	<u>変更後</u>
------------	---	------------

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [Aランク] のみを用いて作製しています。